

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程 A類型）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部1学年 13名	国語科	ひとりだちするための国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階)			
		(思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階)			
		(学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。(高1段階ア(ウ)) (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Bア) (学・人) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にしている。 (主学) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、読み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。(知及び技に関する内容) ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容) ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。(学・人に関する内容)
	5	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(高1段階ウ(ウ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(高1段階Cオ) (学・人) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えを持っている。 (主学) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・分教室図書の利用について ・読書活動	・図書オリエンテーションを通して、図書の利用方法を確認する。(知及び技に関する内容) ・図書の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在することに気づき、読みたい本を選ぶことができる。(思判表力に関する内容) ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ること、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。(学・人に関する内容)
	10	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階ア(カ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学) 学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとしている。	単元「敬語を使おう」 ・敬語とは ・敬語の種類 ・職場でよく使う挨拶	・敬語が必要な場面や使う意義について考える。 ・「尊敬語」などの敬語の種類について知る。 ・日常生活の中で使われている敬語や職業場面よく使う挨拶、丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 ・学習した言葉を場面と結び付けながら、実際の場面を想定してロールプレイをする。 ・声の出し方、姿勢などについて確認し、意識して練習に取り組む。
	15	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(高1段階イ(ア)) (思判表力) 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cイ) (学・人) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 新聞記事を読み、中心となる内容と、それを支える理由や事例との關係を理解している。 (思・判・表) 新聞記事を読み、段落の關係に着目し、考えと理由や事例との關係を叙述を基に捉えている。 (主学) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとしている。(高1段階)	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツ・チャレンジ・NIE ・実習新聞作成	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容) ・段落同士のつながりを意識しながら、記事の内容を簡単な言葉や図でまとめる。(思判表力に関する内容) ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。(学・人に関する内容)

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	5	(知及技) お礼状の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階B (ア)) (学・人) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解して書くことができてい る。 (思・判・表) 相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができてい る。 (主学) お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「はがきを書くこ う」 ・お礼状の練習 ・季節の便り	・手紙やはがきの正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状や季節のお便りの定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)
	5	(知及技) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。(高1段階ウ(イ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知及技) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使用してい る。(高1段階ウ(イ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して表現している。(高1段階A工) (主学) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。(高1段階)	単元名「表現力を高めよ う」 ・方言に親しもう ・敬語	・丁寧語の使い方や身近な方言(挨拶や家族の呼称)や、地域のことわざ(黄金言葉)の意味を調べる。(知及び技に関する内容) ・相手や場面を意識しながら、伝わりやすい話し方になるよう声の大きさや速さを工夫して発表する(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	15	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(高1段階イ(ア)) (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cア) (学・人) 読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 物語文を読み、中心となる考えや出来事と、それを支える理由や事例との関係を理解している。(高1段階イ(ア)) (思・判・表) 登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えている。(高1段階Cア) (主学) 読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとしている。(高1段階)	単元名「物語を読もう」 ・蜘蛛の糸	・物語の中で大切だと思う出来事や中心となる内容を見つけ、登場人物の行動や出来事が、物語の中心とどのようにつながっているかを整理する。(知及び技に関する内容) ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。(思判表力に関する内容) ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。(学・人に関する内容)
2 学 期	5	(知及技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高1段階ウ(イ)ア) (思判表力) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(高1段階Bウ) (学・人) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表) 書体や字の形を工夫しながら、毛筆を用いて新年の目標を表現している。 (主学) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・さまざまな筆の感触を味わおう ・好きな文字や言葉を書こう ・道具の名前を覚えよう	・書道道具や筆の扱い、書く時の正しい姿勢などを確認し、新年の目標や自分の書きたい字を選ぶ。 ・字の形、全体のバランスを意識しながら書写を行う。 ・互いの作品を鑑賞する。 ・書道に関する作品を鑑賞し、様々な表現方法があることを知る。
	10	(知及技) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(高2段階ウ(イ)) (思判表力) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cイ) (学・人) 故事成語の意味や成り立ち、話の面白さを理解し、すすんで読んだり自分の表現に生かそうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができてい る。 (思・判・表) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 (主学) 故事成語の意味や成り立ち、話の面白さを理解し、すすんで読んだり自分の表現に生かそうとしている。	単元名「故事成語」 ・故事成語とは ・五十歩百歩、蛇足 など	・日本と中国の言葉、文化の違いに注目しながら故事成語とはなにか学ぶ。 ・「五十歩百歩」など内容を理解しやすい漢文(訳文)を用いて、登場人物の関係や場面展開を読み取り、故事成語の成り立ちと意味について確認する。 ・音読する。 ・日常生活を振り返り、学習した故事成語に当てはまる場面や、故事成語を用いた例文を考える。
	5	(知及技) お礼状の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階B (ア)) (学・人) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解して書くことができてい る。 (思・判・表) 相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができてい る。 (主学) お礼状作成を通して、言葉が持つ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「お礼状を書くこ う」 ・お礼状の練習 ・季節の便り	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。(学・人に関する内容)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
3 学期	5	（知及技）文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。（高1段階ウ（イ）ア） （思判表力）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。（高1段階Bウ） （学・人）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。（高1段階）	（知・技）文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 （思・判・表）書体や字の形を工夫しながら、毛筆を用いて新年の目標を表現している。 （主学）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。（思判表力に関する内容） ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	（知及技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。（高1段階イ（ア）） （思判表力）段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて叙述を基に捉えることができる。（高1段階Cイ） （学・人）言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にしていや考えを伝え合おうとすることができる。（高1段階）	（知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との關係について理解している。 （思・判・表）文章を読み、段落の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係を叙述を基に捉えている。 （主学）言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にしていや考えを伝え合おうとしている。	単元名「情報を読み取ろう」 ・手紙・案内文	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。（知及び技に関する内容） ・中心となる考えを支えている理由や具体的な説明が、どの段落に書かれているかを整理し、語句や文章で表現する。（思判表力に関する内容） ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。（学・人に関する内容）
	5	（知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（高1段階ウ（ウ）） （思判表力）書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の關係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。（高1段階Bイ） （学・人）自分の考えや思いを素直に表現しようとするすることができる。（高1段階）	（知・技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使用している。 （思・判・表）1年間の出来事について、書く内容の中心を決め、段落のまとまりや段落同士の關係に注意しながら、文章の構成を考えている。 （主学）自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「1年をふり返ろう」 ・1年をふり返り、印象に残っている事柄について感想を書く	・文章の正しい書き方に基づいて、伝えたい内容に関する文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・1年間の学校生活を振り返り、印象に残った出来事をいくつか挙げ、似た内容や関連する出来事をまとめ文章全体の構成を考える。（思判表力に関する内容） ・自分の思いや考えを、素直に文章で表現する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和8年度 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程A類型）社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	センター分教室1年 Ⅱ課程A類型 13 名	社会科	ひとりだちするための社会

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)地域の地理的環境や歴史、伝統と文化、現代社会の仕組みを理解し、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力)自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力を養い、考えたことを適切に表現することができる。(高1段階) (学・人)よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身につけ、我が国の歴史に対する愛情や地域社会の一員として共に生きる大切さについての自覚を養うことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技)我が国と沖縄県の気候区分を理解することができる。(高1段階：オ（ア）㊦） (思判表力)沖縄県の文化について考えることができる。(高1段階：オ（ア）㊦） (学・人)自分の住んでいる市町村の文化についてまとめることができる。(高1段階：オ（イ）㊦）	(知・技)日本の気候区分の中から、沖縄県の気候区分は何かを理解している。 (思・判・表)沖縄県の文化について考えている。 (主学)自分の住んでいる市町村の特徴などをタブレットを用いて他者と協力し、調べようとしている。	【国土と大陸】 ・6大陸と日本 ・日本の気候区分 ・沖縄県の地理(人口、気温)(北部、中部、南部、離島の特徴) ・沖縄と自分の住んでいる市町村 ・単元のまとめ	・6大陸と日本の位置について世界地図から読み取り確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・日本の気候区分について、自分の体験から考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・沖縄県の地理(人口、気温)(北部、中部、南部、離島の特徴)について確認する。(知及び技に関する内容) ・沖縄と自分の住んでいる市町村について考え魅力を伝える。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解することができる。(高1段階：オ（イ）㊦） (思判表力)戦後の沖縄の写真を見て、当時の様子について考えることができる。(高1段階：オ（イ）㊦） (学・人)よりよい沖縄にするため、どのようにしたいかイメージすることができる。(高1段階：オ（イ）㊦）	(知・技)慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解している。 (思・判・表)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学)よりよい沖縄にするためにはどうしたらいいか自分のプリントに表現している。	【沖縄の歴史と文化】 ・沖縄戦・戦後の沖縄・現代の戦争 ・慰霊の日・基地問題 ・単元のまとめ	・沖縄戦・戦後の沖縄・現代の戦争について確認し、戦争の悲惨さについて考え、発表する。(知及び技に関する内容)(思判表力に関する内容) ・慰霊の日・基地問題について考え、沖縄が抱える問題についてプリントにまとめる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)沖縄や他県の文化遺産を知ることができる。(高1段階：オ（イ）㊦） (思判表力)沖縄や他県の文化遺産を比較して、違いについて考えることができる。(高1段階：オ（イ）㊦） (学・人)沖縄や他県にどのような文化遺産があるか、調べることができる。(高1段階：オ（イ）㊦）	(知・技)沖縄県と他県の文化遺産について調べたことをプリントにまとめている。 (思・判・表)沖縄県と他県の文化遺産を比較した内容をプリントに記入している。 (主学)タブレット機器を用いて、他者と協力して調べたり、まとめている。	【地域の文化遺産を紹介しよう】 ・沖縄県の文化遺産 ・他県の文化遺産 ・沖縄県と他県の文化遺産を比べる	・沖縄県の文化遺産についてタブレットを活用し調べ、特徴についてまとめる。(学・人に関する内容) ・他県の文化遺産について調べ、特徴についてまとめる。(知及び技に関する内容) ・沖縄県と他県の文化遺産を比べ、どのような違いがあるのかまとめる。(思判表力に関する内容)

2 学 期	8	(知及技)多数決の原理について理解することができる。(高1段階：ア(イ)④) (思判表力)模擬選挙の際、代表者を選択することができる。(高1段階：ア(イ)④) (学・人)選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への意欲がある。(高1段階：ア(ア)④)	(知・技)数が多い意見が通ると同時に少数意見の尊重についても、理解できている。 (思・判・表)生徒会選挙で立候補者に投票することができる。 (主学)選挙で代表を選ぶことが、国民の権利であることを踏まえてどのように政治に参加するか自分の考えをプリントにまとめている。	【選挙】 ・多数決の原理 ・生徒会選挙 ・選挙 ・単元のまとめ	・多数決の原理について考え、日常的に活用されている事例をまとめる。(思判表力に関する内容) ・生徒会選挙を通して主権について考える。(学・人に関する内容) ・日本の選挙について確認する。(知及び技に関する内容)
	10	(知及技)直接民主制と議会制民主主義の違いを理解している。(高1段階：ア(イ)ア) (思判表力)法律の意義について考えることができる。(高1段階：ア(イ)④) (学・人)よりよい生活を送るための法律について調べることができる。(高1段階：ア(イ)④)	(知・技)直接民主制と議会制民主主義の違いを理解している。 (思・判・表)法律の意義について考えている。 (主学)生活に関連している法律について調べている。	【憲法と国民生活】 ・なぜ決まりはあるのか ・日本国憲法と第二次世界大戦 ・民主主義って？ ・生活に関連している法律を調べよう ・単元のまとめ	・なぜ決まりはあるのかを考え、発表する。(思判表力に関する内容) ・日本国憲法と第二次世界大戦について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・民主主義について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・生活に関連している法律をタブレットを活用し、調べる。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)自然災害の種類や対処について理解することができる。(高1段階：ウ(ア)②) (思判表力)自助・公助・共助の視点から、防災のために必要なことを考えることができる。(高1段階：ウ(ア)②) (学・人)防災バックにいれるべきものを考えることができる。(高1段階：ウ(ア)②)	(知・技)地震や津波、台風の対処方法をプリントにまとめている。 (思・判・表)ベン図を用いて、自助・公助・共助の視点から災害対策を分類している。 (主学)防災バックに入れるべものをプリントにまとめている。	【防災】 ・自然災害 ・自助・公助・共助 ・防災グッズを準備しよう	・自然災害について確認し、身近に起こりうる災害についてまとめる。(知及び技に関する内容) ・自助・公助・共助について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・防災グッズについて何が必要なのかを確認し、防災バックに入れておいた方が良いものを考える。(学・人に関する内容)
3 学 期	9	(知及技)SDGsの項目をいくつか知ることができる。(高1段階：カ(ア)⑦) (思判表力)関心のあるSDGsの目標を選択することができる。(高1段階：カ(ア)④) (学・人)持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか、考えることができる。(高1段階：カ(ア)④)	(知・技)SDGsには17の目標があることを理解している。 (思・判・表)SDGsの項目で関心のある目標を記入している。 (主学)持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか自分の意見をプリントにまとめている。	【SDGs】 ・5つの「P」と3つの「層」 ・興味関心のある目標は ・他の人と関心のある目標について伝え合おう ・「食」について考えよう ・持続可能な社会をつくるため ・単元のまとめ	・5つの「P」と3つの「層」について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・興味関心のある目標について調べる。(学・人に関する内容) ・他の人と関心のある目標について伝え合う。(思判表力に関する内容) ・「食」について考え、ご飯が満足に食べられない国の現状について理解する。(思判表力に関する内容) ・持続可能な社会をつくるためには何ができるのか考える。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)自分で作成したプランにある観光地の場所や特徴を理解する。(高1段階：オ(ア)⑦) (思判表力)プラン作成を通して、沖縄の良さや特徴について考えることができる。(高1段階：オ(ア)④) (学・人)グループでプランを作成する際、活動に参加することができる。(高1段階：オ(ア)④)	(知・技)沖縄の観光地の場所や特徴について、調べて用紙にまとめている。 (思・判・表)沖縄の観光地を選んで、調べた内容を用紙に記入している。 (主学)プランについてアイデアを出したり、記入などグループ活動に参加している。	【沖縄観光プランをつくらう】 ・沖縄県の文化(特産品や沖縄県指定の花、木、鳥、魚) ・沖縄観光プランをつくらう ・観光プラン発表	・沖縄県の文化(特産品や沖縄県指定の花、木、鳥、魚)について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・タブレットを活用し沖縄観光プランを作成する。(学・人に関する内容) ・観光プランを発表する。(思判表力に関する内容)
留 意 点 引 継 ぎ 等		・2学期に消費者教育講話を行う。(講話に伴い、事前学習も行う) ・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。 ・授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和8年度 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程A類型） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	1学年 生徒13名	数学科	くらしに役立つ数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、その表現や処理ができる。(高1段階) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考え、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わすことができる。(高1段階) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、課題を解決するため職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。(高1段階(ア)㊟) (思判表力) 数のまとまりに着目し大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えることができる。(高1段階(イ)㊟) (学・人) 大きな数の大きさを、日常生活にあるものと比較して表そうとすることができる。	(知・技) 万、十万、百万、千万のように、億や兆についても、一、十、百、千と十進位取り記数法を用いている。 (思・判・表) 大きな数を1000の何個分や、100の何倍など、まとまりに着目して考えている。 (主学) 大きな数の大きさを、身近なものと比較して表そうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と計算】 ア 整数の表し方 ・整数の意味と表し方 ・億、兆までの数の読み方、書き方	・数の大きさを、生徒数、人口、収穫量など、身近なものと比較して量感を感じる。 ・十進法を用いた位表で整数の意味と表し方を考える。 ・四桁区切りを使って億、兆までの数の読み書きをする。 ・具体物を10、100ずつのまとまりとして捉え、数の合計を求める。
	10	(知及技) 10倍、100倍、1/10倍、1/100倍の大きさの数を、小数点の位置を移してつくることができる。(高1段階(ア)㊟) (思判表力) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えることができる。(高1段階(イ)㊟) (学・人) 小数を数学的に処理するよさに気付き、学習に活用しようとするすることができる。	(知・技) 10倍、100倍、1/10倍、1/100倍の大きさの数を、小数点の位置移動で求めている。 (思・判・表) 小数をある位の単位の「何倍」や「いくつ分」と捉えて、計算している。 (主学) 小数点の位置移動を、長さや重さの単位換算に活用しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 整数及び小数の表し方 ・小数の意味と表し方 ・小数点の移動 キ 小数とその計算 ・小数の相対的な大きさ ・長さや重さの単位換算	・足のサイズ、身長等、身の回りにある1より小さい数を元に、小数の意味や表し方について考える。 ・小数を何倍、いくつ分の集まりとして捉える。 ・位表を使って移動した小数点の位置を、実際に電卓を使って確かめる。 ・km⇄m、kg⇄gへの単位換算をする。
	10	(知及技) 概数が用いられる場面や四捨五入について知ることができる。(高1段階(ア)㊟、㊱) (思判表力) 目的に合った数の処理の仕方を考えることができる。(高1段階(イ)㊟) (学・人) 目的に合った数の処理の仕方を、日常生活に生かそうとする。	(知・技) 概数の意味を理解し、四捨五入で概数を求めている。 (思・判・表) 買い物や割り勘など、目的にあった概算方法について考えている。 (主学) 日常の場面で、切り上げ、切り捨ての考えを用いて、数の処理をしようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	ク 概数 ・概数の意味 ・切り上げ、切り下げ、四捨五入 ・予算内での買い物計画 ・概算での四則計算	・ひまわり畑、観客数、人口等の身の回りの数を取り上げ概数の意味を考える。 ・概数を表す方法として数直線を利用し、切り上げ、切り下げ、四捨五入について、数の処理の仕方を学ぶ。 ・チラシから食材の値段を探し、予算内で購入できるように概算で見積もる。 ・概算での四則計算を練習し、商品カードを使って模擬買い物で実践する。
	10	(知及技) 同分母の分数の加法と減法の計算ができる。(高1段階(ア)㊱) (思判表力) 数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算できるか考える。(高1段階(イ)㊱) (学・人) 数学的活動を通して分数で表すよさに気付き、課題解決に取り組もうとする。	(知・技) 単位分数のいくつ分かを理解し、加法と減法の計算をしている。 (思・判・表) 表し方が違う同じ大きさの分数について、等しいことを図で考えている。 (主学) 実生活の場面で分数を活用し、課題を解決しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	ケ 分数とその計算	・1つのピザや飲み物を何人かで分ける活動を通して、分数の意味と表し方を知る。 ・1Lや1dLのビーカーや帯状の長方形を利用し、分数を図に表して大小関係、大きさの等しい分数を考える。 ・図を利用して同分母の加法と減法をイメージし、計算で答えを導く。

2 学 期	14	（知及技）平行四辺形、ひし形、台形について知ることができる。（高1段階(ア)㉔） （思判表力）図形を構成する要素及び位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすことができる。（高1段階(イ)㉔） （学・人）数学的活動を通して、図形の形や大きさが決まる要素を見いだそうとすることができる。	（知・技）平行や垂直の関係を理解し、四角形を平行四辺形、ひし形、台形に分類している。 （思・判・表）平行四辺形、ひし形、台形を構成する要素の「平行、垂直、長さ」に着目して、長方形との違いを表に整理している。 （主学）見本と同じ図形を描く操作を通して、図形の形や大きさが決まる要素について考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B 図形】 ア 平面図形 ・四角形の弁別 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質 ・平行四辺形、ひし形、台形の作図	・様々な四角形を、自身が考える理由付けで仲間分けをする。 ・平行や垂直な線を描く。 ・身の回りの平行や垂直の関係にある具体物を撮影する。また、どこにどんな関係があるのか発表する。 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質を、平行の組数、垂直関係のあるなし、長さが等しい等しくない等の観点で表に整理する。 ・平行四辺形、ひし形、台形を2つの三角定規とコンパスで作図する。
	14	（知及技）三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解する。（高1段階(ア)㉔） （思判表力）図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだす。（高1段階(イ)㉔） （学・人）数学的活動を通して、基本図形の面積の公式から、四角形の面積を導きだそうとする。	（知・技）公式を使って、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めている。 （思・判・表）面積の大きさを変えずに形を変え、求積可能な図形になるように工夫している。 （主学）基本図形の公式を活用するために、四角形を切ったり貼ったりして、基本図形に変形できるかを粘り強く確かめようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	エ 平面図形の面積 ・三角形、長方形の面積を求める公式 ・等積変形 ・平行四辺形、ひし形、台形の面積の公式	・タイルを数えて広さを比べる。 ・1平方センチメートルの定義から、長方形の面積の求め方を考える。 ・長方形の面積の公式をヒントに、三角形の面積を求める工夫を考える。 ・平行四辺形、ひし形、台形を、切ったり貼ったりして、面積を変えないで長方形に直す。 ・長方形の公式をヒントに、平行四辺形、ひし形、台形の面積の公式を考える。
	14	（知及技）簡単な場合について、比例の関係があることを知る。（高1段階(ア)㉔） （思判表力）伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する。（高1段階(イ)㉔） （学・人）伴って変わる二つの数量の関係について、実験から見いだした特徴を基に、発展的に考察しようとする事ができる。	（知・技）二つの数量の変化を表に当てはめ、一方が2倍、3倍、…になると、伴って他方も2倍、3倍、…になることを理解している。 （思・判・表）伴って変わる二つの数量の関係について、変化や対応の規則性を見つけ、式に表そうとしている。 （主学）二つの数量の変化や対応の規則性が、他の値においても成り立つか予想し、実際に協力して確かめようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【C 変化と関係】 ア 伴って変わる二つの数量 ・二つの数量の変化 ・数量の関係を表に作成 ・変化や対応の規則性 ・比例	・トランプのプレイヤー数と手札の数、箱の段数と合計等の具体物操作を通して数量の変化を考える。 ・数量の関係を表に作成し、その変化や対応の規則性について考える。 ・身の回りにある伴って変わる数量（比例）探しをする。
3 学 期	15	（知及技）円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解する。（高1段階(ア)㉔） （思判表力）目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取る。（高1段階(イ)㉔） （学・人）目的に応じて収集、整理したデータの結論について、多面的に捉え考察しようとする事ができる。	（知・技）数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表そうとしている。 （思・判・表）目的に応じてデータを収集、分析し、適切なグラフを用いてデータの特徴や傾向を考えている。 （主学）他の生徒の収集、分析したデータの結果に興味をもち、お互いに比較し合おうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【D データの活用】 ア データの収集とその分析 ・表とグラフ ・データの収集、分析、発表	・「好きな食べ物やスポーツの種類」と「投票数」、「ケガの種類」と「その起こった場所」等などデータを表に整理し、棒グラフ、帯グラフ、円グラフで表す。 ・棒グラフ、帯グラフ、円グラフの特徴を整理する。 ・Formsでアンケート作成し、グラフの結果から傾向を発表する。
	12	（知及技）平均の意味や求め方を理解することができる。（高1段階(ア)㉔） （思判表力）概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察することができる。（高1段階(イ)㉔） （学・人）測定した結果を平均する方法について、日常生活に生かそうとすることができる。	（知・技）平均の意味を理解し、計算している。 （思・判・表）数値を量と捉え、多い所から少ない所へ移動しならす平均の方法を、視覚的な操作を通して考察している。 （主学）日常生活の場面における平均について、学習したことを活かし求めようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 測定した結果を平均する方法 ・平均の意味と求め方 ・データの測定と平均	・「平均＝でこぼこをならす」の意味を、タイルを使った具体物操作を通してイメージをもつ。 ・平均の意味から求め方を式に表す。 ・平均を式で求める。 ・歩数と距離のデータを測定し、自身の1歩の長さの平均を求める。
留意点 引継ぎ等		【数学的活動】※年間を通して取り組む （ア）日常の事象を数理的に捉え、問題を見だして解決し、解決の過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活に生かしたりする活動。 （イ）数学の学習場面から数学の問題を見致して解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動。 （ウ）問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現しあう活動。			

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程 A類型）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	13名	理科	くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高1段階】 (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高1段階】 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の動きによるものだということがわかる。【中2段階】 (思判表力) 人の骨や筋肉のつくりと動きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人) 人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の動きによるものだということが理解している。 (思・判・表) 人の骨や筋肉のつくりと動きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学) 人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと運動	○骨や筋肉についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと運動について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	8	(知及技) 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることがわかる。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 人の体のつくりと動きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の動きについて予想し、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 人の体のつくりと動きについて調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることが理解している。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 (思・判・表) 人の体のつくりと動きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の動きについて予想し、表現しようとしている。 (主学) 人の体のつくりと動きについて調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと動き	○感覚器官の働きや、臓器の名称・働き、消化・吸収・排泄までの流れについての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと動きについて調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○感覚器官の働きについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2学期	4	(知及技) 人は、母体内で成長して生まれることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現することができる。【高1段階】 (学・人) 生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思・判・表) 人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現しようとしている。 (主学) 生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○動物の誕生	○人の母体内での成長や誕生についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて動物の誕生について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○動物の誕生について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2 学 期	5	(知及技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることがわかる。【中1段階】 (思判表力) 身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現することができる。【中1段階】 (学・人) 身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中1段階】	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思・判・表) 身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学) 身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○身の回りの生物	○校内散策などを通して、身の回りにどのような生物がいるのかを学ぶ。 ○iPadを用いて校内散策で見つけた生物について調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物の色、形、大きさについて違いがあることを、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
		(知及技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることがわかる。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人) 植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることを理解している。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 (思・判・表) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学) 植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○植物の発芽、成長、結実	○植物の発芽、成長、結実についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて、植物の発芽、成長、結実の条件や、その条件が植物の種類によって違いがあるかなどを調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○植物の発芽、成長、結実について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。 ○植物を育て、成長過程を記録する。
3 学 期	9	(知及技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養うことができる。【高2段階】	(知・技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 (思・判・表) 生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現しようとしている。 (主学) 生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○生物と環境	○生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることについて、動画を視聴する。 ○生物の間には、食う食われるの関係があることを動画を視聴し学ぶ。 ○動物や植物の生活を観察したり、資料を活用し、多面的に調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物と環境の関わりについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
		通年を通して指導			
		単元名 単元の目標 単元内容	植物の栽培 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 植物の栽培、観察		
		単元名 単元の目標 単元内容	天気と気温 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 天気の観察		

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程A類型 グループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	1学年 生徒13名	音楽科	くらしに役立つ音楽【東洋館】

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高等部1段階) (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	16.5	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階)	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができる。(高等部1段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができる。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「姿勢や呼吸を意識して歌おう」 〔器楽〕 「リズムの変化を感じながら演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴から情景を創造しよう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)の曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)の範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能。 ④呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)の曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 (技能) (ウ)の範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能 ④音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する
		〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階)	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 創作表現を創意工夫することができる。(高等部1段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 身体表現を創意工夫することができる。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「音の強弱や歌詞の意味を感じて歌おう」 〔器楽〕 「基礎的な奏法を理解して演奏しよう」 〔創作〕 「簡単な旋律やリズムを作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関りを感じよう」	(思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する 〔創作〕 (知識) (イ)のいろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫を生かした表現で旋律に必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する 〔身体表現〕 (知識) (イ)の曲想と音楽の構造との関わり (技能) (ウ)の曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ④設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する
2学期	24	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。(高等部1段階) (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高等部1段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部1段階)	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。(高等部1段階) (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。(高等部1段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「曲想を感じ、仲間とともに合唱しよう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 〔鑑賞〕 「日本や諸外国の特徴を感じて、その魅力を味わおう」	B鑑賞 (知識) (イ)曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する			

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程・A類型）美術科 年間指導計画

単位数／ 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	1学年 13名	美術科	高校生の美術1（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高等部1段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高等部1段階） (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を持つことができる。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階：A表現(ア)） (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高1段階：A表現ア(イ)） (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。（高1段階）	(知・技) 用具を作る過程や材料を扱う方法を理解し、表現方法を工夫し、表している。 (思・判・表)主題を見つめ感じ取ったことや考えたことを、画面に構成するために描画や色彩の配置など創意工夫している。 (主学) 偶然の形を楽しみ、自分の好きなものを表す表現活動に主体的に取り組んでいる。	表現 「はじける、スピードをイメージして」 ・描画技法 ・想像画	・描画技法「ドロッピング」と「洗い流し」を学ぶ。 ・描画のための道具作り ・表現により現れる偶然の形を楽しむ。 ・主題を画面構成するための構想を練る。 ・主題の描き込みに工夫を重ねる。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	2	(知及技) 形や色彩、材料や光などの動きを理解することができる。（高1段階：共通事項(ア)） (思判表力)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。（高1段階：B鑑賞ア(ア)） (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。（高1段階）	(知・技) 錯視現象に気づき、画面の構成や全体のイメージなどを捉えて、メディア機器を生かし表している。 (思・判・表)身近な錯視の現象と有名なイラストを見てその効果などについて考えている。 (主学)視点を変えた気づきの活動に、楽しく取り組んでいる。	表現 「顔に見える〇〇（シミュクラ現象）」 ・写真作品	・センター敷地内で顔に見える建物などを見つけ撮影する。 ・互いの作品を鑑賞し、撮影の意図や工夫について話し合う。 ・錯視について「シミュクラ現象」を学び、だまし絵の名画を知る。
	6	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階：A表現（イ）） (思判表力) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解することができる。（高1段階：共通事項(イ)） (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。（高1段階）	(知・技) 材料の特性を生かし、混色のできる自分らしい表現を追求している。 (思・判・表)三原色の特徴とつながりを全体的に捉え、色彩構成のイメージを持っている。 (主学)対象の形や色の美しさや特徴など、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。	表現 「三原色を使った色彩構成」 ・デザイン ・マーブリングの技法	・色の三原色と明度について理解する。 ・用具を丁寧に扱い、三原色の混色とグラデーションを彩色で表す。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。 ・マーブリング原液を作るところから学び、水と油の性質で表現されることを理解する。
2学期	8	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫表す。（高1段階：A表現（ア）） (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。（高1段階：B鑑賞ア(ア)） (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。（高1段階）	(知・技) 線対称を理解し、用具を安全に扱い、様々な形を作り出している。 (思・判・表)世界各国のステンドグラスの美しさを知り、自分が表現するステンドグラスの構成を考えている。 (主学)対象の形や色の美しさや特徴など、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。	表現と鑑賞 「線対称とステンドグラス」 ・デザイン	・線対称について学ぶ。 ・用具を丁寧に扱い、線対称の切り紙を見本や自分で考えた形で作る。 ・ステンドグラスを作る工程を理解し、丁寧に色彩構成を行う。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	10	(知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高1段階：A表現ア（イ）、共通事項(ア)） (思判表力) 版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考える。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学・人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア（ア）、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思・判・表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	〇版で表す 「はがきに表す季節の版画」	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。

3 学 期	10	(知及技) 形や色彩, 材料や光などの働きを理解することができる。(高1段階: 共通事項ア(ア)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、目的や条件などを基に主題を生みだし、構成を工夫することができる。(高1段階ア(ア)) (学・人) 生活の中の美術や製品のよさや美しさを感じ取り生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えることができる。(高1段階)	(知・技) 工程を理解し、表現を工夫し丁寧に制作している。 (思・判・表) キーホルダーの主題を考え、画面構成と配色などの効果などについて考えている。 (主学) 製品としてのキーホルダーが生活にどのような彩りを添えるのか考え、鑑賞や意見交換している。	デザイン、工芸 「キーホルダーを作ろう」	・キャラクターやマークなど選択したり、考えたりして下絵を作成する。 ・教育センター産業技術棟からの協力でキーホルダーに作成する。
	6.5	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫することができる。(高1段階: A表現ア(イ)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えることができる。(高1段階: B鑑賞ア(ア)) (学・人) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高2段階)	(知・技) 作品集にまとめるためにレイアウトやコメントを書くなど表現の工夫を行っている。 (思・判・表) お互いの作品集や制作を振り返り、深く考え意見を出したり聞いたりしている。 (主学) 美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	表現と鑑賞 「作品集づくりを通して1年間を振り返る」	・制作した作品を1冊の作品集にまとめる。 ・作品集を発表し、制作を振り返り、互いに鑑賞し感想を述べ合う。 ・多様な美術の世界を通して、新しい見方、感じ方をこれからどのように生かすことができるのか考える。
52.5					
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程 A類型）保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	1学年 生徒13名	保健体育科	くらしに役立つ保健体育

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、実践に活かすための、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）運動・体力・健康・安全について自己の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。（高1段階） （学・人）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲と、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	12	（知及技） 学習時の態度や集団行動の仕方など「きまり、約束」を理解し集団での協調性や安全な行動ができるようにする。（高1段階） （思判表力） 色々な運動を組み合わせて、体力の向上を図る。（高1段階） （学・人）自分の基礎的運動能力や体力を知り、課題を見つけ、今後の運動実践の方法を考える。（高1段階）	（知・技） 自己の体力課題について知り理解できている。 各種運動動作における技術ポイントを理解し習得している。 （思・判・表） 自己の体力課題の解決に向けての運動・方法を考えている。 （主学） 自ら進んで各種運動に積極的に取り組もうとしている。きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保している。	「集団行動」 「体づくり運動～新体力テスト～」	手軽な運動やリズムカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、心と体の関係や心身の状態に気づくことができる。 第1時～第2時 集団行動 集合、整列（号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右等）の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して場や用具の準備片付け・清掃等施設の利用方法を学ぶ 第3時～第4時 準備運動・整理運動 ラジオ体操や特体連ダンスの曲に合わせて体操を行う。体の各部位をゆっくりと進展させ、そのままの状態で約10秒間維持する。 第5時～第8時 体づくり運動 いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 大きくリズムカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりする。 第9時～第10時 新・体力テスト（室内） 握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈 第11時～第12時 新・体力テスト（室外） 50m走、100m走、ボール投げ、立ち幅跳び 球技ベースボール型～ティボール～
	8	（知及技） 球技の上達や技能向上や行い方を知り、その特性に応じた技能を身に付け、簡素化されたゲームを行うことができる。（高1段階） 球技（ア） （思判表力） 球技について自己の課題を発見し、その解決のための方法を工夫することができる。（高1段階） 球技（イ） （学・人） 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。（高1段階：球技（ウ））	（知・技） 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができる。 （思・判・表） ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見つけている。 （主学） 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技（ベースボール型）」 ・ティベースボール	第1時～第2時 基本動作の取得 「投げ方（キャッチボール）、打ち方などの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、キャッチボールやスイングの練習に積極的に取り組む。 第3時～第4時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いベースボールのルールを覚える。 第5時～第8時 試合と大会運営 攻め方、守り方（作戦の立て方）等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	12	（知及技） 泳力の上達や記録向上の行い方を知り、基本的な動きや技能を身に付けることができる（高1段階） 水泳（ア） （思判表力） 水泳（泳法）について自己の課題を発見し解決のための方法を工夫することができる。（高1段階） 水泳（イ） （学・人） 水泳のマナーを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。（高1段階：水泳（ウ））	（知・技） 泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり競い合ったりしている。 （思・判・表） 水泳（泳法）の名称や動きを高めるためのポイントを挙げている。 （主学） 水の安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「水泳」	水泳の特性に応じた技能を理解し泳法を身に付ける。 第1時～第2時 施設利用とプール利用の心得 プールや用具に関する取り扱い方、練習場所に関する安全や体調に留意して運動する方法を学ぶ 第3時～第4時 水慣れ、水中ウォーミングアップ 「浮く動作」…伏し浮き、背浮き、け伸び 「泳ぐ動作」…バタ足、連続したポビング 第5時～第10時 泳法 「補助具を活用した泳法」…ビート板キック 「呼吸を伴わない泳法」…面かぶりクロール・面かぶり平泳ぎ 「呼吸法（息継ぎ）」…クロール・平泳ぎ 第11時～第12時 水球 「足つき水球」…ルールを理解し試合を行う

2 学 期	4	(知及技) 心身の発育・発達と傷害の防止について知ることができる。(高1段階) (思判表力) 心身の発育・発達とに関わる情報から自他の課題を発見し、けがや疾病の予防方法を知ることができる。(高1段階) (学・人) 生活の質を高め、心身の発育・発達について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 心身の発育・発達に伴う傷害の防止方法をいくつか挙げている。(思・判・表) 心身の発育・発達、けがや疾病に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用してけがや疾病を予防するための適切な行動をとっている。 (主学) けがや疾病の予防について課題の解決に向けて自主的に取り組んでいる。	「保健」 ・心身の発育・発達 ・傷害の防止と疾病の予防	第1時 心身の発育・発達について 生殖にかかわる機能の成熟、受精や妊娠、異性の尊重について知る。 第2時 熱中症とその予防 自己の体調や周囲の環境の変化について知り熱中症を予防することができる。運動中の服装や適切な水分補給について知る。熱中症になったときの対応方法。 第3時 傷害の防止 安全に注意して運動を行うことについて 第4時 応急手当の対処法 すり傷、鼻出血、やけどや打撲など簡単にできる応急手当の方法を行うことができる。
	8	(知及技) 球技の行い方を理解し、その特性に応じた技能を身に付け、簡素化されたゲームを行うことができる。(高1段階 球技(ア)) (思判表力) 球技について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりするすることができる。(高1段階 球技(イ)) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。(高1段階: 球技(ウ))	(知・技) 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行えている。(思・判・表) ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見つけている。 (主学) 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解している。健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技(ゴール型)」 ・バスケットボール ・サッカー ・アルティメット	第1時～第4時 基本動作の取得 「投げ方、蹴り方、パス、シュートなどの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ボールやディスクコントロール練習に積極的に取り組む。 第5時～第6時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行い競技のルールを覚える。 第7時～第8時 試合と大会運営 攻め方、守り方(作戦の立て方)等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	17	(知及技) ダンスの上達や記録向上の行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(高1段階 ダンス(ア)) (思判表力) ダンスの表現や踊りについての課題を発見し、その解決のための方法について工夫して表現したり発表することができる。(高1段階 ダンス(イ)) (学・人) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め合ったり、場の用具の安全を確保し取り組むことができる。(高1段階: ダンス(ウ))	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、基本的な動きや技能を身に付け表現することができる。(思・判・表) 強弱をつけたメリハリのある動きで発表することができる。 (主学) エイサーの特性に関心を持ち楽しさや喜びを味わい互いのよさを認め合い協力して進んで練習や発表会に取り組んでいる。 ダンスの学習に積極的に取り組み、安全に用具を使用している。	「表現運動」 ・郷土の踊りエイサー	郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心を育てる。 第1時～第2時 踊りの構成や役割決め 自己にあった演技担当を選ぶことができる。 踊りの振り付けや構成を全員で作りに上げる。 第3時～第6時 個別・グループでの取り組み グループで振りや動きの練習を行い。仲間の動きに合わせて踊ることができる。 第7時～第10時 体系移動の練習 リズムに乗った動きで体系移動を行う。相手のタイミングや位置等に合わせて移動を行う。 第11時～第17時 全体練習 曲や全体の動きに合わせて最後まで踊ることができる。
	15	(知及技) 陸上競技の上達や記録向上の行い方を知り基本的な技能を身に付けることができる。(高1段階 陸上競技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し解決のための方策を工夫することができる。(高1段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして最後まで楽しく運動をすることができる。(高1段階: 陸上競技(ウ))	(知・技) 陸上の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。(思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動を選択している。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。	「陸上競技」 ・短距離・跳躍・リレー	競走したり記録に挑戦したりすることを通して、走る楽しさを味わい一定の距離を全力で走る事ができる。 第1時～第4時 ストレッチ体操、特体連ダンス 動きを良くするための準備体操、疲労を残さない怪我を防止するための整理体操を身に付ける。 第5時～第8時 腕振り(走フォームの意識) リズムの良いフォームで走ることを意識する。 「スラローム走」…視線、体の傾きを意識して走る。 「ストライド走」歩幅を広くして走る。 第9時～第12時 スタートダッシュ 高いスピードを維持して速く中間走では、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走る。 「スタートダッシュ走」…前傾姿勢を意識して走る。 第13時～第15時 リレー・バトンパスの練習 減速の少ないバトンの受け渡しができる。 「60mリレー」「トラック1周リレー」 テークオーバーゾーンを有効に使ったバトンの受け渡し。 同じグループ内でいろいろな相手とバトンの受け渡しを行う。

	4	(知及技) 健康な生活と感染症予防について知ることができる。(高1段階) (思判表力) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、感染症などのリスクかを軽減する方法を知る。(高1段階) (学・人) 生活の質を高め、感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 感染症を予防するための方法をいくつか挙げるができるている。 (思・判・表) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用して感染症を予防するための適切な行動をとることができる。 (主学) 感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。	「保健」 ・感染症・エイズ	第1時 感染症について 感染症とは、「人から人うつる病気のこと」だと理解することができる。 第2時 菌・ウイルスについて 感染源となる菌やウイルスについて学び、発生源について理解する。 第3時 感染症の種類 感染症の病気の種類や症状などについて知る。 第4時 感染症予防 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 「風邪予防(手洗い、うがいの徹底)」…感染症対策について学ぶ。
3 学 期	14	(知及技) 陸上競技の上達や記録向上の行い方を知り基本的な技能を身に付けることができる。(高1段階 陸上競技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し解決のための方策を工夫することができる。(高1段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして最後まで楽しく運動をすることができる。(高1段階: 陸上競技(ウ))	(知・技) 陸上の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動を選択している。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。	「陸上競技」 ・長距離走	第1時～第4時 時間走、ペース走 基本的なフォームと自己に適したペース設定を身に付ける。 第5時～第7時 インターバルトレーニング ペースの変化に対応するなどして走り、長距離走特有の呼吸法や腕振り、足の動きを身に付ける。 第8時 体調の整え方 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 第9時～第14時 競技会への参加 記録会に参加し自己のペースを守りながら自己記録を目指す。駅伝大会を実施しチームで記録を更新するなどの楽しさを味わう。
	7	(知及技) 球技の上達や記録向上の行い方を知り、その特性に応じた技能を身に付け、簡素化されたゲームを行うことができる。(高1段階 球技(ア)) (思判表力) 球技について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりするすることができる。(高1段階 球技(イ)) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。(高1段階: 球技(ウ))	(知・技) 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができる。 (思・判・表) ラケットの操作で狙った場所に打つなどの技術を身に付けるためのポイントを見つけている。 (主学) 体育館での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技(ネット型)」 ・バドミントン ・卓球	第1時～第4時 基本動作の取得 「サーブ、トス、スマッシュ、ドロップなどの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ラケット操作、シャトルやボールのコントロール練習に積極的に取り組む。 第5時～第7時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いながらバドミントン・卓球のルールを覚える。 第8時～第9時 試合と大会運営 攻め方、守り方(作戦の立て方)等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	4	(知及技) 応急手当の意義や手順方法を知ることができる。(高1段階) (思判表力) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順を身に付け、仲間と一緒に課題を解決することができる。(高1段階) (学・人) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加できる態度を養う。(高1段階: 体育理論(ウ))	(知・技) 応急手当の意義や手順方法を守りながら行動することができる。 (思・判・表) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順で、仲間と一緒に人命救助することができる。 (主学) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加することができる。	「保健」 応急手当(心肺蘇生法)	第1時 オリエンテーション 心肺蘇生法やAEDを活用する場面について 第2時～第4時 人命救助の手順 「人命救助の手順」 「心肺蘇生法の手順」 「AEDの活用方法について」
留意点 引継ぎ等					

令8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年(Ⅱ課程 A類型)職業科 介護コミュニケーション班 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者		教科書／副教材	
2単位/70時間		1学年13名		職業科			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度							
年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 （高2段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容		
年間を通して		（知及技）職業学習の心得を身につける。（高1段階ア（イ）） （思判表力）勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行う。（高1段階ア（ウ）） （学・人）他者と協働して主体的に取り組む事ができる。（高2段階ア（ウ））	（知・技）心得を理解し、行動に移すことができている。 （思・判・表）就労を意識し、言葉使いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 （主学）他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。	・勤労の意義 職業生活	・日々の業務の中で必要な身なり、時間を守るなどの大切な言葉使い等、9つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働く目的を理解する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。		
		（知及技）コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。（高2段階：情報機器イ） （思判表力）情報機器を使用し発表等を行う。（高2段階：情報機器イ） （学・人）情報機器を正しい使用方法で活用する。（高2段階：情報機器ア）	（知・技）iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 （思・判・表）情報機器を活用して発表することができている。 （主学）情報モラルを守り機器を活用しようとしている。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータやスマホの便利さと危うさを事例で学び表現・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。		
		（知及技）基本的、実践的な介護技術を身につけることができる。（高2段階イ（イ）） （思判表力）介護の心得、ホスピタリティを知ることができる。（高1段階イ（イ）） （学・人）介護職の社会的ニーズを知ることができる。（高1段階ア（イ））	（知・技）介護の役割、専門性、仕事内容を理解している。基本の介護技術を身につけることができる。 （思・判・表）相手の求める介護を行うことの重要性を理解している。 （主学）これからの社会に介護職が必要であることを知ろうとしている。	・介護の基礎と実践	・介護に従事する際の心得、高齢者の特徴や活動、認知症などの疾患を理解し、より良い介護の在り方、生活支援の方法や技術を学ぶ。 ・特別講師による講義・実演。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。		
		（知及技）コミュニケーションやレクリエーションによる援助の知識、技術を習得することができる。（産業現場ア） （思判表力）相手の実態を調べ、レクリエーションを計画することができる。（産業現場ア） （学・人）コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶことができる。（産業現場ア）	（知・技）適切な態度でレクリエーションを行うことができる。 （思・判・表）相手の実態に応じたレクリエーションを考えることができる。 （主学）積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持とうとしている。	・福祉施設、高齢者施設の見学、交流	・グループ活動においてレクリエーションを計画し高齢者や障害者と交流を行う。 ・高齢者、障害者施設の利用者との交流を通し、相手と場に応じた実践的な対応方法など体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。		
1学期	2	（知及技）就労の対価や意義を知ることができる。（高1段階ア（ア）） （思判表力）授業内容を理解し見通しを持つことができる。（高1段階ア（イ）） （学・人）職業学習の心得を理解する。（高1段階ア（ア））	（知・技）意義や対価等を学び、就労への意識を持って学習活動に取り組んでいる。 （思・判・表）学習内容を把握し、意欲的に作業に参加している。 （主学）心得を自身で考え、実行している。	・職業（介護コミュニケーション班）オリエンテーション	・作業内容の把握や心得を学び、一年の見通しと目標や意義を確認する。 ・介護に関する職業や職場、仕事内容について調べる。		
	18	（知及技）介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的な介護技能身に付けることができる。（高2段階イ（ア）㊦） （思判表力）介護や保育、サービスに必要なコミュニケーション、支え合いについて考えることができる。（高1段階イ（イ）㊦） （学・人）他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。（高1段階イ（イ）㊦）	（知・技）車いすや機器の名称・使い方を把握し、使用している。安全な介助方法を理解している。 （思・判・表）相手を知ること、コミュニケーションの大切さを理解している。 （主学）自らコミュニケーションを図り、相手を知ろうとしている。	・コミュニケーションの意義 ・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・介護技術の基本 ・高齢者体験	・相手を知ることの大切さコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・車いすの各名称、使い方知る。メンテナンス方法を学ぶ。 ・人間の動き（立位、座位、歩行、昇降など）や仕組みを学ぶ。 ・ボディーワークスを学ぶ。 ・移乗支援方法、移動支援方法を学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。		

		(知及技)1学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) 2 (学・人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)自身を振り返り、成果と課題を確認し次に活かそうとしている。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、仲間と共有しようとしている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考え、互いを認め合おうとしている。	・1学期のまとめと2学期の目標	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2 学期		(知及技)介護者として必要な基本的な介護技能と知識を身につけることができる。(高2段階イ(ア)㊲) (思判表力)高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用法を知り、快適な生活するための方法を考えることができる。(高1段階イ(ア)㊲) (学・人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高1段階イ(イ)㊲)	(知・技)高齢者、障害者の食事(誤嚥、脱水)、身体の拘縮、褥瘡など予防法が分かり、安全で適切な衣類の脱着、体位変換、ベッドメイクを行っている。 (思・判・表)高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができる。 (主学)適切な介護、支援方法を考える、仲間と協力している。	・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・感染症の理解と予防策 ・介護技術の基本 ・高齢者、障害者とのコミュニケーション ・福祉用品(補助具)	・高齢者、障害者の嚥下の仕組み、誤嚥や脱水、身体の拘縮、褥瘡について学ぶ。 ・感染症の仕組みを理解し、正しい感染症対策や感染症の基本的な予防対策を理解し、介護施設における感染症対策の必要性を学ぶ。 ・食形態、食事介助方法、水分補給方法、体位変換方法、衣類の脱着、ベッドメイク方法を学ぶ。 ・コミュニケーションの種類や方法、目的を理解し、信頼関係構築に必要な態度について学ぶ。 (しまくとぅば、手話) ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて学ぶ。
	2	(知及技)2学期の成果を確認し、3学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力)2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表することができる。(高1段階ア(イ)) (学・人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について、互いに認め合っている。	・2学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3 学期	12	(知及技)介護者として必要な基本的な介護技能と知識を確認することができる。(高1段階イ(ア)㊲) (思判表力)認知症や様々な障害がある方々の気持ちを理解し、適切なコミュニケーション方法に気付くことができる。(高2段階イ(ア)㊲) (学・人)他者と協力しながら高齢者や障害者のいきがいは何かを考えることができる(高1段階イ(イ)㊲)	(知・技)それぞれの障害の特徴、支援方法が理解している。 (思・判・表)様々な障害がある方々の気持ちを理解し適切な関わり方について考えることができる。 (主学)自分から声をかけたり、相手と積極的に関わろうとしている。	・高齢者、障害主別の特徴と気持ち ・認知症について	・各障害の特徴について知り、認知症や障害者への寄り添い方と良好なコミュニケーション方法を学ぶ。 ・高齢者の生きがい、パラリンピックでの活躍を知る。 ・お互いに介護される、介護することを体験し、介護技術の習得を確認する。
	2	(知及技)年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力)まとめた内容を皆の前で発表することができる。(高1段階ア(イ)) (学・人)次年度への目標をもち他者との共通理解を行うことができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)1年を振り返り、自分の成果をまとめている。 (思・判・表)他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (主学)意見を共有し、皆でまとめ、共通理解している。	・ちゅうさき技能検定 ・年間のまとめ	・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程 A類型）職業科 エコロジー班 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 ／70時間	2学年 7名	職業科	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学・人) よりよい生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得できる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 勤労の意義について理解することができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高1段階ア(イ)) (学・人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。(高1段階ア(ウ))	(主学)他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。 (思・判・表)就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (知・技)心得を理解し、行動に移すことができる。	・勤労の意義 職業生活	・日々の授業の中で身なりや時間を守ることの大切さ言葉遣い等、9つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う
1 学期	2	(知及技) 勤労の意義について理解することができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高1段階ア(イ)) (学・人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。(高1段階ア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解し意欲的に行動している。 (思・判・表)目標をもって取り組むことができる。 (主学)職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。	単元名「授業開き」	○1年間の授業計画を確認し、1学期の個人目標を立てることで見通しをもつ。(思判表)(主学) ○グループワークを通して、就労に必要な力について協議し、全体で意見を共有する(思判表)
	12	(知及技)清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を知り作業に活かすことができる。(高1段階イ(ア)㊦) (思判表)日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を明確にすることができる。(A職業生活ア(イ)) (学人)清掃マップを作成し清掃活動を行うことができる。(高1段階ア(ウ))	(知・技)清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を理解し作業している。 (思・判・表)日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができる。 (主学)清掃マップを作成し、効率的に校内外の清掃活動を行うことができる。	単元名「清掃の仕方を身に付けよう」	○グループワークを通して、日頃の清掃活動を振り返り、改善点を見出す。(思・判・表) ○話し合った改善点を踏まえ、他者と協力しながらHR教室の清掃を行う。(主学) ○泡瀬特別支援学校施設内清掃 ○泡瀬特別支援学校プール施設内清掃
	4	(知及技)環境整備【ビルメンテナンス】の専門的な技能を理解することができる。(高1段階イ(ア)㊦) (思判表)状況に適した清掃用具を選択・清掃作業ができる。(高1段階イ(ア)㊦) (学人)習得した技術の検定を受講することができる。(高1段階イ(ア)㊦)	(知・技)環境整備【ビルメンテナンス】の専門的な技能を理解することができる。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができる。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。(知及技) ○校内ビルメンテナンス検定に参加する(主学)
	4	(知及技)1学期の成果を確認し振り返ることができる。(高1段階ア(イ)) (思判表)1学期を振り返り自己の成長や課題点に気づくことができる。(高1段階ア(イ)) (学・人)自己の反省を他者に伝えることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、発表し伝える事ができている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について共有している。	単元名「一学期のまとめ」	○一学期の振り返りを行うことで、次への目標と見通しをもつ。(思判表) ○クラスメイトの一学期の振り返りの発表を聞いて、成果を称賛する(思判表)
	4	(知及技)勤労の意義を知り意欲的に作業に取り組むことができる。(高2段階A職業生活ア(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことができる。(高1段階A職業生活ア(イ)) (学人)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。(高1段階A職業生活ア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解し意欲的に作業を行っている。 (思・判・表)今学期の個人目標を意識し取り組んでいる。 (主学)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。	単元名「1学期の振り返りと2学期の目標設定」	○2学期の授業計画を確認し、個人目標を立て、発表を行う。(思・判・表)
	10	(知及技)美化活動が社会生活の基礎であることを知り、自主的に取り組む。(高1段階ア(ア)) (思判表)すべての職業生活の基礎となる仕事について考えることができる。(高1段階イ(ア)㊦) (学人)清掃業について、調べることができる。(高1段階イ(ア)㊦)	(知・技)美化活動が社会生活の基礎であることを理解し意欲的に取り組んでいる。 (思・判・表)すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができる。 (主学)清掃業について、調べることができる。	単元名「美化活動と職業のつながり」	○地域施設の管理・清掃を行う仕事があることを知る。(知及技) ○清掃業を行う会社を調べ、業務内容や業務場所を調べ、ワークシートに記入する。(思判表)

2 学 期	10	(知及技)環境整備「ビルメンテナンス」について知ることができる。(高1段階イ(ア)㊴) (思判表)ビルメンテナンスに求められる力「清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション」について知ることができる。(高1段階イ(ア)㊴) (学人)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかすことができる。(高1段階イ(ア)㊴)	(知・技)環境整備「ビルメンテナンス」とはということか理解し作業している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求められる力「清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション」について実践することができる。 (主学)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかそうとしている。	単元名「ビルメンテナンス」	○ビルメンテナンス協会の講師による実演会に参加し、ビルメンテナンスに求められる力を知る。(知及技) ○ビルメンテナンスの実演会で学んだことを各班で振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。(思判表) ○実演会で学んだ清掃道具の使い方を、教室や廊下の清掃で実践する。(主学)
	4	(知及技)環境整備「ビルメンテナンス」の専門的な技能を理解することができる。(高1段階イ(ア)㊴) (思判表)状況に適した清掃用具で清掃作業ができる。(高1段階イ(ア)㊴) (学人)習得した技術を検定で活かすことができる。(高1段階イ(ア)㊴)	(知・技)環境整備「ビルメンテナンス」の専門的な技能を理解することができる。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができる。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。(知及技) ○前回の結果を振り返りより高い目標を設定し検定にのぞむ(主学)
	2	(知及技)2学期の成果を確認することができる。(高1段階イ(イ)) (思判表)2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階イ(イ)) (学人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階イ(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、発表し伝えている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について共有している。	単元名「2学期のまとめ」	○2学期の振り返りを行うことで、次への目標と見通しをもつ。(思判表) ○クラスメイトの2学期の振り返りの発表を聞いて、成果を称賛する(思判表)
3 学 期	2	(知及技)勤労の意義について確認することができる。(高1段階A職業生活ア(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことができる。(高1段階A職業生活ア(イ)) (学人)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。(高1段階A職業生活ア(ウ))	(知・技)勤労の意義について理解し目標を設定している。 (思・判・表)目標を意識し取り組むことができる。 (主学)職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しを持ち取り組むことができる。	単元名「2学期の振り返りと3学期の目標設定」	○3学期の授業計画を確認し、個人目標を設定する。(思判表)
	8	(知及技)環境整備「ビルメンテナンス」について知り実践することができる。(高1段階イ(ア)㊴) (思判表)ビルメンテナンスに求められる力「清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション」について自身に当てはめ行動することができる。(高1段階イ(ア)㊴) (学人)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかすことができる。(高1段階イ(ア)㊴)	(知・技)環境整備「ビルメンテナンス」とはということか理解し作業している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求められる力「清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション」について実践することができる。 (主学)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかそうとしている。	単元名「ビルメンテナンス」	○場所や状況に応じた、作業の順序や道具の選定方法を知る。(知及技) ○作業を各班で振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。(思判表) ○自身の役割を意欲的に実践する。(主学)
	4	(知及技)環境整備「ビルメンテナンス」の専門的な技能を理解することができる。(高1段階イ(ア)㊴) (思判表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。(高1段階イ(ア)㊴) (学人)習得した技術を検定を通して披露することができる。(高1段階イ(ア)㊴)	(知・技)環境整備「ビルメンテナンス」の専門的な技能を理解することができる。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができる。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。(知及技) ○校内ビルメンテナンス検定に参加する(主学)
	2	(知及技)清掃道具の手入れ方法を知り、実践することができる。(高2段階イ(イ)㊴) (思判表)清掃道具・倉庫の手入れを丁寧に行うことができる(高2段階イ(イ)㊴) (学人)清掃道具・倉庫の手入れを他者と協力しながら行うことができる(高2段階イ(イ)㊴)	(知・技)清掃道具の手入れ方法に応じた手入れを理解し実践している。 (思・判・表)清掃道具・倉庫の手入れを丁寧に行うことができる。 (主学)清掃道具・倉庫の手入れを他者と協力しながら行っている。	単元名「作業道具の手入れ」	○今年度使用した清掃道具及び倉庫の整備を行う(知及技)
	2	(知及技)今年度の成果を確認し、次年度に活かすことができる。(高1段階イ(イ)) (思判表)今学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階イ(イ)) (学人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階イ(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考え、共有することができる。	単元名「年間のまとめ」	○今年度を振り返り、自己目標を達成できたかを確認し、班全体で共有する。(思判表)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程 Aグループ）職業科 オフィスワーク班 年間指導計画

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
2単位/70時間	1学年 13名	職業科	ワークサンプル幕張版

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けることができる。（高1段階） （思・判・表）将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得できる。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知・技）勤労の意義について理解することができる。（高1段階ア（ア）） （思・判・表）意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高1段階ア（イ）） （学・人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高1段階ア（ウ））	（知・技）職業の心得や社会での役割について考え、実際のオフィスワーク班の仕事に取り組んでいる。 （思・判・表）将来の就労を意識し、言葉遣いや身なり等を考え活動に参加している。 （主学）心得を理解し、行動している。	・勤労の意義 職業生活	・日々の事業の中で身なりや時間を守るなどの大切な言葉使い等、5つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		（知・技）情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作することができる。（高1段階ア） （思・判・表）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表する。（高1段階イ） （学・人）情報機器を正しい使用方法で活用する。（高1段階：情報機器ア）	（知・技）iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 （思・判・表）発表に情報機器を活用している。 （主学）情報モラルを守り機器を活用している。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを事例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
1学期	5	（知・技）勤労の意義について理解することができる。（高1段階ア（ア）） （思・判・表）目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高1段階ア（イ）） （学・人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高1段階ア（ウ））	（知・技）意義や対価等を学び、就労への意識を持って作業にあたる。 （思・判・表）学習内容を把握し、意欲的に作業に参加している。 （主学）心得を自身で考え、作業に主体的に取り組んでいる。	・職業学習について	・職業開きにおいて、作業内容の把握や心得の作成をおこない、一年の見通しと目標また意義を確認する。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身に付ける。
	6	（知・技）情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、操作することができる。（高1段階（ア）） （思・判・表）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高1段階イ（イ）②） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高1段階ア（ア）イ）	（知・技）機器の名称・使い方を把握し、使用している。 （思・判・表）安全に機器を使用している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・オフィス業務等の作業内容の把握	・パソコンやiPadの職業での使い方を学び、情報モラルを意識して扱いに慣れる。 ・線引きの練習やはさみの練習、ワークサンプル幕張版を使用した訓練にて器具の名称や使い方の習得を行う。 ・依頼業務や訓練業務が卒業後の就労先にどう繋がるかワークシート等を使い学ぶ。
	6	（知・技）使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱う。（高2段階イ（ア）①） （思・判・表）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高2段階イ（イ）②） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高2段階ア（ア）④）	（知・技）手順を理解し、道具や機械の操作作業に取り組んでいる。 （思・判・表）作業後の商品の確認を求め、チェックのポイントを学び、報告・連絡・相談の重要性を考え、実行している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・依頼業務（印刷業務等）	・校内外からの依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	6	（知・技）オフィス内環境の整備について知ることができる。（高1段階イ（ア）④） （思・判・表）依頼業務時に求められる力「身だしなみ・コミュニケーション」について考えることができる。（高1段階イ（ア）④） （学・人）使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。（高1段階イ（ア）⑤）	（知・技）オフィス内の環境整備「清掃、用務、修繕等」とはということと理解している。 （思・判・表）依頼業務時に求められる力「技術・身だしなみ・コミュニケーション」について考えることができる。 （主学）使用する道具の特性や扱い方を知り、場に応じて正しく扱うとしている。	・依頼業務（オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等を随時更新し、業務を引継ぐ方法を学ぶ。 ・「一糸園」からの依頼業務等、地域での作業実践を通して、働く意欲や技能を高める。

	2	(知及技) 勤労の意義について理解することができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高1段階イ(イ)) (学・人)学習を通し達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表し、他者との関わりや他者の発表を聞いて考えている。 (主学)作業の振り返りを主体的に取り組んでいる。	・学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2 学 期	8	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識を理解し技能を身に付けることができる。(高1段階イ(ア)㊦) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階イ(イ)㊦) (学・人)作業の確実性や持続性、緻密性を高め、状況に応じて作業ができる。(高1段階イ(ア)㊦)	(知・技)作業のポイントを学び、効率や確実性を意識して作業を行っている。 (思・判・表)振り返りを行い、ミスしたところやうまくいったところを自身で考えている。 (主学)正確な作業について日常から考え、実行している。	・作業の正確性	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・ホテル客室清掃をイメージしてベッドメイキングの基礎的な作業を繰り返し、正確さやスピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
	10	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深める。(高1段階イ(ア)㊧) (思判表力)作業場の安全や道具等の扱い方及び効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階イ(イ)㊧) (学・人)計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技)業務依頼から納品までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 (思・判・表)商品を扱う意識を持ち、汚れ、破れ等がないよう考え作業を行っている。 (主学)見通しを持ち、計画を意識し作業を進めている。	・依頼業務 (印刷業務等)	・校内外からの依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	10	(知及技) オフィス内の環境整備の必要性や仕組み等について理解することができる。(高1段階イ(ア)㊨) (思判表力)用具の特性や扱いに関わる技術について理解することができる。(高1段階イ(イ)㊨) (学・人)計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技)業務依頼への対応、業務遂行までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 (思・判・表)状況に応じた用具を選択・清掃や用務活動ができている。 (主学)他者との協力を意識し作業を進めている。	・依頼業務 (オフィス内環境整備、用務、修繕等)	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等の引継ぎ書を確認し、業務を正確に遂行する意識を持つ。 ・「一条園」からの依頼業務等、地域での作業実践を通して、働く意欲や技能を高める。
	2	(知及技) 勤労の意義について理解することができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高1段階イ(イ)) (学・人)計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技)学期の目標を振り返り、良い点、課題点をあげている。 (思・判・表)成長点や課題点を捉え、次学期につなげる内容を表現している。 (主学)他者と意見を交えながら目標を立てている。	・2学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3 学 期	7	(知及技) 言葉使いや身なりに気をつけ依頼者と関わることができる。(高1段階イ(ア)㊩) (思判表力)作業課題の工程では自身で判断し、修正や相談を行うことができる。(高1段階イ(ア)㊩) (学・人)苦手な作業へも挑戦することができる。(高1段階イ(ア)㊩)	(知・技)社会人のマナーを考え行動することができる。 (思・判・表)出来を確認しながら修正等を行っている。 (主学)様々な作業に挑戦する姿が見られる。	・依頼業務 (印刷業務等)	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・ホテル客室清掃をイメージしてベッドメイキングの基礎的な作業を繰り返し、正確さやスピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
	6	(知及技) 作業の効率の良い手順を探り、作業を行うことができる。(高1段階ア(ウ)) (思判表力)作業中の所作についても考え実行する。(高1段階イ(ア)㊪) (学・人)他者からの意見を素直に受け入れることができる。(高1段階イ(イ)㊪)	(知・技)自身らで工夫しながら作業を進めている。 (思・判・表)状況、相手に応じて言葉遣いや振る舞いを考え行動している。 (主学)素直な態度で指摘・指示を受け入れ行動している。	・依頼業務 (オフィス内環境整備、用務、修繕等)	・依頼の受け方や電話対応、業務のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。 ・「一条園」からの依頼業務等、地域での作業実践を通して、働く意欲や技能を高める。
	2	(知及技) 勤労の意義について理解することができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高1段階イ(イ)) (学・人)計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技)1年を振り返り、まとめることができる。 (思・判・表)他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (主学)意見を共有し、皆で意見をまとめている。	・年間のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
計	70				
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程A課程）職業（座学） 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年 生徒13名	職業科	ひとりだちするための進路学習 ひとりだちするためのライフキャリア教育 （日本教育研究出版）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知及技/思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し、目的に応じて適切に操作し、収集した情報をまとめ、考えについて適切に表現することができる。（高2段階：情報機器ア、イ） （知及技/思判表力）本校卒業生がどのような就労、社会生活を送っているのかを知り、自分の卒業後の生活について考えることができる。（高2段階：産業現場ア） （学・人）様々な職種に興味・関心を持ち、自己の適性と比較しながら進路選択を行うことができる。自立して生活している先輩方の暮らしの様子を知る。（高2段階：産業現場ア）	（知・技/思・判・表）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解している。目的に応じて、iPadやコンピュータ等の情報機器を使い、考えをまとめて発表できている。 （知・技/思・判・表）社会人の講話を聞き、就労や社会生活について知り、自分の卒業後の生活について考えている。（主学）様々な職種に興味・感心を持ち、知ろうとしている。自己の適性と比較し、進路選択を行おうとしている。	・情報機器の活用方法を知り、記録や発表に使う ・実習反省会、発表 ・先輩と語ろう会 ・校外学習（職場見学、市役所、公共施設見学等）	・情報機器の便利さと危うさ、情報モラルについて知る。 ・代表的なソフトの使い方を知り、発表に活用する ・実習事前学習、事後学習 ・先輩の職業生活や余暇の過ごし方について知り、自身の卒業後の生活についてイメージしたり、考える。 ・企業訪問（職種やその特性について理解する） ・公共施設の利用の仕方
1学期	24	（思）年間の授業内容を聞き、理解し、学習の見通しを持つことができる。（高2段階：ア（イ）） （思判表力/学・人）自己理解を深め、自己実現に向けての課題や解決の手立てを見つけることができる。（高2段階：ア（イ）） （知及技/思判表力/学・人）勤労に対する理解を深め、ビジネスマナー等を学び、理解・実践することができる。（高2段階：ア（ウ）） （思判表力/学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高2段階：ア（ウ）） （思判表力/学・人）学期を振り返り自己の成長点と反省点を発表することができる。（高2段階：ア（イ））	（思）年間の授業内容を理解し、学習の見通しを持っている。 （思・判・表/主学）自分の得意・不得意や自分の適性を知り、自分の望む職業生活への課題や解決の手立てを考えることができる。 （知・技/思・判・表/主学）勤労に対する理解を深め、ビジネスマナー等を学び、理解・実践することができる。 （思・判・表/主学）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを実感している。 （思・判・表/主学）学期を振り返り自己の達成できたことや反省点に気づき、発表している。	・授業開き ・自分のこと、自分の適性を知ろう ・勤労の意義 ・勤労と協働 ・1学期のまとめ	・「座学職業」の授業内容について知る ・教科「職業」の目標理解と実践 ・適性や自己実現に向けての課題発見 ・課題解決の手立ての立案 ・勤労について ・体調管理やマナーについて ・ビジネスマナーの学びと実践 ・履歴書の書き方を知る ・協働作業の大切さと貢献する喜び ・1学期の振り返り、成長点や反省点の記録と発表
2学期	28	（知及技/思判表力/学・人）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。（高2段階：イ（イ）） （知及技/思判表力/学・人）余暇の有効的・計画的な過ごし方について理解を深め、休日の過ごし方を考えることができる。（高2段階：イ（イ）） （思判表力）学期を振り返り自己の反省点を発表する。（高2段階：ア（イ）） （学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高2段階：ア（ウ））	（知・技/思・判・表/主学）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。 （知・技/思・判・表/主学）余暇の大切さを知り、有効的・計画的な過ごし方について理解を深め、自らの休日の過ごし方を振り返り、考えることができる。 （思・表）学期を振り返り自己の達成できたことや反省点に気づき、発表している。 （主学）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを実感している。	・勤労と協働 ・職業生活に必要なこと ・余暇の過ごし方について ・社会人としての付き合い ・自立した社会生活を目指して ・2学期のまとめ	・ビジネスマナーの学びと実践 ・社会人としての身だしなみの整え方の実践（出前講座） ・人との付き合い方 ・電話、携帯、スマホの使い方 ・金銭の管理について ・後期現場実習に向けて ・実習を振り返り、自身の成長点と課題点を知る ・課題解決の手立てと実践 ・余暇の役割、学校以外の居場所について知る ・テーブルマナーの学びと実践 ・福祉のサービスや制度について知る（出前講座） ・自立を目指した生活の場について知る ・卒業後のライフプラン、マネープランを考える ・2学期の振り返り、成長点と反省点の記録と発表
3学期	18	（知及技/思判表力/学・人）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。（高2段階：イ（イ）） （思判表力/学・人）年間を振り返り自己の成長や反省点を発表することができる。（高2段階：ア（イ））	（知・技/思・判・表/主学）卒業後の進路にや職業生活について理解を深め課題や解決策を考えて発表している。 （思・表/主学）年間を振り返り自己の成長や課題に気づき、発表している。	・職業生活 ・年間のまとめ	・ビジネスマナーの学びと実践 ・実習体験をもとにした進路選択 ・成長点と課題点の記録と発表 ・課題解決の手立てと実践 ・卒業後のライフプラン、マネープランを考える ・年間の振り返り、ファイルのまとめ ・成長点や反省点の記録と発表
留意点 引継ぎ等		【評価資料】授業中の発言、態度、ワークシートの記述、課題への取り組み、発表の様子など各学期ごとに評価を行う。			

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年(Ⅱ課程 A類型)家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1.5単位 ／52.5時間	1 学年13名	家庭科	Survive!!(教育図書)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
		(知及技)家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	16.5	【家族・家庭生活】 (知及技)自分の成長と家族や家庭生活等との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くことができる。(高1段階：家族・家庭生活ア(ア)) (思判表力)家庭生活に必要なことや自分の果たす役割について考え表現することができる。(高1段階：家族・家庭生活ア(イ)) (学・人)家族とのよい関わり方について考え、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階：家族・家庭生活イ(イ))	【家族・家庭生活】 (知・技)中学生までの成長や生活は、家族や家庭生活に支えられていることに気付くことができる。また、自立に向けて生活の中であることができる。 (思・判・表)家庭の仕事について、生活の振り返りと自分の役割について考え、表現することができる。 (主学)家族とのよい関わり方について、各学習活動での目標を把握し主体的に取り組む学習後の振り返りを適切に行うことができる。(評価資料)授業の様子、ワークシート	【家族・家庭生活】 ・自分の成長と家族 ・生涯の生活設計 ・自立に向けたこれからの生活	【家族・家庭生活】 ・自分のこれまで成長してきた過程を振り返り、自分の成長や生活が家族や家庭生活に支えられてきたことを確認する。 ・ライフステージに応じた発達課題を確認する。家事分担について考える。 ・自立の意味や自立の種類について学習し、自立するために今何ができるかを考える。
		【衣食住の生活】 (知及技)場に応じた日常着の着方について理解することができる。(高1段階：衣食住の生活ア(ア)) (思判表力)目的に応じた着用、個性を生かす着用について考えることができる。(高1段階：衣食住の生活ウ(ア)) (学・人)目的に応じた縫い方について考え工夫する事ができる。(高1段階：衣食住の生活エ(イ))	【衣食住の生活】 (知・技)生活やTP0に合った服装を理解することができる。 (思・判・表)着用の目的に合わせて、適切な服装を選ぶ理由を考え、説明することができる。 (主学)縫う部分や目的について考え、よりよい仕上がりになるよう工夫し実践することができる。(評価資料)授業の様子、ワークシート、作品	【衣食住の生活】 ・衣服の機能 ・衣服と社会生活の関わり ・布を用いた製作	【衣食住の生活】 ・目的に応じた着用(活動内容・季節・TP0等)を理解する。 ・個性を生かす着用が与える印象について考えを発表する。 ・裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方について理解する。 ・「基礎縫い」(なみ縫い、返し縫い、かがり縫い等の練習) ・縫う部分や順番について考え、「ふきん」を作成する。

2 学 期	24	【衣食住の生活】 (知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。(高1段階：衣食住の生活ア(ア)) (思判表力)健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。(高1段階：衣食住の生活ア(イ)) (学・人)食生活と健康について、課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。(高1段階：衣食住の生活イ(ア))	(知・技)食品には栄養素が含まれていることがわかり、食事が体に与える影響について理解することができる。 (思・判・表)食習慣を振り返り、課題を見つけ、栄養バランスを考えた食材選択をするなど工夫することができる。 (主学)健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に生かそうとする姿勢がみられる。 (評価資料)授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ・食事の役割 ・栄養素の働き ・食品と栄養素 ・簡単な日常食の調理	【衣食住の生活】 ・五大栄養素の働きや多く含まれる食品について確認する。 ・食事が果たす役割や食生活と健康の関係について確認する。 ・栄養バランスの良い献立について学習し、自分の食習慣の課題を考える。 ・食品衛生と安全管理について確認し、日常生活に潜む食の危険について話し合う。 ・調理器具の正しい取り扱いや調理室的使用方法について理解する。 ・調理の工程を考えながら実習を行う。(おにぎり、味噌玉)
		【衣食住の生活】 (知及技)家族の生活と住空間との関わりがわかり、住居の基本的な機能について理解することができる。(高1段階：衣食住の生活オ(ア)) (思判表力)自分や家族の安全を守るために、家庭内の危険や、防犯・災害時の行動について考える工夫することができる。(高1段階：衣食住の生活オ(イ)) (学・人)自分や家族が心地よく過ごせる住まいについて関心を持ち、生活に活かそうと主体的に取り組むことができる。(高1段階：衣食住の生活オ(ア))	【衣食住の生活】 (知及技)家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解できる。 (思判表力)住まいの安全を整える工夫とその対策について考えたり、災害時にできる家庭内での工夫をまとめることができる。 (学・人)自分や家族が心地よく過ごせる住まいについて関心を持ち、ち、実践に向けて主体的に考え実践しようとするすることができる。(高1段階：衣食住の生活オ(イ)) (評価資料)授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ・住まいの機能 ・安全で快適な住まい ・住居の維持管理	【衣食住の生活】 ・住生活を振り返り、住まいの機能や現代の住まい方について確認する。 ・家族の生活と住空間との関わりについて確認する。 ・家庭内事故が起こる原因とその対策について考える。 ・防犯、防災への対策を考える。 ・住まいの安全、快適さなど理想的な住空間の整え方を話し合い、発表することができる。
3 学 期	12	【消費生活・環境】 (知及技)売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。(高1段階：消費生活・環境ア(ア)イ) (思判表力)購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の工夫を考えることができる。(高1段階：消費生活・環境ア(ア)ア) (学・人)商品やサービスの選択に必要な情報を活用し、購入方法や支払い方法について考え、計画的な金銭管理について工夫して取り組むことができる。(高1段階：消費生活・環境ア(イ))	【消費生活・環境】 (知・技)売買契約の仕組みや消費者トラブルについて知り、商品やサービスを選択するために必要な情報の収集と整理をすることができる。 (思・判・表)様々な購入方法や支払い方法のメリット・デメリットに気付く、計画的な金銭管理の工夫について考えることができる。 (主学)購入方法や支払い方法の学習に関心をもち、自分の生活にあった方法を選び、計画的な金銭管理の方法について工夫しようとしている。 (評価資料)授業の様子、ワークシート	【消費生活・環境】 ・契約と消費者トラブル ・様々な支払い方法 ・計画的な消費生活	【消費生活・環境】 ・様々な売買契約の仕組みや消費者の権利、18歳成人以降の契約は法的な拘束力があることを確認する。 ・様々な購入方法や支払い方法があり、それぞれメリット・デメリットについて考え、自分の生活に合う購入方法や支払い方法をまとめる。 ・計画的な金銭管理をするために自分でできる工夫を考える。
		留意点 引継ぎ等	学習活動の様子や授業態度、ワークシートの記述、テストや各課題の状況等により評価する。		

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程 A類型）外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部1年Ⅱ課程A類型 13名	外国語科	『ドラえもんはじめての英語ドリル』基本の英語表現/ プリント教材など

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階) (学・人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階：英語の特徴ア(ア)㉔) (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。(高1段階：イ(ア)) (学・人)言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階)	(知・技) 英語の音声を聞いて発音の練習をしたり、意味を考えながら丁寧に書くことができる。 (思・判・表) 学んだ英語表現を用いて自分に関することを伝えようとしている。 (主学) 場面に即した簡単な質問をしようすることができる。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元1：あいさつ Greeting ・自己紹介 単元2：数 Numbers 単元3：家族 Family 単元4：色 Colors	・初めて会った時や日常のあいさつを確認する。 ・定型文を用いて自己紹介カードを作成し、交換をしながら自己紹介のやり取りをする。(名前、出身中学校名など) ・他者の自己紹介を聞く。 ・数字の読み方(1～20)や数を尋ねる表現“How many ～?”に慣れる。 ・ビンゴ活動で数を聞いたり伝えたりする。 ・インタビューゲームを通して数を尋ねる。 ・絵カードを活用し、家族メンバーの表現に親しむ。 ・絵を用いて、“This is ～”の表現を使い家族を紹介をする。 ・折り紙を使ったビンゴ活動などで色表現を理解する。 ・“I like ～. / I don't like ～.”の表現を用いて自分の好きな色を伝える。
		(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階：英語の特徴ア(ア)㉔) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。(高1段階：イ(ア)) (学・人) 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。(高1段階)	(知・技) 形や食べ物、文化等に関する語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、自分に関することを書いたり、表現しようとしている。 (主学) 外国語を使おうとしたり、外国と自国の文化の違いをを理解しようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元5：夏休みについて Summer Vacation 単元6：形 What shape is this? 単元7：オータムフェスティバル Autumn Festival 単元8：食べもの What would you like? 単元9：ホリデイシーズン Holiday Season	・定型文を参考に、簡単な語句を使って夏休みに行った場所や見たものなどについて発表する。 ・夏に関する簡単な単語に慣れる。 ・曲や動画で形の表現を確認したり、絵カードを活用して表現に慣れる。 ・形の表現を聞いて理解する。 ・形を問う質問をする。 ・外国で行われているハロウィンの様子を知り、外国の行事の様子と日本の行事の样子の違いを学ぶ。 ・ハロウィンに関する語句や表現に触れる。 ・歌やチャントなどを使い、食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ・“I want to eat / drink/ have～.”の表現を使い、食べたいものや飲みたいものを伝える。 ・“What would you like?” “I'd like ～.”などの丁寧な表現に慣れる。 ・外国から来る食べ物や、英語と日本語の違いについて考える。 ・外国の年末年始の過ごし方を知り、クリスマスカードづくりを行う。 ・メッセージの意味を理解しながら文字を綴る。
		(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。(高1段階：英語の特徴ア(ア)㉔) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高1段階：イ(イ)) (学・人) 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。(高1段階)	(知・技) 新年や干支等をはじめ、各単元で学ぶ語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、感謝の気持ちを書き綴ろうとしている。 (主学) 外国語を使おうとしたり、外国の文化の理解を深めようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元10：ハッピーニューイヤー Happy New Year ・動物 単元11：バレンタインデー Valentine's day 単元12：1年間のまとめ	・外国の新年の挨拶や、過ごし方について学ぶ。 ・新年の干支(Zodiac animals)や動物について、絵カードやクイズを通して知る。 ・“What is this year's eto?”の質問に、“It is ～.”の表現を使って答える。 ・年号の伝え方を知り、理解する。 ・クイズを通して、外国のバレンタインデーの過ごし方について知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。 ・既習語句・表現のふりかえり ・Thank you cardを作成し、友人やお世話になった方へ感謝の気持ちを表す。 ・送る相手に適した表現を知る。
留意点 引継ぎ等		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ) (五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 1年(II 課程 A 類型)情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5時間	1学年 13 名	情報科	・学習プリント作成 ・タイピングソフト ・動画教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータ・データ等の活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階)			
		(思判表力)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階)			
		(学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技)コンピュータの基本的な操作方法を知り、簡単な操作を行うことができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)インターネット上のやり取りで気を付けることを知り、適切な行動を選ぶことができる。(高1段階Aイ(イ)) (学・人)インターネットを使うときの約束を知り、守ることができる。(高1段階)	(知・技)コンピュータの基本的な操作方法について理解し、電源の入切やマウス操作、文字入力などの簡単な操作を行うことができる。 (思・判・表)インターネット上のやり取りにおいて気を付けることを理解し、場面に応じた適切な行動を選ぼうとしている。 (主学)インターネット上のコミュニケーションを適切に取ろうとしている。	○コンピュータの基本的な操作 ・ホームポジションを理解しよう ・ローマ字入力を練習しよう ・アカウントのログインの仕方 ○情報モラルと情報リテラシー ・情報リテラシー ・出会い系トラブルの危険性 ・情報セキュリティ ・ネット依存 ・炎上とネットいじめ	・タイピング練習サイト等を活用して、両手のホームポジションおよび指づかいが定着するよう練習する。 ・ローマ字で入力できるよう、タイピング練習する。 ・配布されたteamsのIDとPWを正確に入力し、ログインする練習をする。 ・対面やインターネット上でのコミュニケーションの特徴について考える。 ・動画教材を活用し、SNS利用の注意点やトラブルへの対処法等を学ぶ。
		(知及技)表計算ソフトにデータを入力し、簡単な表やグラフの形式で表すことができる。(高1段階Cア(ウ)) (思判表力)発表の内容を分かりやすく伝える方法を知り、確認しながら適切な方法を選ぶことができる。(高1段階Bイ(イ)) (学・人)発表する内容を相手に伝えようとし、助言や振り返りを通して工夫しようといふことができる。(高1段階)	(知・技)表計算ソフトにデータを入力し、簡単な表やグラフの形式で表そうとしており、手順を確認しながら基本的な操作を行っている。 (思・判・表)発表の内容を分かりやすく伝える方法に目を向け、提示された方法の中から適切なものを選びながら活用している。 (主学)発表する内容を相手に伝えようとする姿勢が見られ、助言や振り返りを生かしてよりよい表現にしようといふ取り組んでいる。	○データの収集・整理・分析 ・表計算ソフトを活用しよう ・Wordの使い方 ・Excelの使い方 ○情報の活用と表現 ・パワーポイントの使い方 ・パワーポイントを使ってプレゼンテーションの作成 ・プレゼンテーションを用いて発表をしよう。	・表計算ソフトや文書作成ソフトの基本操作を身につけることを通して、ICTツールの効果的な活用方法を学ぶ。 ・表計算ソフトや文書作成・デザインツールの特性と利便性を理解し、目的に応じたICT活用能力を高める。 ・ツールの操作技術を活かして、自分の名刺を作成する。 ・情報の取捨選択やデザインの工夫を通して、表現力と主体性を育む。 ・「パワーポイントの使い方」から始まり、「プレゼンテーションの作成」や「発表」までの一連の学習を通して、情報を的確に伝える方法を学ぶ。 ・就業体験をテーマにして、設定し、資料を集め、構成を練り、視覚的に分かりやすいスライドの作成する。 ・画像やグラフ、アニメーションを活用し、発表内容をより魅力的に伝える方法について考える。 ・情報の伝え方や表現方法を主体的に学ぶ。
2学期	21・5	(知及技)身近なデータの集め方や保存の仕方、情報通信ネットワークを通じて提供されるサービスの仕組みについて、基本的なことを知る事ができる。(高1段階Cア(イ)) (思判表力)情報システムが提供する身近なサービスについて、どのように利用するかを考えることができる。(高1段階Cイ(イ)) (学・人)身近な情報や情報技術に関心をもち、目的に応じて活用しようといふとともに、情報社会の一員として約束を守ろうといふことができる。(高1段階)	(知・技)身近なデータの集め方や保存の仕方、情報通信ネットワークを通じて提供されるサービスの基本的な仕組みについて理解し、簡単な活動に取り組んだりすることができる。 (思・判・表)情報システムが提供する身近なサービスについて、その使い方や便利さに目を向け、どのように利用するか場面を想定しながら考えることができる。 (主学)身近な情報や情報技術に関心をもち、活動に取り組もうとする姿が見られるとともに、情報社会の一員として約束やルールを守ろうとしている。	○日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング ・QRコードとは ○年間のまとめ ・オリジナル名刺作成 ・卒業生、職員へ送るメッセージカード作成	・電子商取引 ネット通販の画面を例に、商品の検索から注文・支払い・配送までの流れを確認する ・POSシステム レジでバーコードを読み取る仕組みを学び、販売データが記録・集計される様子を模擬体験する ・マーケティング 身近な広告や商品を取り上げ、「誰に向けたものか」「どんな工夫があるか」を考える。簡単なアンケート結果をもとに販売戦略を考察する。 ・QRコードとは QRコードを読み取り、どのような情報が含まれているかを確認する。活用場面と安全な利用方法について理解する。 ・1、2学期で学んだWord・Excel・PowerPointの学習を元にオリジナルの名刺やメッセージカードをデザイン、作成する。
		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)			
留意点 引継ぎ等		(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	高等部 1 年 13 名	1 学年担当	新訂 新しい道徳 3

年間目標		(A: 自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B: 人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C: 集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D: 生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に (慰霊の日におきて) ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2 学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいのか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3 学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木が大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 1年（Ⅱ課程 A類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1 単位 (35時間)	1 年 (13名)	1 学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 就業体験事前・事後学習や体験的な学習活動を通して、それぞれの職業班で必要な知識や技能を身につける。 (思判表力) 就業体験や学習的な体験活動を通して、学んだことをまとめ、発表活動を行うことができる。 (学・人) 就業体験や学習的な体験活動を通して、集団の中で話し合い、課題を解決する力や能力を身につける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校内)事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2 学期	14	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期就業体験(校内)事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3 学期	9	(知及技) 販売学習や実演の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 販売学習や実演を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習や実演を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習・実演 事前学習 事後学習 ○進路学習	○視覚教材を活用して、みさき市や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習や実演における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○視覚教材を活用して、販売学習や実演での活動内容を振り返る。 ○各自の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○職業について学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 1 年（Ⅱ課程 A 類型）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	1 学年 13名	1 学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し解決するために話し合うことや、合意形成を図ったり意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・身なり服装を整えて式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。(学・人) ・自分自身の健康状態への理解を深めることができる。(知及技) ・生徒同士協力して学校生活の充実に向けて意識を高めることができる。(思判表力) ・自他を理解して尊重し、命を大切にすることを育てることができる。(思判表力) ・防災についての理解を深め、実践的な対応力を高めることができる。(知及技、思判表力) ・地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深めることができる。(思判表力、学・人) ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。(知及技、思判表力、学・人)	・入学式・終業式 ・身体測定 ・生徒総会 ・交通安全指導 ・火災避難訓練 ・交流会 ・個人目標、学期のまとめ	・入学式、終業式の実施 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査の実施 ・生徒総会の運営と実施 ・交通安全指導の実施 ・火災避難訓練の実施 ・交流会の計画・運営（本校との交流・他校との交流） ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2 学期	14	・儀式的行事への参加を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。(学・人) ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。(知及技、思判表力) ・健全な発達や健康維持を目指すことができる。(知・技)(学・人) ・日頃の学習成果を発表し、自己の役割を意識して最後までやり遂げることができる。(思判表力、学・人) ・選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。(思判表力) ・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。(知・技)(学・人) ・交流会の企画・運営および情報交換をととして、本校の生徒会活動の活性化をはかることができる。(思判表力、学・人) ・卒業生のもつ価値観や考え方について理解する。また自分の将来に生かせる視点をもつことができる。(思判表力、学・人) ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。(知及技、思判表、学・人)	・始業式・終業式 ・地震津波避難訓練 ・体育祭 ・生徒会役員選挙 ・校外学習 ・交流会 ・卒業生講話 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式の実施 ・地震津波避難訓練の実施 ・体育祭の実施 ・生徒会役員選挙の実施 ・校外学習の計画と実施 ・近隣高校との交流会の実施(コザ高校) ・卒業生講話の実施 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
3 学期	9	・儀式的行事への参加を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。(学・人) ・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることができる。(思判表力、学・人) ・支えてくれた先輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。(思判表力) ・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。(学・人) ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。(知及技、思判表力、学・人)	・始業式、卒業式、修了式 ・みさき市(販売学習) ・3年生を送る会 ・校外学習 ・個人目標、1 年間のまとめ	・始業式、卒業式、修了式の実施 ・みさき市の準備 ・3年生を送る会の実施 ・校外学習の計画と実施 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て ・1 年間を振り返り、次年度への見通しを立てる。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室2年（Ⅱ課程A類型）国語科 年間指導計画

単位数 ／配當時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年 7名	国語科	くらしに役立つ 国語

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（高1段階） （思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。（高1段階） （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	（知及技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。（高1段階ア(イ)） （思判表力）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。（高1段階A工） （学・人）文章作成の方法、話し方のポイントなど学習したことを意識しながら発表に取り組むことができる。（高1段階）	（知・技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 （思・判・表）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 （主学）文章作成の方法、話し方のポイントなど学習したことを意識しながら自分のことを伝えようとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自分のことを理解する ・自分の情報をまとめる ・話し方のポイント ・自己紹介	・自分の基本情報や好きなことなどについて、項目ごとに整理しながら「自己紹介シート」にまとめ、自己紹介をする。 ・話し方、態度について確認し、自己紹介をする。 ・互いの発表を聞いて感想や良いところ、改善点を共有する。
	5	（知及技）文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（高1段階ア(ハ)） （思判表力）文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。（高1段階Cオ） （学・人）作品に込められた気持ちや情景を想像したり、自分とむすびつけて考えることができる。（高1段階）	（知・技）文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 （思・判・表）文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができている。 （主学）作品に込められた気持ちや情景を想像したり、自分とむすびつけて考えようとしている。	単元「詩を読もう」「詩を書こう」 ・詩の音読 ・詩の鑑賞 ・詩の作成	・何編か詩を聞く。また、音読する。 ・印象に残った箇所と理由を発表する。 ・自分の気持ちや感じることを言葉や文字にして表現し、詩の形にしてみる。 ・平和に関する詩を用いたり戦争の話を聞いたりして具体的な様子を想像する。 ・内容を想像しながら平和の詩を音読する。 ・詩を読んだ感想を発表する。 ・詩で描かれている情景と自分の生活を振り返り、「平和」とは何か考える。 ・「平和」をテーマにした詩を書く。
	2	（知及技）幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。（高1段階ウ(カ)） （思判表力）文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。（高1段階Cオ） （学・人）おすすめの本を選んだり、好きな部分を探したりして読書に親しむことができる。（高1段階）	（知・技）幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 （思・判・表）文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができている。 （主学）おすすめの本を選んだり、好きな部分を探したりして読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・学校図書館の利用 ・読書活動 ・おすすめの本の紹介	・様々な分野や種類の書物が存在することに気づき、実際に手に触れることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。 ・自分の好きな本を選び、おすすめしたいポイントや簡単な内容をまとめ本の紹介をする
	10	（知及技）日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。（高1段階ア(カ)） （思判表力）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（高1段階A工） （学・人）学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとすることができる。（高1段階）	（知・技）日常よく使われる敬語を理解し使うことができている。 （思・判・表）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 （主学）学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとしている。	単元「敬語を使おう」 ・敬語とは ・敬語の種類 ・職場でよく使う挨拶 ・正しい姿勢で話そう	・敬語が必要な場面や使う意義について考える。 ・「尊敬語」などの敬語の種類について知る。 ・日常生活の中で使われている敬語や職場場面がよく使う挨拶、丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 ・学習した言葉を場面と結び付けながら、実際の場面を想定してロールプレイをする。 ・声の出し方、姿勢などについて確認し、意識して練習に取り組む。

10	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(高1段階A(7)) (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1段階Aア) (学・人) 言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えたりすることができる。(高1段階)	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えている。 (主・学) 言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えようとしている。	単元「メモをとろう」 ・メモの取り方 ・話の内容を捉えよう ・メモをとって伝えよう	・職業場面などに関連づけて話を正しく聞き取ることの大切さ、メモをとることの必要性について考える。 ・「いつ」「どこで」「誰が」の5W1Hや必要に応じて言葉を省略していいことなど、メモを取るときに必要な事柄を確認する。 ・連絡事項や説明、電話対応など実際の場面を想定し、2～3文の短い文、長い文と段階的に話を聞いてメモをとる練習をする。 ・聞き取った内容を他の人に伝言したり、聞き取れなかった場合の聞き返し方について確認、練習する。
5	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高1段階A(7)) (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Bア) (学・人) 暑中見舞いの意義を理解し、すすんで書くことができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にして書いている。 (主・学) 暑中見舞いの意義を理解し、すすんで書くようとしている。	単元「暑中見舞いを書く」 ・手紙の書き方 ・暑中見舞いの作成	・手紙の種類や葉書の正しい書き方、季節の挨拶について学ぶ。 ・相手の名前や住所、郵便番号など必要な情報を集め、バランスを意識しながら宛名を書く。 ・相手を見舞い自分の近況を伝える、という暑中見舞いの意義を踏まえて相手に伝えたい内容を考え、文章の構成や言葉遣い、表記に注意しながら通信面を書く。
5	(知・技) 身近な方言の挨拶や意味、使い方について知り、簡単な挨拶を使うことができる。(高1段階ウ(7)) (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 生活の中で身近に使われている方言を知り、使うことにより郷土の言語文化に親しむことができる。(高1段階)	(知・技) 身近な方言の挨拶や意味、使い方について知り、簡単な挨拶を使うことができる。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主・学) 生活の中で身近に使われている方言を知り、使うことにより郷土の言語文化に親しもうとしている。	単元「方言に親しもう」 ・うちなーぐちカルタ ・しまくとぅばを学ぼう	・うちなーぐちカルタを通して、簡単な方言の意味や使い方について知る。 ・地域によって違う方言が使われていることや、自分の地域の方言の特徴について学ぶ。 ・方言での簡単な挨拶や日常生活でのやりとりについて学び、具体的な場面を設定してロールプレイをする。
5	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階ア(カ)) (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主・学) 学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとしている。	単元「敬語を使おう」 ・職場でよく使う挨拶 ・対応を考えよう ・正しい姿勢で話そう	・日常生活の中で使われている敬語や職場場面でもよく使う挨拶、丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 ・学習した言葉を場面と結び付けながら、実際の場面を想定してロールプレイをする。 ・声の出し方、姿勢などについて確認し、意識して練習に取り組めるようにする。
10	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムを理解することができる。(高2段階ウ(7)) (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確に表すことができる。(高1段階Bア) (学・人) 自分の思いや考えを言葉で素直に表現しようとするすることができる。(高1段階)	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムを理解している。(高2段階ウ(7)) (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確に表そうとしている。 (主・学) 自分の思いや考えを自分の言葉で表現しようとしている。	単元「俳句をつくろう」 ・俳句とは ・俳句作成 ・鑑賞会	・読みやすい文語調の俳句の作品を鑑賞、音読し、短歌の歴史や形式について知る。 ・自分の気持ちに合う言葉を集め、俳句の形式に整えて表現する。 ・鑑賞会の中で、お互いの感想を交流する。
10	(知・技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(高1段階ア(ナ)) (思・判・表) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cア) (学・人) 文学特有の表現や内容の面白さを感じ取り、楽しみながら作品を読もうとする。(高1段階)	(知・技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 (思・判・表) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えている。 (主・学) 文学特有の言葉遣いや表現の面白さを感じ取り、楽しみながら作品を読もうとしている。	単元「文学に親しもう」 ・「走れメロス」	・登場人物の言動や情景描写から、登場人物の人物像を考える。 ・登場人物の心情の変化を場面に沿って捉える。 ・登場人物と自分自身を比較し、共通点や相違点を考える。 ・内容のまとまりを意識しながら音読をし、作品特有の言葉遣いなど表現について考える。

3 学 期	5	(知・技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高1段階ウ(イ)㊟) (思判表力) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(高1段階Bウ) (学・人) 書道を通して、日本文化に親しむことができる。(高1段階)	(知・技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思・判・表) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学) 書道を通して、日本文化に親しんでいる。	単元名「日本文化に親しもう」 ・さまざまな筆の感触を味わおう ・好きな文字や言葉を書こう ・道具の名前を覚えよう	・書道道具や筆の扱い、書く時の正しい姿勢などを確認し、新年の目標や自分の書きたい字を選ぶ。 ・字の形、全体のバランスを意識しながら書写を行う。 ・互いの作品を鑑賞する。 ・書道に関する作品を鑑賞し、様々な表現方法があることを知る。
	5	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高1段階ア(ウ)) (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階C工) (学・人) 年賀状の意義を理解し、すすんで書くことができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にして書いている。 (主学) 年賀状の意義を理解し、すすんで書こうとしている。	単元「年賀状を書こう」 ・年賀状の作成	・年賀状の目的や賀詞の選び方、忌み言葉を使わないなどのルールについて確認する。 ・相手の名前や住所、郵便番号など必要な情報を集め、バランスを意識しながら宛名を書く。 ・相手の立場に合った賀詞を選ぶ。 ・新年の挨拶という年賀状の意義を踏まえて相手に伝えたい内容を考え、文章の構成や言葉遣い、表記に注意しながら通信面を書く。
	5	(知・技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高1段階ウ(イ)㊟) (思判表力) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(高1段階Bウ) (学・人) 書き初めを通して、日本文化に親しむことができる。(高1段階)	(知・技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思・判・表) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学) 書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・書き初め ・新年の目標を書こう	・書道道具や筆の扱い、書く時の正しい姿勢などを確認し、新年の目標や自分の書きたい字を選ぶ。 ・字の形、全体のバランスを意識しながら書写を行う。 ・互いの作品を鑑賞する。 ・書道に関する作品を鑑賞し、様々な表現方法があることを知る。
	10	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1段階Aア) (学・人) 言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えたりすることができる。(高1段階)	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えている。 (主学) 言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えようとしている。	単元「メモをとろう」 ・話の内容を捉えよう ・メモをとって伝えよう ・インタビューしよう	・職業場面などと関連づけて話を正しく聞き取ることの大切さ、メモをとることの必要性について考える。 ・「いつ」「どこで」「誰が」の5W1Hや必要に応じて言葉を省略していいことなど、メモを取るときに必要な事柄を確認する。 ・連絡事項や説明、電話対応など実際の場面を想定し、2～3文の短い文、長い文と段階的に話を聞いてメモをとる練習をする。 ・聞き取った内容を他の人に伝言したり、聞き取れなかった場合の聞き返し方について確認、練習する。
	10	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに気づくことができる。(高2段階ウ(ア)) (思判表力) 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(高2段階Cウ) (学・人) 今と昔の人々の言葉や文化、考え方において、違う部分や共通点について考えることができる。	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに気づいている。 (思・判・表) 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 (主学) 今と昔の人々の言葉や文化、考え方において、違う部分や共通点について考えることができる。	単元「古典に親しもう」 ・歴史的仮名遣い ・「竹取物語」	・古文の歴史や有名な作品などについて知り、簡単な歴史的仮名遣いについて確認する。 ・本文を音読し、古文特有のリズムを感じる。 ・訳文を用いて現代とは違う意味を持つ言葉などがあることを確認しながら、登場人物の心情を読み取る。 ・言葉や文化、人々の気持ちや考え方など、今と昔で違うこと、共通することは何か考える。

年間を通した指導	5	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(高1段階A(I)) (思・判・表力) 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。(高1段階C(Ⅱ)) (学・人) 自分の興味のある記事やテーマに合う記事を選び、感想をもったり自分の経験と結び付けて考えることができる。(高1段階)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 (思・判・表) 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。 (主・学) 自分の興味のある記事やテーマに合う記事を選び、感想をもったり自分の経験と結び付けて考えようとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツチャレンジ”NIE ・新聞スクラップ	・新聞の構造について学ぶ。 ・自分の興味のある記事記事を選び、ワークシートを用いて5W1Hや中心となる語を見つける。 ・辞書やi P a dなどを用いてわからない語の意味を調べる。 ・記事を読んで感想を書く。 ・自分が集めた記事や、テーマに沿った記事を集め、新聞スクラップを作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程A類型）社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部 2学年 7名	社会科	「くらしに役立つ 社会」東洋館出版社 等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。(高1段階) (思判表力) 社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 地球上における日本の位置を認識し、また沖縄や自分の住む市町村に関する位置関係を理解することができる。(高1段階：オ(ア)㉔) (思判表力) 学校と自分の住む場所との位置関係を方位で表すことができる。(中1段階：オ(ア)㉔) (学・人) 自分たちの県の地理的環境の特色を考え、学んだことを生かして生活を送ることができる。(高2段階)	(知・技) 世界地図を見て日本がどこに位置しているか理解できている。 (思・判・表) 学校と自分の住む場所との位置関係を八方位で表すことができる。 (主学) プリントに自分の考えをまとめている。	・地図で見る日本と沖縄	・方位と地図について、地図上の施設などを方角で示すことができる。 ・六大陸と日本について世界地図を活用し、それぞれの大陸の位置関係をパズルを使って確認する。 ・世界の国々について様々な国々の文化や気候などの特徴を自分で調べて発表する。 ・沖縄と自分の住む市町村について、特産品やオススメスポットなどをまとめる。
		(知及技) 慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解することができる。(高2段階：オ(イ)㉔) (思判表力) 戦後の沖縄の写真を見て、当時の様子について考えることができる。(高2段階：オ(イ)㉔) (学・人) 50年前の沖縄と現在を比べ、今後はどのように生活が変わるかイメージすることができる。(高2段階)	(知・技) 視聴覚教材に注目している。または復習テストで正解できている。 (思・判・表) 視聴覚教材をみて発問について考えている。または、プリントに表現している。 (主学) イメージをワークシートに表現している。	・復帰記念日・慰霊の日	・復帰記念日の歴史的背景について、太平洋戦争から戦後の日本と沖縄の様子を視聴覚教材などを利用して当時の様子を考える。 ・慰霊の日の歴史的背景について、沖縄戦の状況を知るために校外学習を行う。
		(知及技) SDGsの目標について理解することができる。(高2段階：カ(ア)㉔) (思判表力) SDGsの目標達成に向けて自分が果たす役割を考え、表現することができる。(高2段階：カ(ア)㉔) (学・人) SDGsの目標の解決に向けて自分ができることを調べ、考えようとしている。(高2段階)	(知・技) SDGsの目標について理解できている。 (思・判・表) SDGsの17の目標から自分の興味がある目標を選び、解決に向けて自分ができることを考え、ワークシート等にまとめている。 (主学) 資料等を基に、SDGsの目標の解決に向けて自分ができることを考えようとしている。	・SDGsについて学ぼう	・SDGsについて17の目標の内容を学習し、すぐにできることは何かを具体的に考えて発表する。
		(知及技) 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。(高1段階：イ(イ)㉔) (思判表力) ルールの意義について考えることができる。(高2段階：イ(イ)㉔) (学・人) よりよいルールについて考えようすることができる。(高2段階)	(知・技) 教師の説明や視聴覚教材に着目している。または復習テストで正解できている。 (思・判・表) 視聴覚教材をみて考えている。 (主学) 資料等を見て新しいルールについて考えている。	・憲法と民主主義	・日本国憲法と明治憲法を比較し、それぞれの特徴から幕府政治から民主主義への移り変わりについて学習する。 ・民主主義について、身近な制度などを通して政治と実生活が密接になっていることを考える。
		(知及技) 多数決の原理について理解することができる。(高2段階：ア(イ)㉔) (思判表力) 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。(中1段階：ア(ア)㉔) (学・人) 選挙で代表を選ぶ仕組みや、国民の権利、意義等について理解し、政治参加への意欲がある。(高2段階)	(知・技) 数が多い意見が通ると同時に少数意見の尊重についても、理解できている。 (思・判・表) 自分の中で代表者を選択した理由がある。 (主学) プリントに自分の考えをまとめている。	・選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙について選挙の仕組みを学ぶ。 ・マニフェストを比べて、身近な事から比較し考えてみる。

2 学 期	28	〔知及技〕異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であると理解することができる。（高1段階：力（ア）㉔） 〔思判表力〕日本と関係の深い人々の生活に着目して、グローバル化する国際社会における日本の役割を考え、表現することができる。（高2段階：力（ア）㉕） 〔学・人〕グループ活動（調べ学習）に参加することができる。（中2段階）	〔知・技〕文化や習慣の違いに気づき、異なる文化の尊重についても理解できている。 〔思・判・表〕さまざまな国にルーツをもつ人々と共に生きる社会について、自分ができていることを考えようとしている。 〔主学〕グループ活動（調べ学習）に参加することができる。	・世界の中の日本	・異文化理解について、校外学習などで実際に世界の国々の実情などを学ぶ。 ・国際協力について自分が貢献できることは何かを考える。 ・沖縄の移民について、歴史的背景を含めなぜ海外へ移住することになったのか当時の人たちの気持ちを考える。
		〔知及技〕修学旅行先の観光地について、知ることができる（中2段階：オ（ア）㉔） 〔思判表力〕修学旅行先の地理的・文化的特徴を調べること、他府県や沖縄の良さについて考えることができる。（中2段階：オ（ア）㉕） 〔学・人〕グループ活動（調べ学習）に参加することができる。（中2段階）	〔知・技〕修学旅行先の特徴を用紙にまとめている。 〔思・判・表〕修学旅行先と沖縄の違いを考え、用紙にまとめている。 〔主学〕アイデアを出したり、作成課題に考えを記入することなどにより、グループ活動に参加している。	・修学旅行にむけて	・修学旅行事前学習の一環でガイドマップを作る。 ・おすすめスポットをクラスメイトに紹介する。
3 学 期	18	〔知及技〕買い物や契約についての法やきまりについて理解することができる。（高2段階：ア（イ）㉔） 〔思判表力〕消費者トラブルについて学習し、トラブル予防や困ったときの対処方法について考え、表現することができる。（高2段階：ア（イ）㉕） 〔学・人〕消費者として自分の生活を守る意識を高めることができる。（高1段階）	〔知及技〕）買い物や契約についての法やきまりについて理解している。 〔思・判・表〕消費者トラブルの予防や対応策について考えをプリントにまとめたり、グループで発表したりしている。 〔主学〕消費者として適切な行動について考えようとしている。	・国の社会ときまり	・未成年者を守るしくみについて、様々な法律や制度を学び、どういうときに必要になるのかを一緒に考える。 ・消費者トラブルに関する出前講座等を活用し、様々な立場、視点から消費者としての適切な行動を知る。
		〔知及技〕現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㉔） 〔思判表力〕自分たちが生きている社会の特徴や課題を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現することができる。（高1段階ア（ア）㉕） 〔学・人〕地域社会の一員として、自分の役割と責任や人権について考えることができる。（高1段階）	〔知・技〕現代社会の特徴について、プリントにまとめている。 〔思判表力〕自分たちが生きている社会の特徴や課題を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現しようとしている。 〔学・人〕地域社会の一員として、自分の役割と責任および人権について考えようとしている。	・現代社会と私たち ・これからの社会	・社会参加と自立について現代社会の特徴を実生活に関連させイメージしながら考え自分の意見を発表することができる。 ・労働環境の変化について、卒業後の進路も含め就労にむけて意識付けていく。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程A類型）数学科 年間指導計画

単位数／配 当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部2年（7）名	数学科	くらしに役立つ数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明確・的確に表現する力を身に付けるようにする。(高1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 概数がいられる場面について知ることができる。(高1段階Aウ㉔) 目的に応じて四則計算の見積もりができる。(高1段階Aウ㉔) (思判表力) 目的にあった数の処理の方法を考えることができる。(高1段階Aウ㉔) (学・人) 目的にあった数の処理の仕方を考え日常生活に生かす。(高1段階)	(知・技) 概数がいられる場面について理解できている。 目的に応じて四則計算の見積もりができる。 (思・判・表) 目的にあった数の処理の仕方を考えることができる。 (主学) 目的にあった数の処理の仕方を考え日常生活に生かすことができる。	【A数と計算】 ウ 概数	・概数がどのような場面で使われているか知る ・四捨五入に方法について学習する ・目的に応じて四則演算の課程で四捨五入を活用する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	5	(知及技) 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。(高1段階A工㉔) (思判表力) 計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだすことができる。(高1段階A工㉔) (学・人) 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめができる。(高1段階)	(知・技) 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。 (思・判・表) 計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりすることができる。 (主学) 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。	【A数と計算】 工 整数の加法及び減法	・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いる ・2位数～3位数の加法、減法を行う ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考える ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。(高1段階Aオ㉔) (思判表力) 計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだすことができる。(高1段階Aオ㉔) (学・人) 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめができる。(高1段階)	(知・技) 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 (思・判・表) 計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりすることができる。 (主学) 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすることができる。	【A数と計算】 オ 整数の乗法	・乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いる ・2位数～3位数の乗法を行う ・乗法に関して成り立つ性質について理解する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 何倍かを表すのに小数を用いることができる。(高1段階Aキ㉔) (思判表力) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えることができる。(高1段階Aキ㉔) (学・人) 小数が日常生活に生かされている場面を探ることができる。(高1段階)	(知・技) 何倍かを表すのに小数を用いることを理解することができる。 (思・判・表) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えることができる。 (主学) 小数が日常生活に生かされている場面を探ることができる。	【A数と計算】 キ 小数とその計算	・ある量の何倍かを表すのに小数を用いる ・小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算を行う ・小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算を行う ・余りの大きさについて学習する ・日常生活で使用されている小数を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト

	7 (知・技) 分数の加法・減法の計算ができる。(高1段階Aケ⑤) 大きさの等しい分数があることを知るができる。(高1段階Aケ⑥) (思・判・表) 分数の大きさを比べ、計算することができる。(高1段階Aケ⑦) (学・人) 分数が日常生活に活かされている場面を探ることができる。	(知・技) 分数の加法・減法の計算ができている。 大きさの等しい分数があることを理解できている。 (思・判・表) 分数の大きさを比べ、計算できるかどうかを考慮することができる。 (主・学) 分数が日常生活に活かされている場面を探ることができる。	【A数と計算】 ケ 分数とその計算	・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを分数で表す ・分数の表し方について知る ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを学習する ・分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算を行う ・分数の大小比較をする ・同分母の分数の加法及び減法の計算をする ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	4 (知・技) 四則の混合した式や () を用いた式について理解し、正しく計算することができる。(高1段階Aコ⑦) 数量を □、△ などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△ などに数をあてはめて調べたりすることができる。(高1段階Aコ⑧) (思・判・表) 二つの数量の対応に着目し、簡単な式で表されている関係について考察することができる。(高1段階Aコ⑨) (学・人) 数量の関係を表す式を、簡潔に表現するために □、△ などの記号を利用することができる。(高1段階)	(知・技) 四則の混合した式や () を用いた式について理解し、正しく計算することができる。 数量を □、△ などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△ などに数をあてはめて調べたりすることができる。 (思・判・表) 二つの数量の対応に着目し、簡単な式で表されている関係について考察している。 (主・学) 数量の関係を表す式を、簡潔に表現するために □、△ などの記号を利用することができる。	【A数と計算】 コ 数量の関係を表す式 (文字を用いた式)	・四則の混合した式や () を用いた式について理解し、正しく計算する ・公式についての考え方を理解し、公式を用いる ・数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べる ・数量の関係を表す式についての理解を深める ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6 (知・技) 正の数と負の数について理解することができる。(高1段階Aア⑦) 正の数と負の数の四則計算をすることができる。(高1段階Aア⑧) (思・判・表) 正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。(高1段階Aア⑨) (学・人) 身の周りにある数に親しみ、日常の事象の中で正の数と負の数を探ることができる。(高1段階)	(知・技) 正の数と負の数について理解することができる。四則計算をしている。 (思・判・表) 正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 (主・学) 身の周りにある数に親しみ、日常の事象の中で正の数と負の数を探ることができる。	【正の数と負の数】	・負の数の意味や表し方について知る ・正の数や負の数が混ざった加法及び減法の計算をする ・身の回りにある負の数を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	9 (知・技) 平行四辺形、ひし形、台形について知ることができる。(高1段階Bア⑦) 図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解することができる。(高1段階Bア⑧) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。(高1段階Bア⑨) 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ることができる。(高1段階Bア⑩) (思・判・表) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見出し、その性質を筋道を立てて考え、説明したりする。(高1段階Bア⑪) (学・人) 学習したことをふり返り、課題の解決に取り組む。(高1段階)	(知・技) 平行四辺形、ひし形、台形について覚えている。 図形の形や大きさが決まる要素について理解することができる。とともに、図形の合同について理解している。 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 円と関連させて正多角形の基本的な性質を理解している。 (思・判・表) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見出し、その性質を筋道を立てて考え、説明したりすることができる。 (主・学) 学習したことをふり返り、課題の解決に取り組むことができる。	【B図形】 ア 平面図形	・平行四辺形、ひし形、台形について知る ・図形の合同について学習する ・三角形や四角形など多角形の基本的な性質について学習する ・円と関連させて正多角形の基本的な性質を学習する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト

2 学 期	9	(知・技) 立方体、直方体について知ることができる。(高1段階Bイ㉗) 直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。(高1段階Bイ㉘) 見取り図、展開図について知ることができる。(高1段階Bイ㉙) 角柱や円柱について知ることができる。(高1段階Bイ㉚) (思判表力) 立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすことができる。(高1段階Bイ㉛) (学・人) 学習したことをふり振り返り、課題の解決に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 立方体、直方体について理解することができる。 直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。 見取り図、展開図について理解することができる。 角柱や円柱について理解することができる。 (思・判・表) 立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすことができる。 (主学) 学習したことを振り返り、課題の解決に取り組んでいる。	【B図形】 イ 立体図形（空間図形）	- 立方体、直方体について学習する - 直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について学習する - 見取り図、展開図について学習し、作図を行う - 基本的な角柱や円柱について学習する - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト
	9	(知・技) 簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。(高1段階Cア㉗) (思判表力) 伴って変わる二つの数量を見いだして、表、グラフや式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。(高1段階Cア㉘) (学・人) 伴って変わる二つの数量について考え、学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。(高1段階)	(知・技) 簡単な場合について、比例の関係があることを覚えている。 (思・判・表) 伴って変わる二つの数量を見いだして、表、グラフや式を用いて変化や対応の特徴を考察している。 (主学) 伴って変わる二つの数量に注目し、多面的に捉え検討して、学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。	【C変化と関係】 ア 伴って変わる二つの数量	- 比例の意味について学習する - 比例の関係について学習する - データから表にまとめる - グラフの作成 - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト
	6	(知・技) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。(高1段階Cイ㉗) (思判表力) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすことができる。(高1段階Cイ㉘) (学・人) 単位量当たりの大きさの意味や表し方を振り返り、適切な単位を選ぶことができる。(高1段階)	(知・技) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。 (思・判・表) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現することができる。 (主学) 単位量当たりの大きさの意味や表し方を振り返り、適切な単位を選んだりすることができる。	【C変化と関係】 イ 異種の二つの量の割合として捉えられる数量	- 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について学習し、それらを計算で求める - 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べる - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト
	7	(知・技) ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解することができる。(高1段階Cウ㉗) (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。(高1段階Cウ㉘) (学・人) 割合を比べることができることに楽しみを感じ、周りの友人とコミュニケーションを図りながら二つの数量を比べることができる。(高1段階)	(知・技) ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解している。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し表現している。 (主学) 割合を比べることができることに楽しみを感じ、周りの友人とコミュニケーションを図りながら二つの数量を比べることができる。	【C変化と関係】 ウ 二つの数量の関係	- ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを学習する - 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求める - 日常生活で使用されている割合を見つける - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト

3 学 期	12	(知・技) 数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりする。(高1段階Dア㉑) 円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解することができる。(高1段階Dア㉒) データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。(高1段階Dア㉓) (思・判・表) 目的に応じてデータを集め分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。(高1段階Dア㉔) (学・人) データの活用について収集・分析したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用することができる。(高1段階)	(知・技) 数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりしている。 円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解している。 データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を覚えている。 (思・判・表) 目的に応じてデータを集め分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察している。 (主・学) データの活用について収集・分析したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用している。	【Dデータの活用】 ア データの収集とその分析	・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりする ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を学習する ・収集されたデータを分析し、表やグラフにまとめる ・目的に応じてデータを集めて分類整理する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	9	(知・技) 平均の意味や求め方を理解することができる。(高1段階Dイ㉑) (思・判・表) 測定した結果を平均する方法について考察することができる。(高1段階Dイ㉒) (学・人) データの活用について測定した結果を平均する方法を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用することができる。(高1段階)	(知・技) 平均の意味や求め方を理解している。 (思・判・表) 測定した結果を平均する方法について考察している。 (主・学) データの活用について測定した結果を平均する方法を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用している。	【Dデータの活用】 イ 測定した結果を平均する方法	・平均の意味や求め方を学習する ・測定した結果を平均する方法について学習する ・身長や体重の平均値を求める ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	5	(知・技) 数量や図形に関する概念などと人間の活動とのかわりについて理解することができる。 (思・判・表) 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関りについて理解を深めることができる。 (学・人) 数学と人間の活動の楽しさや良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決する態度を養う。生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができる。	(知・技) 数量や図形に関する概念などと人間の活動とのかわりについて理解している。 (思・判・表) 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関りについて理解をしている。 (主・学) 数学と人間の活動の楽しさや良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決する態度を養おうとしている。生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組んでいる。	【数学と人間の活動】	・授業の最初にパズルやドリル学習を通して、空間認識力や情報処理力、認識力を育てる ・日常生活に関わるお金や時間について学習する
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、プリント記入、活動の様子、テストなど、各学期毎に評価を行う。			

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程 A類型）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	7名	理科	くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高1段階、高2段階】 (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高1段階、高2段階】 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高1段階、高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 月は日によって形が変わって見え1日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることがわかる。【中2段階】 (思判表力) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 月は日によって形が変わって見え1日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることを理解している。 (思・判・表) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	〇月と星	〇月や星についての動画を視聴する。 〇iPadを用いて月や星について調べ、月や星の位置の変化と時間との関係を考える。 〇授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 〇クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	6	(知及技) 月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることが理解している。 (思・判・表) 月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学) 月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	〇月と太陽	〇月と太陽についての動画を視聴する。 〇iPadを用いて月と太陽について調べ、月と太陽の位置関係と月の形について考える。 〇授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 〇クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2 学 期	7	(知及技) 流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人) 流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 (思・判・表) 流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学) 流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○流れる水の働きと土地の変化	○流れる水の働きと土地の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて流れる水の働きと土地の変化について調べ、土地の変化の仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	7	(知及技) 土地は礫・砂・泥・火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することがわかる。【高2段階】 (思判表力) 土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 土地は礫・砂・泥・火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 (思・判・表) 土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学) 土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○土地のつくりと変化	○土地のつくりと変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて土地のつくりと変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
3 学 期	4	(知及技) 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことがわかる。【中2段階】 (思判表力) 天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人) 天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 (思・判・表) 天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学) 天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の様子	○天気の様子についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の様子について調べ、水の状態変化と気温や水の行方との関係について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人) 天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思・判・表) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学) 天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の変化	○天気の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名 植物の栽培 単元の目標 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容 植物の栽培、観察 単元名 天気と気温 単元の目標 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容 天気の観察			

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 2 年（Ⅱ課程A類型） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	2 学年 生徒7名	音楽科	MOUSA 1（教育芸術社）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部 1 段階） （思判表力） 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部 1 段階） （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部 1 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けるようにする。（高 1 段階：歌唱（イ）①、（ウ）④） （思判表力） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高 2 段階：歌唱（ア）） 〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けるようにする。（高 1 段階：身体表現（イ）②） （思判表力） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高 2 段階：身体表現（ア））	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。 （思判表力） 歌唱表現を創意工夫することができている。 〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。 （思判表力） 器楽表現を創意工夫することができている。	〔歌唱〕 「曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう」 「曲想や歌詞の内容を感じて歌おう」 〔器楽〕 「楽器の奏法を知り、音色や響きを感じて演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて身体を動かし、表現しよう」 〔創作〕 「和音進行に合わせて、音楽をつくろう」 〔鑑賞〕 「音楽を形づくっている要素に注目して、音楽を感じよう」	A表現〔歌唱〕 （知識） （イ）①曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 （技能） （ウ）④呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 （思判表力） （ア）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 （知識） （イ）②曲想と音楽の構造との関わりを理解する。④多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解する。 （技能） （ウ）④音色や響きに気を付けて、楽器を演奏する技能を身につける。 （思判表力） （ア）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
2 学期	21.5	〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。（高等部 1 段階） （思判表力） 創作についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができるようにする。（高等部 1 段階） 〔身体表現〕 （知及技） （知及技） 曲想と体の動きとの関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けるようにする。（高 1 段階：身体表現（イ）②、（ウ）②） （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができるようにする。（高 1 段階：身体表現（ア））	〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けている。 （思判表力） 創作表現を創意工夫することができている。 〔身体表現〕 （知及技） 曲想と体の動きとの関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につけている。 （思判表力） 身体表現を創意工夫することができている。	〔歌唱〕 「外国語の曲にふさわしい発声、発音で歌おう」 〔器楽〕 「基礎的な奏法を理解して演奏しよう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴を知り、その魅力を味わおう」	〔創作〕 （知識） （イ）①いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 （技能） （ウ）①創意工夫を生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 （思判表力） （ア）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 （知識） （イ）②曲想と体の動きとの関わりを理解する。 （技能） （ウ）②曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 （思判表力） （ア）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。
3 学期	9	B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。（高等部 1 段階） （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部 1 段階） A・表現、B鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部 1 段階）	B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。 （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。 A・表現、B鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することができている。 さまざまな音楽文化に親しみ、音楽経験を生活に生かそうとしている。	〔歌唱〕 「互いの声を響かせて合唱しよう」 〔器楽〕 「多様な楽器の音色や響きを感じて演奏しよう」 〔鑑賞〕 「音楽の歴史や背景を知り、その良さを感じよう」	B鑑賞 （知識） （イ）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解する。 （思判表力） （ア）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、ワークシートの記述、演奏練習への取り組み、活動の様子、演奏発表など、各学期毎に評価を行う。			

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（ II 課程 ・A類型 ）美術科 年間指導計画

単位数／ 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	2学年 7名	美術科	高校生の美術1（日本文教出版）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。（高等部2段階） （思判表力）造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高等部1段階） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造する態度を持つことができる。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	（知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高2段階：A表現ア(ア)） （思判表力）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高1段階：A表現ア(イ)） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。（高1段階）	（知・技）用具を作る過程や材料を扱う方法を理解し、表現方法を工夫し、表している。 （思・判・表）主題を見つめ感じ取ったことや考えたことを、画面に構成するために描画や色彩の配置など創意工夫している。 （主学）偶然の形を楽しみ、自分の好きなものを表す表現活動に主体的に取り組んでいる。	表現 「好きなものに埋もれる自分」 ・描画技法 ・想像画	・iPadで好きなものをスクショ技法で撮り溜め、印刷したものをコラージュする。 ・主題を画面構成するための構想を練る。 ・主題の描き込みに工夫を重ねる。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	2	（知及技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高2段階：共通事項(ア)） （思判表力）視点や構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。（高1段階）	（知・技）三次元を二次元の形に表す図法を理解している。 （思・判・表）描きたい風景の視点と構図を考えている。 （主学）身の回りの生活を造形的な視点で見たり、新たな気付きや発見を楽しんで造形活動に取り組んでいる。	表現 「一点透視図法」 ・デザイン	・一点透視図法について理解する。 ・用具を丁寧に扱い、自分の思う風景を描く。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	4	（知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高2段階：A表現(イ)） （思判表力）造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解することができる。（高1段階：共通事項(イ)） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。（高1段階）	（知・技）材料の特性を生かし、混色のできる自分らしい表現を追求している。 （思・判・表）三原色の特徴とつながりを全体的に捉え、色彩構成のイメージを持っている。 （主学）対象の形や色の美しさや特徴など、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。	表現 「三原色を使った色彩構成」 ・デザイン	・色の三原色と明度について理解する。 ・用具を丁寧に扱い、三原色の混色とグラデーションを彩色で表す。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
2学期	6	（知及技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高2段階：共通事項(ア)） （思判表力）生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。（高1段階：B鑑賞(イ)） （学・人）美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造することができる。（高1段階）	（知・技）風景の構図や光などの撮影方法を理解している。 （思・判・表）撮りたい風景の視点と構図を考えている。 （主学）身の回りの生活を造形的な視点で見たり、新たな気付きや発見を楽しんで造形活動に取り組んでいる。	表現、メディア 「ふるさとの写真を撮る」	・ICT機器を活用し、iPadで風景写真を撮影する。
	4	（知及技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高2段階：共通事項(ア)） （思判表力）生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。（高1段階：B鑑賞(イ)） （学・人）美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造することができる。（高1段階）	（知・技）作品の特徴を形や色彩から捉え、作家の意図を理解しようとしている。 （思・判・表）世界や日本の名画を鑑賞し、作者の意図や構成などを調べることで知り、美術の働きや美術文化について考えている。 （主学）美術作品を通して新たな気付きや自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいる。	鑑賞と表現 「名画を探せ」	・名画を探し当てるゲームを行う。 ・気に入った作品についてネット等を使い調べ、パワーポイントにまとめる。 ・調べたことを発表し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。

	14	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。(高2段階: A表現(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(高1段階: B鑑賞ア(イ)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。(高1段階)	(知・技) 身近な材料で生活の食べ物を本物のように作ろうと表現方法を追求している。 (思・判・表) 主題に関する調べ学習を通してオリジナルのスイーツを構想し、効果的に表現している。 (主学) 楽しく立体制作に取り組み、創造することを喜んでいる。	表現 「デコスイーツを作ろう」 ・立体	・デコスイーツの工程を知る。 ・自分で考えたデコスイーツのアイディアスケッチを描く。 ・材料を自分で作る。 ・本物にちかづくように立体造形を行う。 ・作品の展示を通してお互いの良さ。工夫した点などに気付き、感想を述べ合う。
3 学 期	4	(知及技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高2段階: 共通事項(ア)) (思判表力) 生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階: B鑑賞(イ)) (学・人) 美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造することができる。(高1段階)	(知・技) 作品の特徴を形や色彩から捉え、作家の意図を理解しようとしている。 (思・判・表) 世界や日本の名画を鑑賞し、作者の意図や構成などを調べることで知り、美術の働きや美術文化について考えている。 (主学) 美術作品を通して新たな気付きや自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいる。	鑑賞と表現 「名画を探せ」	・名画を探し当てるゲームを行う。 ・気に入った作品についてネット等を使い調べ、パワーポイントにまとめる。 ・調べたことを発表し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	4	(知及技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高2段階: 共通事項(ア)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。(高2段階: B鑑賞ア(ア)) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。(高2段階)	(知・技) 画面の構成や時間の効果など全体のイメージなどを捉え、意図に応じて映像メディア機器を生かし、「動き」を表している。 (思・判・表) アニメーションの主題を考え、画面の構成と時間の流れや物語性、音などの効果などについて意見を出し合い考えている。 (主学) アニメーションによる表現活動に、主体的に取り組んでいる。	表現 「ピクシレーション(アニメーション)」 ・映像メディア	・画面の構成と時間の流れや物語性、音などの効果を考え、「〇」の形から始まり「〇」で終わるアニメーションを作成する。 ・互いの作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について話し合う。
	4.5	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求することができる。(高2段階: A表現ア(イ)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階: B鑑賞ア(ア)) (学・人) 美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにすることができる。(高1段階)	(知・技) 作品集にまとめるためにレイアウトやコメントを書くなど表現の工夫を行っている。 (思・判・表) お互いの作品集や制作を振り返り、意見を出したり聞いたりしている。 (主学) 美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	表現と鑑賞 「作品集づくりを通して1年間を振り返る」	・制作した作品を1冊の作品集にまとめる。 ・作品集を発表し、制作を振り返り、互いに鑑賞し感想を述べ合う。 ・多様な美術の世界を通して、新しい見方、感じ方をこれからどのように生かすことができるのか考える。
52.5					
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程 A類型）保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年 生徒7名	保健体育科	くらしに役立つ保健体育

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、実践に活かすための、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）運動・体力・健康・安全について自己の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。（高1段階） （学・人）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲と、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	12	（知及技） 学習時の態度や集団行動の仕方など「きまり、約束」を理解し集団での協調性や安全な行動ができるようにする。（高1段階） （思判表力） 色々な運動を組み合わせるなどして自他の体力についての課題に気づき、他者と協力して目的に応じた体力の向上を図る。（高2段階） （学・人）自分の基礎的運動能力や体力を知り、課題を見つけ、今後の運動実践の方法を考える。（高1段階）	（知・技） 自己の体力課題について知り理解できている。 各種運動動作における技術ポイントを理解し習得している。 （思・判・表） 自他の体力課題の解決に向けての運動・方法を考え協力して活動できている。 （主学） 自ら進んで各種運動に積極的に取り組もうとしている。きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保している。	「集団行動」 「体づくり運動～新体力テスト～」	手軽な運動やリズミカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、心と体の関係や心身の状態に気づくことができる。 第1時～第2時 集団行動 集合、整列（号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右等）の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して場や用具の準備片付け・清掃等施設の利用方法を学ぶ 第3時～第4時 準備運動・整理運動 ラジオ体操や特体連ダンスの曲に合わせて体操を行う。体の各部位をゆっくりと進展させ、そのままの状態で約10秒間維持する。 第5時～第8時 体づくり運動 いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 大きくリズミカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりする。 第9時～第10時 新・体力テスト（室内） 握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈 第11時～第12時 新・体力テスト（室外） 50m走、100m走、ボール投げ、立ち幅跳び 球技ベースボール型～ティボール～
	8	（知及技） 球技の上達や技能向上や行い方を知り、その特性に応じた技能を身に付け、簡素化されたゲームを行うことができる。（高1段階 球技（ア）） 球技について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたり協力することができる。（高2段階 球技（イ）） （学・人） 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、主体的に運動することができる。（高2段階：球技（ウ））	（知・技） 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができる。 （思・判・表） ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見つけている。 （主学） 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技（ベースボール型）」 ・ティベースボール	第1時～第2時 基本動作の取得 「投げ方（キャッチボール）、打ち方などの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、キャッチボールやスイングの練習に積極的に取り組む。 第3時～第4時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いベースボールのルールを覚える。 第5時～第8時 試合と大会運営 攻め方、守り方（作戦の立て方）等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	12	（知及技） 泳力の上達や記録向上の行い方を知り、基本的な動きや技能を身に付けることができる（高1段階 水泳（ア）） （思判表力） 水泳（泳法）について自他の課題を発見し解決のための方法を工夫したり協力して解決することができる。（高2段階 水泳（イ）） （学・人） 水泳のマナーを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。（高1段階：水泳（ウ））	（知・技） 泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり競い合ったりしている。 （思・判・表） 水泳（泳法）の名称や動きを高めるためのポイントを挙げている。仲間と協力して泳法を身に付けるための練習に取り組むことができる。 （主学） 水の安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「水泳」	水泳の特性に応じた技能を理解し泳法を身に付ける。 第1時～第2時 施設利用とプール利用の心得 プールや用具に関する取り扱い方、練習場所に関する安全や体調に留意して運動する方法を学ぶ 第3時～第4時 水慣れ、水中ウォーミングアップ 「浮く動作」…伏し浮き、背浮き、け伸び 「泳ぐ動作」…バタ足、連続したポビング 第5時～第10時 泳法 「補助具を活用した泳法」…ビート板キック 「呼吸を伴わない泳法」…面かぶりクロール・面かぶり平泳ぎ 「呼吸法（息継ぎ）」…クロール・平泳ぎ 第11時～第12時 水球 「足つき水球」…ルールを理解し試合を行う

	4	(知及技) 心身の発育・発達と傷害の防止と対処方法について知ることができる。(高2段階) (思判表力) 心身の発育・発達に関わる情報から自他の課題を発見し、けがや疾病の予防方法について相手に伝えることができる。(高2段階) (学・人) 生活の質を高め、心身の発育・発達について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 心身の発育・発達に伴う傷害の防止方法をいくつか挙げ対処方法を身につけることができる。(思・判・表) 心身の発育・発達、けがや疾病に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用してけがや疾病を予防するための適切な行動をとることができる。(主学) けがや疾病の予防について課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。	「保健」 ・心身の発育・発達 ・傷害の防止と疾病の予防	第1時 心身の発育・発達について 生殖にかかわる機能の成熟、受精や妊娠、異性の尊重について知る。 第2時 熱中症とその予防 自己の体調や周囲の環境の変化について知り熱中症を予防することができる。運動中の服装や適切な水分補給について知る。熱中症になったときの対応方法。 第3時 傷害の防止 安全に注意して運動を行うことについて 第4時 応急手当の対処法 すり傷、鼻出血、やけどや打撲など簡単にできる応急手当の方法を行うことができる。
	8	(知及技) 球技の行い方を理解し、その特性に応じた技能を身に付け、簡素化されたゲームを行うことができる。(高1段階 球技(ア)) (思判表力) 球技について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたり協力し課題を解決することができる。(高2段階 球技(イ)) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、主体的に運動することができる。(高2段階: 球技(ウ))	(知・技) 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行えている。(思・判・表) ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見つけている。仲間と協力してプレーすることができる。(主学) 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解している。健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技(ゴール型)」 ・バスケットボール ・サッカー ・アルティメット	第1時～第4時 基本動作の取得 「投げ方、蹴り方、パス、シュートなどの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ボールやディスクのコントロール練習に積極的に取り組む。 第5時～第6時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行い競技のルールを覚える。 第7時～第8時 試合と大会運営 攻め方、守り方(作戦の立て方)等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	17	(知及技) ダンスの上達や記録向上の行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(高1段階 ダンス(ア)) (思判表力) ダンスの表現や踊りについての課題を発見し、その解決のための方法について工夫して表現したり他者と振り合わせて発表することができる。(高2段階 ダンス(イ)) (学・人) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め合ったり、場の用具の安全を確保し取り組むことができる。(高1段階: ダンス(ウ))	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、基本的な動きや技能を身に付け表現することができる。(思・判・表) 強弱をつけたメリハリのある動きで発表することができる。(主学) エイサーの特性に関心を持ち楽しさや喜びを味わい互いのよさを認め合い協力して進んで練習や発表会に取り組んでいる。 ダンスの学習に積極的に取り組み、安全に用具を使用している。	「表現運動」 ・郷土の踊りエイサー	郷土の文化と伝統を大切に、郷土を愛する心を育てる。 第1時～第2時 踊りの構成や役割決め 自己にあった演技担当を選ぶことができる。 踊りの振り付けや構成を全員で作りに上げる。 第3時～第6時 個別・グループでの取り組み グループで振りや動きの練習を行い。仲間の動きに合わせて踊ることができる。 第7時～第10時 体系移動の練習 リズムに乗った動きで体系移動を行う。相手のタイミングや位置等に合わせ移動を行う。 第11時～第17時 全体練習 曲や全体の動きに合わせて最後まで踊ることができる。
2 学 期	15	(知及技) 陸上競技の上達や記録向上の行い方を知り基本的な技能を身に付けることができる。(高1段階 陸上競技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自他の課題を発見し解決のための方策を他者と協力して解決することができる。(高2段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして最後まで楽しく運動をすることができる。(高1段階: 陸上競技(ウ))	(知・技) 陸上の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。(思・判・表) 自他の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動を選択している。(主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。	「陸上競技」 ・短距離・跳躍・リレー	競走したり記録に挑戦したりすることを通して、走る楽しさを味わい一定の距離を全力で走る事ができる。 第1時～第4時 ストレッチ体操、特体連ダンス 動きを良くするための準備体操、疲労を残さない怪我を防止するための整理体操を身に付ける。 第5時～第8時 腕振り(走フォームの意識) リズムの良いフォームで走ることを意識する。「スラローム走」…視線、体の傾きを意識して走る。 「ストライド走」歩幅を広くして走る。 第9時～第12時 スタートダッシュ 高いスピードを維持して速く中間走では、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走る。 「スタートダッシュ走」…前傾姿勢を意識して走る。 第13時～第15時 リレー・バトンパスの練習 減速の少ないバトンの受け渡しができる。「60mリレー」「トラック1周リレー」 テークオーバーゾーンを有効に使ったバトンの受け渡し。 同じグループ内でいろいろな相手とバトンの受け渡しを行う。

		(知及技) 健康な生活と感染症予防について知り感染症を予防する方法を知ることができる。(高2段階) (思判表力) 感染症予防に関わる情報から他者の課題を発見し、感染症などのリスクを軽減したり防止する方法を知る。(高1段階) (学・人) 生活の質を高め、感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 感染症を予防するための方法をいくつか挙げるができるている。 (思・判・表) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用して感染症を予防するための適切な行動をとることができる。 (主学) 感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。	「保健」 ・感染症・エイズ	第1時 感染症について 感染症とは、「人から人にうつる病気のこと」だと理解することができる。 第2時 菌・ウイルスについて 感染源となる菌やウイルスについて学び、発生源について理解する。 第3時 感染症の種類 感染症の病気の種類や症状などについて知る。 第4時 感染症予防 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 「風邪予防(手洗い、うがいの徹底)」…感染症対策について学ぶ。
	14	(知及技) 陸上競技の上達や記録向上の行い方を知り基本的な技能を身に付けることができる。(高1段階 陸上競技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自他の課題を発見し解決のための方法を工夫することができる。(高2段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして最後まで楽しく運動をすることができる。 (高1段階：陸上競技(ウ))	(知・技) 陸上の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動を選択している。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。	「陸上競技」 ・長距離走	第1時～第4時 時間走、ペース走 基本的なフォームと自己に適したペース設定を身に付ける。 第5時～第7時 インターバルトレーニング ペースの変化に対応するなどして走り、長距離走特有の呼吸法や腕振り、足の動きを身に付ける。 第8時 体調の整え方 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 第9時～第14時 競技会への参加 記録会に参加し自己のペースを守りながら自己記録を目指す。駅伝大会を実施しチームで記録を更新するなどの楽しさを味わう。
3 学 期	7	(知及技) 球技の上達や技能向上や行い方を知り、その特性に応じた技能を身に付け、簡素化されたゲームを行うことができる。(高1段階 球技(ア)) (思判表力) 球技について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたり協力することができる。(高2段階 球技(イ)) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、主体的に運動することができる。(高2段階：球技(ウ))	(知・技) 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができる。 (思・判・表) ラケットの操作で狙った場所に打つなどの技術を身につけ、ペアで協力してプレーするためのポイントを身につけている。 (主学) 体育館での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技(ネット型)」 ・バドミントン ・卓球	第1時～第2時 基本動作の取得 「サーブ、トス、スマッシュ、ドロップなどの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ラケット操作、シャトルやボールのコントロール練習に積極的に取り組む。 第3時～第4時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いながらバドミントン・卓球のルールを覚える。 第5時～第7時 試合と大会運営 攻め方、守り方(作戦の立て方)等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	4	(知及技) 応急手当の意義や手順方法を知ることができる。(高1段階) (思判表力) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順を身に付け、仲間と一緒に課題を解決することができる。(高1段階) (学・人) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加できる態度を養う。 (高1段階：体育理論(ウ))	(知・技) 応急手当の意義や手順方法を守りながら行動することができる。 (思・判・表) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順で、仲間と一緒に人命救助することができる。 (主学) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加することができる。	「保健」 応急手当(心肺蘇生法)	第1時 オリエンテーション 心肺蘇生法やAEDを活用する場面について 第2時～第4時 人命救助の手順 「人命救助の手順」 「心肺蘇生法の手順」 「AEDの活用方法について」
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
4単位/140時間		2学年4名	職業科		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (高2段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技)職業学習の心得を身につける。(高1段階ア(イ)) (思判表力)勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行う。(高1段階ア(ウ)) (学・人)他者と協働して主体的に取り組む事ができる。(高2段階ア(ウ))	(知・技)心得を理解し、行動に移すことができている。 (思・判・表)就労を意識し、言葉使いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (主学)他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。	・勤労の意義 職業生活	・日々の業務の中で必要な身なり、時間を守るなどの大切な言葉使い等、9つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働く目的を理解する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高2段階：情報機器イ) (思判表力)情報機器を使用し発表等を行う。(高2段階：情報機器イ) (学・人)情報機器を正しい使用方法で活用する。(高2段階：情報機器ア)	(知・技)iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 (思・判・表)情報機器を活用して発表することができている。 (主学)情報モラルを守り機器を活用しようとしている。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータやスマホの便利さと危うさを実例で学び表現・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)基本的、実践的な介護技術を身につけることができる。(高2段階イ(イ)) (思判表力)介護の心得、ホスピタリティを知ることができる。(高1段階イ(イ)) (学・人)介護職の社会的ニーズを知ることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)介護の役割、専門性、仕事内容を理解している。基本の介護技術を身につけることができている。 (思・判・表)相手の求める介護を行うことの重要性を理解している。 (主学)これからの社会に介護職が必要であることを知ろうとしている。	・介護の基礎と実践	・介護に従事する際の心得、高齢者の特徴や活動、認知症などの疾患を理解し、より良い介護の在り方、生活支援の方法や技術を学ぶ。 ・特別講師による講義・実演。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)コミュニケーションやレクリエーションによる援助の知識、技術を習得することができる。(産業現場ア) (思判表力)相手の実態を調べ、レクリエーションを計画することができる。(産業現場ア) (学・人)コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶことができる。(産業現場ア)	(知・技)適切な態度でレクリエーションを行うことができる。 (思・判・表)相手の実態に応じたレクリエーションを考えることができる。 (主学)積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持とうとしている。	・福祉施設、高齢者施設の見学、交流	・グループ活動においてレクリエーションを計画し高齢者や障害者と交流を行う。 ・高齢者、障害者施設の利用者との交流を通し、相手と場に応じた実践的な対応方法など体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
1学期	4	(知及技)就労の対価や意義を知ることができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)授業内容を理解し見通しを持つことができる。(高1段階ア(イ)) (学・人)職業学習の心得を理解する。(高1段階ア(ア))	(知・技)意義や対価等を学び、就労への意識を持って学習活動に取り組んでいる。 (思・判・表)学習内容を把握し、意欲的に作業に参加している。 (主学)心得を自身で考え、実行している。	・職業(介護コミュニケーション班)オリエンテーション	・作業内容の把握や心得を学び、一年の見通しと目標や意義を確認する。 ・介護に関する職業や職場、仕事内容について調べる。
	36	(知及技)介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的な介護技能身につけることができる。(高2段階イ(ア)㊦) (思判表力)介護や保育、サービスに必要なコミュニケーション、支え合いについて考えることができる。(高1段階イ(イ)㊦) (学・人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高1段階イ(イ)㊦)	(知・技)車いすや機器の名称・使い方を把握し、使用している。安全な介助方法を理解している。 (思・判・表)相手を知ること、コミュニケーションの大切さを理解している。 (主学)自らコミュニケーションを図り、相手を知ろうとしている。	・コミュニケーションの意義 ・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・介護技術の基本 ・高齢者体験	・相手を知ることの大切さコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・車いすの各名称、使い方知る。メンテナンス方法を学ぶ。 ・人間の動き(立位、座位、歩行、昇降など)や仕組みを学ぶ。 ・ボディーワークスを学ぶ。 ・移乗支援方法、移動支援方法を学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。

	4	(知及技)1学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力)1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)) (学・人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)自身を振り返り、成果と課題を確認し次に活かそうとしている。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、仲間と共有しようとしている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考え、互いを認め合おうとしている。	・1学期のまとめと2学期の目標	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2 学 期	64	(知及技)介護者として必要な基本的な介護技能と知識を身につけることができる。(高2段階イ(ア)㊟) (思判表力)高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用法を知り、快適な生活するための方法を考えることができる。(高1段階イ(ア)㊟) (学・人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高1段階イ(イ)㊟)	(知・技)高齢者、障害者の食事(誤嚥、脱水)、身体の拘縮、褥瘡など予防法が分かり、安全で適切な衣類の脱着、体位変換、ベッドメイクを行っている。 (思・判・表)高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができる。 (主学)適切な介護、支援方法を考える、仲間と協力している。	・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・感染症の理解と予防策 ・介護技術の基本 ・高齢者、障害者とのコミュニケーション ・福祉用品(補助具)	・高齢者、障害者の嚥下の仕組み、誤嚥や脱水、身体の拘縮、褥瘡について学ぶ。 ・感染症の仕組みを理解し、正しい感染症対策や感染症の基本的な予防対策を理解し、介護施設における感染症対策の必要性を学ぶ。 ・食形態、食事介助方法、水分補給方法、体位変換方法、衣類の脱着、ベッドメイク方法を学ぶ。 ・コミュニケーションの種類や方法、目的を理解し、信頼関係構築に必要な態度について学ぶ。 (しまくとぅば、手話) ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて学ぶ。
	4	(知及技)2学期の成果を確認し、3学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力)2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表することができる。(高1段階ア(イ)) (学・人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について、互いに認め合っている。	・2学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3 学 期	24	(知及技)介護者として必要な基本的な介護技能と知識を確認することができる。(高1段階イ(ア)㊟) (思判表力)認知症や様々な障害がある方々の気持ちを理解し、適切なコミュニケーション方法に気付くことができる。(高2段階イ(ア)㊟) (学・人)他者と協力しながら高齢者や障害者のいきがいは何かを考えることができる(高1段階イ(イ)㊟)	(知・技)それぞれの障害の特徴、支援方法が理解している。 (思・判・表)様々な障害がある方々の気持ちを理解し適切な関わり方について考えることができる。 (主学)自分から声をかけたり、相手と積極的に関わろうとしている。	・高齢者、障害主別の特徴と気持ち ・認知症について	・各障害の特徴について知り、認知症や障害者への寄り添い方と良好なコミュニケーション方法を学ぶ。 ・高齢者の生きがい、パラリンピックでの活躍を知る。 ・お互いに介護される、介護することを体験し、介護技術の習得を確認する。
	4	(知及技)年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力)まとめた内容を皆の前で発表することができる。(高1段階ア(イ)) (学・人)次年度への目標をもち他者との共通理解を行うことができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)1年を振り返り、自分の成果をまとめている。 (思・判・表)他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (主学)意見を共有し、皆でまとめ、共通理解している。	・ちゅうさき技能検定 ・年間のまとめ	・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程 A類型）職業科 エコロジー班 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 ／70時間	2学年 7名	職業科	

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）・職業に関する事柄について理解を深める。 ・将来の職業生活に係る基本的な技能を身に付け活用する。 （思・判・表）・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して自ら課題を設定し、解決策を考える。 ・実践を評価・改善し、表現する力を養う。 （学・人）・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 （高等部 2 段階） （高等部 2 段階） （高等部 2 段階） （高等部 2 段階） （高等部 2 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（学・人）他者と協働して主体的に取り組む事ができる。（高2段階ア（ウ）） （思・判・表）勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行う。（高2段階ア（ウ）） （知・技）職業学習の心得を理解し行動に移す。（高2段階ア（イ））	（主・学）他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。 （思・判・表）就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 （知・技）心得を理解し、行動に移すことが出来ている。	・勤労の意義 職業生活	・日々の授業の中で身なりや時間を守るなどの大切な言葉遣い等、9つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主・学」の評価は年間を通して行う
1 学期	2	（知・技）勤労の意義を理解し意欲的に取り組むことができる。（高2段階A職業生活ア（ア）） （思・判・表）目標をもって取り組むことができる。（高2段階A職業生活ア（イ）） （学・人）職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。（高2段階A職業生活ア（ウ））	（知・技）勤労の意義を理解し意欲的に行動している。 （思・判・表）目標をもって取り組むことができる。 （主・学）職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。	単元名「授業開き」	○1年間の授業計画を確認し、1 学期の個人目標を立てることで見通しをもつ。（思・判・表）（主・学） ○グループワークを通して、就労に必要な力について協議し、全体で意見を共有する（思・判・表）
	12	（知・技）清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を知り作業に活かすことができる。（高2段階イ（ア）㉔） （思・判・表）日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができる。（A職業生活ア（イ）） （学・人）清掃マップを作成し、効率を考え校内外の清掃活動を行うことができる。（高2段階ア（ウ））	（知・技）清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を理解し作業している。 （思・判・表）日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができる。 （主・学）清掃マップを作成し、効率的に校内外の清掃活動を行うことができる。	単元名「清掃の仕方を身に付けよう」	○グループワークを通して、日頃の清掃活動を振り返り、改善点を見出す。（思・判・表） ○話し合った改善点を踏まえ、他者と協力しながらHR教室の清掃を行う。（主・学） ○泡瀬特別支援学校施設内清掃 ○泡瀬特別支援学校プール施設内清掃
	4	（知・技）環境整備【ビルメンテナンス】の専門的な技能を理解することができる。（高2段階イ（ア）㉕） （思・判・表）状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。（高2段階イ（ア）㉕） （学・人）習得した技術を検定を通して披露することができる。（高2段階イ（ア）㉕）	（知・技）環境整備【ビルメンテナンス】の専門的な技能を理解することができる。 （思・判・表）状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。 （主・学）習得した技術を検定を通して披露することができる。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。（知・技） ○校内ビルメンテナンス検定に参加する（主・学）
	4	（知・技）1 学期の成果を確認し、2 学期以降に活かすことができる。（高2段階イ（イ）） （思・判・表）1 学期を振り返り自己の成長や課題点を考えることができる。（高2段階ア（イ）） （学・人）他者の反省を聞き、認めることができる。（高2段階イ（イ））	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、発表し伝える事ができている。 （主・学）他者の発表を聞き、成長点や反省点について共有している。	単元名「一学期のまとめ」	○一学期の振り返りを行うことで、次への目標と見通しをもつ。（思・判・表） ○クラスメイトの一学期の振り返りの発表を聞いて、成果を称賛する（思・判・表）
	4	（知・技）勤労の意義を知り意欲的に作業に取り組むことができる。（高2段階A職業生活ア（ア）） （思・判・表）目標をもって取り組むことができる。（高2段階A職業生活ア（イ）） （学・人）職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。（高2段階A職業生活ア（ウ））	（知・技）勤労の意義を理解し意欲的に作業を行っている。 （思・判・表）今学期の個人目標を意識し取り組んでいる。 （主・学）職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。	単元名「1 学期の振り返りと 2 学期の目標設定」	○2 学期の授業計画を確認し、個人目標を立て、発表を行う。（思・判・表）
	10	（知・技）美化活動が社会生活の基礎であることを知り、意欲的に取り組む。（高2段階ア（ア）） （思・判・表）すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができる。（高2段階イ（ア）㉖） （学・人）清掃業について、調べることができる。（高2段階イ（ア）㉖）	（知・技）美化活動が社会生活の基礎であることを理解し意欲的に取り組んでいる。 （思・判・表）すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができる。 （主・学）清掃業について、調べることができる。	単元名「美化活動と職業のつながり」	○地域施設の管理・清掃を行う仕事があることを知る。（知・技） ○清掃業を行う会社を調べ、業務内容や業務場所を調べ、ワークシートに記入する。（思・判・表）

2 学 期	10	(知及技)環境整備【ビルメンテナ ス】について知り実践することがで きる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴) (思判表)ビルメンテナンスに求めら れる力【清掃技術・身だしなみ・コミュ ニケーション】について自身に当ては め行動することができる。(高2段階 Ⅰ(ア)㊴) (学人)使用する道具の特性や扱い方 を知り、清掃活動にいかすことがで きる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴)	(知・技)環境整備【ビルメンテナ ス】とはどういうことか理解し作業 している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求 められる力【清掃技術・身だしな み・コミュニケーション】について 実践することができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方 を知り、清掃活動にいかそうとして いる。	単元名「ビルメンテナ ス」	○ビルメンテナンス協会の講師による実演 会に参加し、ビルメンテナンスに求められ る力を知る。(知及技) ○ビルメンテナンスの実演会で学んだこと を各班で振り返り、ワークシートにまと め、発表する。(思判表) ○実演会で学んだ清掃道具の使い方を、教 室や廊下の清掃で実践する。(主学)
	4	(知及技)環境整備【ビルメンテナ ス】の専門的な技能を理解すること ができる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴) (思判表)状況に応じた清掃用具を選 択・清掃作業ができる。(高2段階Ⅰ (ア)㊴) (学人)習得した技術を検定を通して披 露することができる。(高2段階Ⅰ (ア)㊴)	(知・技)環境整備【ビルメンテナ ス】の専門的な技能を理解すること ができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具 を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して 披露することができる。	単元名「校内ビルメンテ ナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正 しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習す る。(知及技) ○前回の結果を振り返りより高い目標を設 定し検定にのぞむ(主学)
	2	(知及技)2学期の成果を確認し、3学 期に活かすことができる。(高2段階 Ⅰ(イ)) (思判表)2学期を振り返り自己の成長 や課題点を発表する。(高2段階Ⅰ (イ)) (学人)他者の反省を聞き、認めること ができる。(高2段階Ⅰ(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成 果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題 点を考え、発表し伝えている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や 反省点について共有している。	単元名「2学期のまとめ」	○2学期の振り返りを行うことで、次への 目標と見通しをもつ。(思判表) ○クラスメイトの2学期の振り返りの発表 を聞いて、成果を称賛する(思判表)
3 学 期	2	(知及技)勤労の意義について確認す ることができる。(高2段階A職業生活 Ⅰ(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことが できる。(高2段階A職業生活Ⅰ(イ)) (学人)職業学習の今学期の取り組みを 確認し、見通しをもつことができる。 (高2段階A職業生活Ⅰ(ウ))	(知・技)勤労の意義について理解し 目標を設定している。 (思・判・表)目標を意識し取り組む ことができている。 (主学)職業学習の年間の取り組みを 確認し、見通しを持ち取り組むこと ができている。	単元名「2学期の振り返り と3学期の目標設定」	○3学期の授業計画を確認し、個人目標を 設定する。(思判表)
	8	(知及技)環境整備【ビルメンテナ ス】について知り実践することがで きる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴) (思判表)ビルメンテナンスに求めら れる力【清掃技術・身だしなみ・コミュ ニケーション】について自身に当ては め行動することができる。(高2段階 Ⅰ(ア)㊴) (学人)使用する道具の特性や扱い方 を知り、清掃活動にいかすことがで きる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴)	(知・技)環境整備【ビルメンテナ ス】とはどういうことか理解し作業 している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求 められる力【清掃技術・身だしな み・コミュニケーション】について 実践することができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方 を知り、清掃活動にいかそうとして いる。	単元名「ビルメンテナ ス」	○場所や状況に応じた、作業の順序や道具 の選定方法を知る。(知及技) ○作業を各班で振り返り、ワークシートに まとめ、発表する。(思判表) ○自身の役割を意欲的に実践する。(主 学)
	4	(知及技)環境整備【ビルメンテナ ス】の専門的な技能を理解すること ができる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴) (思判表)状況に応じた清掃用具を選 択・清掃作業ができる。(高2段階Ⅰ (ア)㊴) (学人)習得した技術を検定を通して披 露することができる。(高2段階Ⅰ (ア)㊴)	(知・技)環境整備【ビルメンテナ ス】の専門的な技能を理解すること ができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具 を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して 披露することができる。	単元名「校内ビルメンテ ナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正 しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習す る。(知及技) ○校内ビルメンテナンス検定に参加する (主学)
	2	(知及技)清掃道具の手入れ方法を 知り、実践することができる。(高2 段階Ⅰ(イ)㊴) (思判表)清掃道具・倉庫の手入れを 丁寧に行うことができる(高2段階Ⅰ (イ)㊴) (学人)清掃道具・倉庫の手入れを他 者と協力しながら行うことができる(高 2段階Ⅰ(イ)㊴)	(知・技)清掃道具の手入れ方法に 応じた手入れを理解し実践している。 (思・判・表)清掃道具・倉庫の手入 れを丁寧に行うことができている。 (主学)清掃道具・倉庫の手入れを他 者と協力しながら行っている。	単元名「作業道具の手入 れ」	○今年度使用した清掃道具及び倉庫の整備 を行う(知及技)
	2	(知及技)今年度の成果を確認し、次 年度に活かすことができる。(高2段階 Ⅰ(イ)) (思判表)今学期を振り返り自己の成長 や課題点を発表する。(高2段階Ⅰ (イ)) (学人)他者の反省を聞き、認めること ができる。(高2段階Ⅰ(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成 果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題 点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や 反省点を考え、共有することができ ている。	単元名「年間のまとめ」	○今年度を振り返り、自己目標を達成でき たかを確認し、班全体で共有する。(思判 表)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程 Aグループ）職業科 オフィスワーク班 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
4単位/140時間	2学年 7名	職業科	ワークサンプル幕張版

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力） 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知及技）勤労の意義について理解を深める。（高2段階ア（ア）） （思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高1段階ア（イ）） （学・人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高1段階ア（ウ））	（知・技）職業の心得や社会での役割について考え、実際のオフィスワーク班の仕事に取り組んでいる。 （思・判・表）就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 （主学）心得を理解し、主体的に行動している。	・勤労の意義 職業生活	・日々の事業の中で身なりや時間を守るなどの大切な言葉使い等、5つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		（知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高2段階ア） （思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表する。（高1段階イ） （学・人）情報機器を正しい使用方法で活用する。（高1段階：情報機器ア）	（知・技）iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 （思・判・表）発表に情報機器を活用している。 （主学）情報モラルを守り機器を活用している。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
1学期	10	（知及技）勤労の意義について理解を深める。（高2段階ア（ア）） （思判表力）目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高1段階ア（イ）） （学・人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高1段階ア（ウ））	（知・技）意義や対価等を学び、就労への意識を持って作業にあたっている。 （思・判・表）学習内容を把握し、意欲的に作業に参加している。 （主学）心得を自身で考え、作業に主体的に取り組んでいる。	・職業学習について	・職業開きにおいて、作業内容の把握や心得の作成をおこない、一年の見通しと目標また意義を確認する。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身に付ける。
	12	（知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高2段階（ア）） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高1段階イ（イ）㊦） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高1段階ア（ア）イ）	（知・技）機器の名称・使い方を把握し、使用している。 （思・判・表）安全に機器を使用している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・オフィス業務等の 作業内容の把握	・線引きの練習やはさみの練習、ワークサンプル幕張版を使用した訓練にて器具の名称や使い方の習得を行う。 ・依頼業務や訓練業務が卒業後の就労先にどう繋がるかワークシート等を使い学ぶ。
	12	（知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱う。（高2段階イ（ア）㊦） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高2段階イ（イ）㊦） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高2段階ア（ア）㊦）	（知・技）手順を理解し、道具や機械の操作作業に取り組んでいる。 （思・判・表）作業後の商品の確認を求め、チェックのポイントを学び、報告・連絡・相談の重要性を考え、実行している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・依頼業務 （印刷業務等）	・校内外からの依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	12	（知及技）オフィス内環境の整備について知ることができる。（高1段階イ（ア）㊦） （思判表）依頼業務時に求められる力「身だしなみ・コミュニケーション」について考えることができる。（高1段階イ（ア）㊦） （学人）使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動や修繕等にいかすことができる。（高2段階イ（ア）㊦）	（知・技）オフィス内の環境整備「清掃、用務、修繕等」とはどういうことか理解している。 （思・判・表）依頼業務時に求められる力「技術・身だしなみ・コミュニケーション」について考えることができる。 （主学）使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動や修繕等にいかそうとしている。	・依頼業務 （オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等を随時更新し、業務を引継ぐ方法を学ぶ。 ・「一条園」からの依頼業務等、地域での作業実践を通して、働く意欲や技能を高める。

		4	(知及技) 勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階ア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高1段階イ(イ)) (学・人)学習を通し達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表し、他者との関わりや他者の発表を聞いて考えている。 (主学) 作業の振り返りを主体的に取り組んでいる。	・学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2 学 期		16	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高2段階イ(ア)㊦) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階イ(イ)㊦) (学・人)作業の確実性や持続性、緻密性を高め、状況に応じて作業ができる。(高1段階イ(ア)㊦)	(知・技) 作業のポイントを学び、効率や確実性を意識して作業を行っている。 (思・判・表) 振り返りを行い、ミスしたところやうまくいったところを自身で考えている。 (主学) 正確な作業について日常から考え、実行している。	・作業の正確性	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・ホテル客室清掃をイメージしてベッドメイキングの基礎的な作業を繰り返し、正確さやスピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
		20	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深める。(高2段階イ(ア)㊦) (思判表力)作業場の安全や道具等の扱い方及び効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階イ(イ)㊦) (学・人)計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技) 業務依頼から納品までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 (思・判・表) 商品を扱う意識を持ち、汚れ、破れ等がないよう考え作業を行っている。 (主学) 見通しを持ち、計画を意識し作業を進めている。	・依頼業務 (印刷業務等)	・校内外からの依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
		20	(知及技) オフィス内の環境整備の必要性や仕組み等について理解を深める。(高2段階イ(ア)㊦) (思判表力)用具の特性や扱い方に関わる技術について理解を深める。(高1段階イ(イ)㊦) (学・人)計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技) 業務依頼への対応、業務遂行までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 (思・判・表) 状況に応じた用具を選択・清掃や用務活動ができている。 (主学) 他者との協力を意識し作業を進めている。	・依頼業務 (オフィス内環境整備、用務、修繕等)	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等の引継ぎ書を確認し、業務を正確に遂行する意識を持つ。 ・「一条園」からの依頼業務等、地域での作業実践を通して、働く意欲や技能を高める。
		4	(知及技) 勤労の意義について理解を深める。(高2段階ア(ア)) (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高1段階イ(イ)) (学・人)計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技) 学期の目標を振り返り、良い点、課題点をあげている。 (思・判・表) 成長点や課題点を捉え、次学期につなげる内容を表現している。 (主学) 他者と意見を交えながら目標を立てている。	・2学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3 学 期		14	(知及技) 言葉使いや身なりに気をつけ依頼者と関わることができる。(高2段階イ(ア)㊦) (思判表力)自身で判断し、修正や相談を行うことができる。(高1段階イ(ア)㊦) (学・人)苦手な作業へも挑戦することができる。(高1段階イ(ア)㊦)	(知・技) 社会人のマナーを考え行動することができる。 (思・判・表) 出来を確認しながら修正等を行っている。 (主学) 様々な作業に挑戦する姿が見られる。	・依頼業務 (印刷業務等)	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・ホテル客室清掃をイメージしてベッドメイキングの基礎的な作業を繰り返し、正確さやスピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
		14	(知及技) 効率の良い手順を探り、作業を行うことができる。(高2段階ア(ウ)) (思判表力)作業中の所作についても考え実行する。(高1段階イ(ア)㊦) (学・人)他者からの意見を素直に受け入れることができる。(高1段階イ(イ)㊦)	(知・技) 自身で工夫しながら作業を進めている。 (思・判・表) 状況、相手に応じて言葉遣いや振る舞いを考え行動している。 (主学) 素直な態度で指摘・指示を受け入れ行動している。	・依頼業務 (オフィス内環境整備、用務、修繕等)	・依頼の受け方や電話対応、業務のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。 ・「一条園」からの依頼業務等、地域での作業実践を通して、働く意欲や技能を高める。
		2	(知及技) 勤労の意義について理解を深める。(高2段階ア(ア)) (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高1段階イ(イ)) (学・人)計画性をもって主体的に取り組む。(高1段階イ(イ))	(知・技) 1年を振り返り、まとめることができる。 (思・判・表) 他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (主学) 意見を共有し、皆で意見をまとめている。	・年間のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
計		140				
留意点 引継ぎ等						

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程A類型）職業（座学） 年間指導計画

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年 生徒7名	職業科	ひとりだちするための進路学習 くらしに役立つソーシャルスキル

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだし課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて知り、表現・発表・通信に係る情報機器を扱うことができる。（高1段階：B情報機器ア） （思判表力）卒業生講話を聞いて、卒業後の進路に必要なことを知り、自分の卒業後の生活について考えることができる。（高1段階：産業現場ア） （学・人）様々な職種に興味・関心を持ち、自己の適性と比較しながら進路選択を行うことができる。（高2段階：産業現場ア）	（知・技）情報セキュリティ及び情報モラルについて知り、表現・発表・通信等に関して、i P a dアプリを活用できている。 （思・判・表）卒業生の講話を聞き、就労や社会生活に必要なことを知り、自分の卒業後の生活について考えることができる。 （主学）様々な職種に興味・関心を持ち、自己の適性と比較し、進路選択を行おうとしている。	・情報機器の活用について ・先輩と語ろう会 ・校外学習（さまざまな職場、職種を知る）	・プレゼンのアプリを使った発表の方法 ・情報モラルについて ・先輩との座談会 ・企業訪問、職場見学（職種やその特性について理解する）
1学期	24	（知及技）職業生活に必要な実践的な知識や技能を身に付けることができる。（高1段階：A職業生活イ（ア）㊲） （思判表力）年間の授業内容を知り、見通しをもって学習に取り組むことができる。（高1段階：ア（イ）） （思判表力）自己理解を深め、自己表現に向けての課題や解決の手立てを見つけることができる。（高2段階：ア（イ）） （思判表力）学期を振り返り自己の反省点を発表する。（高2段階：ア（イ）） （学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高2段階：ア（ウ））	（知・技）職業生活に必要なビジネスマナーを知り、身に付けることができる。 （思・判・表）年間の授業内容を知り、学習の見通しをもって取り組むことができる。 （思・判・表）自分の得意・不得意や自分の適性を知り、自分の望む職業生活への課題や解決の手立てを考えている。 （思・判・表）学期を振り返り自己の達成できたことや反省点に気づき、発表している。 （主学）皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得している。	・授業開き ・自分のこと ・勤労の意義（働くこと） ・現場実習にいくまえに ・1学期のまとめ	・授業の目標理解と授業のスケジュールを知る ・ビジネスマナーの学びと実践 ・働くことについて（いろいろな仕事や働く生活の一日を知る） ・自分のプロフィール、自分のことを伝える ・自分の得意・不得意を知り、伝えること ・1学期の振り返り（できたこと、次の目標）
2学期	28	（知及技）職業生活に必要な実践的な知識や技能を身に付けることができる。（高1段階：A職業生活イ（ア）㊲） （知及技）（思判表力）職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について知り、自分の生活について考えることができる。（高1段階：A職業生活イ（イ）㊲） （知及技）（思判表力）卒業後の進路について理解を深め、課題や解決策を考えて発表することができる。（高1段階：イ（イ）） （思判表力）学習内容を振り返り自己の成果や課題点を発表することができる。（高2段階：ア（イ）） （学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高2段階：ア（ウ））	（知・技）職業生活に必要なビジネスマナーを知り、身に付けることができる。 （知・技）（思・判・表）職業生活に必要な健康管理の大切さや余暇の過ごし方について知り、自らの休日の過ごし方を振り返り、考えることができる。 （知・技）（思・判・表）卒業後の進路について理解を深め、課題や解決策を考えて発表することができる。 （思・判・表）学習内容を振り返り自己の達成できたことや課題に気づき、発表することができる。 （主学）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得している。	・勤労と協働（働くために） ・職業生活を考える ・余暇活動 ・2学期のまとめ	・ビジネスマナーの学びと実践 ・報告、連絡、相談について ・職業生活に向けた体調管理 ・電話、携帯、スマホのマナー ・職業生活に必要な金銭管理について ・公共の場の利用の仕方、マナー ・学校以外の居場所、生活の場 ・余暇の役割と余暇の過ごし方について ・2学期の振り返り
3学期	18	（知及技）（思判表力）実習をふりかえり、職業など卒業後の進路に必要なことについて理解を深め、自身の進路について課題や解決策を考えることができる。（高1段階：C産業現場アイ） （学・人）年間の学習を振り返り自己の成長や課題、次の目標を発表することができる。（高2段階：ア（イ））	（知・技）（思判表力）実習をふりかえり、職業など卒業後の進路に必要なことについて理解を深め、自身の進路について考えることができる。 （思・判・表）年間の学習を振り返り、自己の成長や課題に気づき、次の目標をたてて、することができる。	・職業生活（進路を考える） ・年間のまとめ	・進路選択について考える ・ビジネスマナーの学びと実践 ・成長点と課題点を発表 ・年間の振り返り
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年(Ⅱ課程 A類型)家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1.5単位 ／52.5時間	2学年 7名	家庭科	「Survive!!高等学校家庭基礎」

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	【家族・家庭生活】 (知及技)乳幼児や高齢者などの生活の特徴、関わり方について気付く。 (高1段階A家族・家庭生活工(ア)) (思判表力)健康管理や余暇の過ごし方について考え表現する。(高1段階A家族・家庭生活ウ(イ)) (学・人)家庭生活での課題を見つけ、家庭生活の充実向上を目指し実践することができる。(高1段階：A家族・家庭生活イ(イ))	(知・技)高齢者の身体的な特徴について理解し、療養中の家族や介護の必要な高齢者への適切な接し方が分かる。 (思・判・表)家庭での食事、睡眠、生活習慣などが健康に影響を及ぼすことを理解し、有効な余暇の過ごし方を考えることができる。 (主学)家庭生活での課題を見つけ、改善策を考え実践に向けて工夫することができる。	【家族・家庭生活】 ・高齢期の理解 ・家庭生活における健康管理と余暇	【家族・家庭生活】 ・高齢者の身体的な特徴を知り、療養中の家族や介護の必要な高齢者への適切な接し方について知る。 ・家庭での食事や睡眠、生活習慣と健康の関係について知り、有効な余暇の過ごし方とは何かを考える。 ・家庭生活での課題を見つけ、実際に家庭で実践するための手順を考え計画を立てる。
	12	(知及技)自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解することができる。 (高2段階Bア(ア)) (思判表力)健康な食生活について考え、工夫することができる。(高1段階Bア(イ)) (学・人)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方を考え実践できる。(高1段階Bイ(イ))	(知及技)栄養素の種類や働き、一日に必要な食物の量を理解し、いろいろな食品を組み合わせる食べることが必要であると気づくことができる。 (思・判・表)健康などの視点からよりよい食生活について考え、工夫することができる。 (主学)基礎的な日常食の調理について、基本的な知識・技能を活用し健康・安全などの視点から、食品の選択の仕方や調理の仕方を考え、実践することができる。	【衣食住の生活】 ・栄養素の種類と働き ・食事を見直そう ・食品の選び方と保存 ・日常食の調理	【衣食住の生活】 ・栄養素の種類と働きについて学び、各栄養素が多く含まれる食品をワークシートにまとめる。 ・賞味期限・消費期限について学習し、実際の食品表示から情報を読み取る。 ・インスタント食品や冷凍食品などの活用法を学習し、実際に調理する。 ・食品の正しい保存方法について学習し、鮮度の良い悪いの見分け方を理解し、資料にまとめる。
2学期	10.5	(知及技)衣服と社会生活との関わりを知ることができる。(高1Bウ(ア)) (思判表力)目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択ができる。(高1Bウ(イ)) (学・人)製作に必要な材料や手順が分かり、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2Bエ(ア))	(知及技)社会生活を営む上での衣服の機能について理解することができる。 (思・判・表)学校生活や行事、訪問などの目的に応じた、それぞれの場に応じた着方について考え選択することができる。 (主学)目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いが分かり、製作計画を考えて製作活動に取り組むことができる。	【衣食住の生活】 ・衣服の選択と着用 ・衣服の手入れ(洗濯・補正) ・布を使った小物づくり	・社会的行事に関する場面を想定し、TP0に適した服装を考える。 ・衣服を清潔に保つことの重要性について知る。 ・衣服の種類や汚れの種類ごとの効果的な洗濯方法について知る。 ・基礎縫い(玉結び・玉止め・なみ縫い)とボタン付けの技術を用いて、裁縫小物を作成する。
	10	(知及技)家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。(高1Bオ(ア)) (思判表力)家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考えることができる。(高1Bオ(イ)) (学・人)家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について主体的に取り組むことができる。(高1Bオ(イ))	(知及技)住居の基本的な機能について理解し、様々な生活様式と住空間の使い方に理解して知ることができる。 (思・判・表)安全や快適さの視点から、住空間の整え方について考えることができる。 (主学)家族の安全や快適さを考えた住空間について、工夫して考えることができる。	【衣食住の生活】 ・ライフスタイルと住まい ・平面図の読み取り ・理想の住まい	・家族がどのような生活を重視するかによって、住空間の使い方が異なることを知る。 ・間取り図の見方を学習し、平面図の見方を理解し、現代の住居の住空間の使い方の工夫に気づく。 ・家族と安全で快適に暮らすためにどのような工夫ができるか考える。
3学期	10	(知及技)購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気づくことができる。(高1Cア(ア)②) (思判表力)売買契約の仕組みについて理解し、物質・サービスの選択に必要な情報の収集・整理をすることができる。(高1Cア(ア)④) (学・人)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動をすることができる。(高1Cイ(イ))	(知及技)様々な支払い方法についての利点と問題点を理解し、多様な支払い方法に応じた金銭管理の必要性に気づくことができる。 (思・判・表)購入前に様々な情報源から情報を収集し、購入目的に応じた視点で適切に整理し比較検討することができる。 (主学)購入した物資・サービスに不具合があった場合などに消費者として適切な行動を選択することができる。	【消費生活・環境】 ・様々な購入方法と支払い方法 ・商品を選ぶ時のポイント ・消費者トラブルとクーリングオフ制度	・店舗販売・無店舗販売・通信販売等の利点と注意点をまとめる。 ・現金払い・キャッシュレス決済の利点と注意点を知る。 ・商品を購入する際の注意点について考え、実際に物資・サービスの情報収集を行い、選択する。 ・クーリングオフ制度を知り、手続きの方法や条件について知る。
留意点 引継ぎ等		学習活動の様子や授業態度、ワークシートの記述、テストや各課題の状況等により評価する。			

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程 A類型）外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2学年 7名	外国語科	『ドラえもん はじめての英語ドリル』 基本の英語表現/ プリント教材など

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、聞くこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高2段階) (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを真似ながら読んだり、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高2段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) あいさつや基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。(高1段階ア(7)㉔) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高1段階イ(7)) (学・人) 言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階)	(知・技) 簡単な語句などが表す内容を知り、相手に伝えている。 (思・判・表) 使用場面に応じた応答をしている。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、尋ねたりしている。 (主学) 質問に対して応答しようとしている、他の生徒の答えに関心を持って聞こうとしている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元1「This is Me!」 自己紹介 あいさつ 単元2「Birthday 誕生日」 数の数え方(序数) 12の月の数え方 単元3「これは何ですか? What's this?」 Whatを使った表現 身の回りの物 単元4「～できますか? Canを使った表現」 What i am good at(can)～.	・定型文を用いて自己紹介文を作り、発表する。 (名前/年齢/好きなこと・ものなど) ・他者の発表を聞く。 ・朝昼晩に応じたあいさつを確認する。 ・朝昼晩の日課について、質問したり、話したりする。 カレンダーや絵カードなどを利用して、 ・1～31日までの読み方(序数)と1～12月の名称を学ぶ。 ・誕生日を英語で聞いて理解する。 ・自分や身近な人の誕生日を伝える。 ・ "When is your birthday?" を使って誕生日を訪ねたり、答えたりする。 ・日本の祝日を訪ねたり、答えたりする。 ・文房具や教室にある物などを英語で聞いたり発音したりする。 ・ "What's this?" の質問を理解する。 ・ "It's a ～." と答える。 ・ クイズを楽しんだり、作ったりする。 ・教師の問いかけに対して、 "Yes, I (you) can." "No, I (you) can't." を用いて、できることやできないことを伝える。 ・絵カードを利用して、自分の得意なことを伝える。 ・ "Can you～?" を用いて質問したり、依頼したりする。 ・ "Yes, I (you) can." "No, I (you) can't." を用いて応答したり、承諾したり、断ったりする。
		(知及技) 英語の音声や文字、語彙、表現などについて日本語との違いに気付くことができる。(高2段階ア(7)㉔) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高1段階イ(7)) (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高2段階)	(知・技) 英語を聞いたり読んだりして、必要な情報を得ようとしている。または、それを示すものを選択している。語句や表現の意味を理解しながら、文字を綴っている。 (思・判・表) 定型句を用いて使用場面に応じた質疑、または応答をしている。 (主学) 生活の中の身近な英語や英語表記に関心を示し、積極的に情報を得ようとしている。また、外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元5「My Day 私の一日」 時間の聞き方、答え方 単元6「買い物(2桁・3桁の数の数え方)」 単元7「衣類・身の回りの英語」 単元8「ホリデーシーズン」	チャッツやクイズなどを通して、 ・～時、半、10分単位の時間を聞いて理解する。 ・ "What time" を使い、時間を尋ねる。 ・ "It's ～" を使い、時間を伝える。 ・時間の表現を取り入れながら、夏休みの過ごし方について報告する。 身近な商品を題材に、クイズを通して ・2桁、3桁の値段を聞いて理解する。 ・2桁、3桁の表現を使って、値段を伝える。 ・ロールプレイでのやり取りを通して ・ "How much" を用いて値段を尋ねる。 ・ "I'll have ～." を用いて欲しいものを伝える。 ・修学旅行に向け、身近な英語に触れる。 (Winter Clothes, Hotel Amenity) ・英語と日本語の違いに気づく。 ・日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・英語表示から必要とする情報を読み取る。 クリスマスカード作りを通して、 ・季節の挨拶を送り合う習慣に慣れる。 ・日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・外国の学校の様子やホリデーシーズンの過ごし方について学び、日本との違いに気づく。 ・外国の年末年始の過ごし方を知り、比較する。
		(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階ア(7)㉔) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりすることができる。(高1段階イ(1)) (学・人) 外国文化に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。読み手に応じた表現を選ぶことができる。(高2段階)	(知・技) 英語を聞いたり読んだり書いたりして、語句や表現の意味を理解している、それを示すものを選択している。模倣して発音している。 (思・判・表) 使用場面に応じてあいさつをしている。リストの中から自分の気持ちに合ったメッセージを選んでいく。 (主学) 外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。また、友人、目上の人物など読み手の違いを意識して言葉を選んでいる。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元9「新年を祝おう」 世界の正月&日本の正月 顔の英語、方向 単元10「バレンタインデー」 単元11「感謝の気持ちを伝えよう」	・外国の新年の挨拶や過ごし方について学び、比較する。 ・年号の伝え方に親しむ。 ・絵カードやクイズを通して、新年に関する語句や表現に触れる。(例: Zodiac Animals) ・福笑いを通して、方向に関する指示を聞いて理解する。 動画やスライドを通して ・バレンタインデーの起源や習慣を知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。 ・外国の習慣を知り、比較する。 ・ "Who" や "What" を用いて、質問したり、答えたりする。 ・感謝や別れの気持ちを表す表現を知る。 ・送る相手に適した表現を知る。 ・メッセージの意味を意識しながら、学んだ表現のスペルを綴る。
留意点 引継ぎ等		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 2年(II 課程 A類型)情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5時間	2学年 7 名	情報科	・学習プリント作成 ・タイピングソフト ・動画教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータ・データ等の活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階)			
		(思判表力)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階)			
		(学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。(高1段階Ai(イ)) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知・技)・メディアリテラシーについて考えている。 ・PCの簡単な操作(電源のオンオフ、キーボード、マウスの操作)をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 (思・判・表)・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。 (主学)情報モラルについての理解を深め「相手の気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。	○情報とメディア ・情報とメディアという言葉について考えよう。 ○情報の偏りと評価 ・匿名性・信憑性 ・マスメディア ・メディアの利用 ○情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ(誹謗中傷) ・個人情報 ・ネット依存	・情報とメディアという言葉について考える。 ・情報の偏りと評価(情報操作、信憑性)についてデマメール等の事例を活用し学習する。 ・メディアリテラシー(情報の信憑性や価値を正確に判断できる能力)について考える。 ・PCの基本的な操作を学ぶ。(電源のオンオフ、各種アプリの操作) ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される(簡単に消すことはできない)。 ・SNSトラブル事例(動画)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報(住所、氏名、電話番号、写真…)個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。
		(知及技) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができる。(高1段階 Bア(ア)) (思判表力) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。(高1段階 Bイ(ア)) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知・技)匿名性、記録性の意味を理解している。また、情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解している。 (思・判・表)携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解している。 (主学)情報を加工し発信する方法が分かり、意見を交換し作品を作ることができる。	○インターネット特性 ・インターネットの匿名性 ・会員カードやポイントカードの個人情報 ○ネットワークで広がる世界・情報共有サイト ○クリスマスカード作成	・「インターネットの匿名性」と「会員カードやポイントカードにおける個人情報の扱い」をテーマに、情報社会における責任ある行動と情報の適切な管理について学習する。 ・「ネットワークで広がる世界」「情報共有サイト(SNS・動画共有サイト等)の特性」「クリスマスカード作成」を通して、情報通信ネットワークの役割と表現活動の意義について学習する。
2学期	21・5	(知及技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。(高1段階 Cア(ア)) (思判表力) 情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。(高1段階 Ci(イ)(ア)) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知・技) ユーザID、パスワードを入力することができる。また情報セキュリティポリシーの必要性を理解している。 (思・判・表) コンピュータウイルスへの対策、ネットワーク詐欺に遭わないための注意点を理解している。 (主学) 犯罪に巻き込まれたり被害に遭った場合、保護者や専門家に相談する等、対処方法を理解している。	○情報セキュリティ ・不正アクセスによる問題 ・情報セキュリティを高める技術 ・情報セキュリティを高める技術 ・二重認証 ○年間のまとめ ・メッセージカード作成	・情報セキュリティの基本的な考え方(機密性・完全性・可用性)を理解し、なぜ情報を守る必要があるのかを日常生活の事例と関連付けて学習する。 ・不正アクセスとは何かを理解し、なりすましやデータの改ざん、情報漏えいなどの被害事例を通してその危険性を学ぶ。 ・組織や社会全体で行われているセキュリティ対策について学ぶ。アクセス制限やログ管理などの仕組みを理解し、技術とルールの両面から情報が守られていることを考える。 ・ID・パスワードに加えて確認コードや生体認証を用いる二重認証の仕組みを理解する。 ・これまでに学んだ知識や技能を生かして卒業生や職員に対してのメッセージカードを作成する。
		3学期	22		
留意点 引継ぎ等		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	高等部 2 年 7 名	2 学年担当	新訂 新しい道徳 3

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(A:自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任をもって行動できる態度を養う。 (B:人との関わりに関する事) 礼儀正しく思いやりをもって人と接するとともに、広い心を持ち、異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかかげえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
		・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
		・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
		・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○礼儀正しく真心をもって	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2 学期	14	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
		・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立つとすることができる。【集団・人】	○家族の幸せをもとめて	・家族のよさについて考え、家庭の中で自分ができることを考える。
		・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○郷土を愛する心	・沖縄の文化や自然にふれる。
		・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団・社会】	○公共のために役立つこと	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。
		・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようすることができる。【集団社会・人】	○法や決まりを守って	・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければならないのかを考える。
		・自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重し、規律ある行動ができる。【人・集団社会】	○自由と自分勝手	・自由と自分勝手の違いについて考え、自律的で責任のある行動をするための道徳的判断力を身につけさせる。
		・自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化	・男女それぞれの体と心の変化について理解するとともに、性に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
3 学期	9	・友達と信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	○互いに信頼し学び合う	・友達との付き合い方について何を大事にしたいかを考える。
		・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
		・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木が大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからこそ気を付けるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 2年（Ⅱ課程 A類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1 単位 (35時間)	2年（7名）	2学年担当	

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主・学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 就業体験事前・事後学習や体験的な学習活動を通して、それぞれの職業班で必要な知識や技能を身につける。 (思・判・表) 就業体験や学習的な体験活動を通して、学んだことをまとめ、発表活動を行うことができる。 (学・人) 就業体験や学習的な体験活動を通して、集団の中で話し合い、課題を解決する力や能力を身につける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知・技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思・判・表) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主・学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校内)事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2 学期	14	(知・技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思・判・表) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主・学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期就業体験(校内)事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3 学期	9	(知・技) 販売学習や実演の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思・判・表) 販売学習や実演を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習や実演を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主・学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習・実演 事前学習 事後学習 ○進路学習	○視覚教材を活用して、みさき市や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習や実演における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○視覚教材を活用して、販売学習や実演での活動内容を振り返る。 ○各自の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○職業について学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 2 年（Ⅱ課程 A 類型）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	2 学年 7 名	2 学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し解決するために話し合うことや、合意形成を図ったり意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・身なり服装を整えて式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。(学・人) ・自分自身の健康状態への理解を深めることができる。(知及技) ・生徒同士協力して学校生活の充実に向けて意識を高めることができる。(思判表力) ・自他を理解して尊重し、命を大切にできる態度を育てることができる。(思判表力) ・防災についての理解を深め、実践的な対応力を高めることができる。(知及技、思判表力) ・地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深めることができる。(思判表力、学・人) ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。(知及技、思判表力、学・人)	・入学式・終業式 ・身体測定 ・生徒総会 ・交通安全指導 ・火災避難訓練 ・交流会 ・個人目標、学期のまとめ	・入学式、終業式の実施 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査の実施 ・生徒総会の運営と実施 ・交通安全指導の実施 ・火災避難訓練の実施 ・交流会の計画・運営（本校との交流・他校との交流） ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2 学期	14	・儀式的行事への参加を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。(学・人) ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。(知及技、思判表力) ・健全な発達や健康維持を目指すことができる。(知・技)(学・人) ・日頃の学習成果を発表し、自己の役割を意識して最後までやり遂げることができる。(思判表力、学・人) ・選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。(思判表力) ・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。(知・技)(学・人) ・交流会の企画・運営および情報交換をとおして、本校の生徒会活動の活性化をはかることができる。(思判表力、学・人) ・卒業生のもつ価値観や考え方について理解する。また自分の将来に生かせる視点をもつことができる。(思判表力、学・人) ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。(知及技、思判表力、学・人)	・始業式・終業式 ・地震津波避難訓練 ・体育祭 ・生徒会役員選挙 ・校外学習 ・交流会 ・卒業生講話 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式の実施 ・地震津波避難訓練の実施 ・体育祭の実施 ・生徒会役員選挙の実施 ・校外学習の計画と実施 ・近隣高校との交流会の実施 ・卒業生講話の実施 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
3 学期	9	・儀式的行事への参加を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。(学・人) ・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることができる。(思判表力、学・人) ・支えてくれた先輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。(思判表力) ・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。(学・人) ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。(知及技、思判表力、学・人)	・始業式、卒業式、修了式 ・みさき市(販売学習) ・3年生を送る会 ・校外学習 ・個人目標、1 年間のまとめ	・始業式、卒業式、修了式の実施 ・みさき市の準備 ・3年生を送る会の実施 ・校外学習の計画と実施 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て ・1 年間を振り返り、次年度への見通しを立てる。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室3年（Ⅱ課程A類型）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	3学年 9名	国語科	くらしに役立つ国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(高2段階)			
		(思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。(高2段階)			
		(学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。(高2段階A(イ)) (思判表力) 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(高2段階Aウ) (学・人) 文章作成の方法、話し方のポイントなど学習したことを意識しながら準備、発表に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 (思・判・表) 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 (主学) 文章作成の方法、話し方のポイントなど学習したことを意識しながら準備、発表に取り組んでいる。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自分の情報をまとめる ・話し方のポイント	・自分の基本情報や好きなことなどについて、項目ごとに整理しながら「自己紹介シート」にまとめ、自己紹介をする。 ・発表する際の話し方、態度についてポイントを確認し、自己紹介をする。 ・互いの発表を聞いて感想や良いところ、改善点を共有する。
	3	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高1段階ウ(イ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。(高2段階Cオ) (学・人) 興味のある本や学習に必要な本を選び、読んだ感想や考えについて伝え合おうとすることができる。(高2段階)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。 (主学) 興味のある本や学習に必要な本を選び、読んだ感想や考えについて伝えられている。	単元名「読書に親しもう」 ・分教室図書の利用 ・読書活動 ・おすすめの本の紹介	・分教室図書の利用のマナーを知り、活用する。 ・地域の図書館の役割や利用のマナーを知り、活用する。 ・様々な分野や種類の書物が存在することに気づき、実際に手に触れることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。 ・自分の好きな本を選び、おすすめしたいポイントや簡単な内容をまとめ本の紹介をする。
	6	(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりを作る働きがあることに気づくことができる。(高2段階ア(ア)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。(高2段階Aア) (学・人) 言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えたりすることができる。(高2段階)	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりを作る働きがあることに気づくことができる。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 (主学) 言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えようとしている。	単元「メモをとろう」 ・メモの取り方 ・話の内容を捉えよう ・メモをとって伝えよう	・職業場面などと関連づけて話を正しく聞き取ることの大切さ、メモをとることの必要性について考える。 ・「いつ」「どこで」「誰が」の5W1Hや必要に応じて言葉を省略していいことなど、メモを取るときに必要な事柄を確認する。 ・連絡事項や説明、電話対応など実際の場面を想定し、2～3文の短い文、長い文と段階的に話を聞いてメモをとる練習をする。 ・聞き取った内容を他の人に伝言したり、聞き取れなかった場合の聞き返し方について確認、練習する。
	5	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(高2段階A(カ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとすることができる。(高2段階)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使っている。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学) 学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとしている。	単元「敬語を使おう」 ・敬語とは ・敬語の種類 ・職場でよく使う挨拶 ・日常生活の中の敬語	・敬語が必要な場面や使う意義について考える。 ・「尊敬語」などの敬語の種類について知る。 ・日常生活の中で使われている敬語や職場場面でもよく使う挨拶、丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 ・学習した言葉を場面と結び付けながら、実際の場面を想定してロールプレイをする。 ・声の出し方、姿勢などについて確認し、意識して練習に取り組む。 ・日常生活での人とのやり取りや文章の中で使われている敬語を探す。

	3	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2段階A(リ)) (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(高2段階Bア) (学・人) 暑中見舞いの意義を理解し、すすんで書くことができる。(高1段階)	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確に書いている。 (主・学) 暑中見舞いの意義を理解してすすんで書こうとしている。	単元「暑中見舞いを書こう」 ・手紙の書き方 ・暑中見舞いの作成	・手紙の種類や葉書の正しい書き方、季節の挨拶について学ぶ。 ・相手の名前や住所、郵便番号など必要な情報を集め、バランスを意識しながら宛名を書く。 ・相手を見舞い自分の近況を伝える、という暑中見舞いの意義を踏まえて相手に伝えたい内容を考え、文章の構成や言葉遣い、表記に注意しながら通信面を書く。
	5	(知・技) 身近な方言の挨拶や意味、使い方について知り、使うことができる。(高2段階ウ(イ)) (思・判・表) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。(高2段階A工) (学・人) 生活の中で身近に使われている方言を知り、使うことにより郷土の言語文化に親しむことができる。(高2段階)	(知・技) 身近な方言の挨拶や意味、使い方について知り、使うことができる。 (思・判・表) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。 (主・学) 生活の中で身近に使われている方言を知り、郷土の言語文化に親しもうとしている。	単元「しまくとぅばに親しもう」 ・「しまくとぅば」とは ・うちなーぐちカルタ ・挨拶や簡単な会話	・うちなーぐちカルタを通して、簡単な方言の意味や使い方について知る。 ・地域によって違う方言が使われていることや、自分の地域の方言の特徴について学ぶ。 ・方言での簡単な挨拶や日常生活でのやりとりについて学ぶ。
	9	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムを理解することができる。(高2段階ウ(ア)) (思・判・表) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(高2段階A工) (学・人) 自分の思いや考えを言葉で素直に表現することができる。(高2段階)	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムを理解している。(高2段階ウ(ア)) (思・判・表) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 (主・学) 自分の思いや考えを言葉で素直に表現することができる。	単元「俳句をつくろう」 ・俳句とは ・俳句作成 ・鑑賞会	・読みやすい文語調の俳句の作品を鑑賞、音読し、短歌の歴史や形式について知る。 ・自分の気持ちに合う言葉を集め、俳句の形式に整えて表現する。 ・鑑賞会の中で、お互いの感想を交流する。
	10	(知・技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。(高2段階ア(リ)) (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(高2段階Cオ) (学・人) 読み取った内容を踏まえて、自分の考えを持つことができる。(高2段階)	(知・技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 (主・学) 読み取った内容を踏まえて、自分の考えを持つことができる。	単元「説明的文章を読もう」 ・接続語の役割 ・内容を読み取ろう	・接続語の役割について学ぶ。 ・原因や理由、筆者の考えがわかりやすい例文や短い文章を用いて、文章の構造について学ぶ。 ・説明的文章を読み、内容を読み取る。
2 学 期	5	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2段階A(リ)) (思・判・表) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりし、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(高2段階Bウ) (学・人) 読み手を意識し、文字や内容を考えて書くことができる。(高2段階)	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりし、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (主・学) 読み手を意識し、文字や内容を考えて書こうとしている。	単元「履歴書を書こう」 ・履歴書の書き方 ・志望動機作成	・履歴書の目的や必要な場面、書くために必要な情報について学ぶ。 ・自分のアピールポイントや将来就きたい仕事、その理由などについて考え、文章にまとめる。 ・誤りがなく相手の読みやすい丁寧さ、大きさの字であるか、理解しやすい言葉や文章であるかを意識しながら、見本を参考にして志望動機を書く。
	5	(知・技) 情報と情報との関係付けを理解し使うことができる。(高2段階イ(イ)) (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(高2段階Cオ) (学・人) 自分の興味のある記事やテーマに合う記事を選び、感想をもったり自分の経験と結び付けて考えることができる。(高2段階)	(知・技) 情報と情報との関係付けを理解し使うことができる。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 (主・学) 自分の興味のある記事やテーマに合う記事を選び、感想をもったり自分の経験と結び付けて考えようとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツチャレンジ"NIE ・新聞スクラップ	・新聞の構造について学ぶ。 ・自分の興味のある記事記事を選び、ワークシートを用いて5W1Hや中心となる語を見つける。 ・辞書やiPadなどの機器を用いてわからない語の意味を調べる。 ・記事を読んで感想を書く。 ・自分が集めた記事や、テーマに沿った記事を集め、新聞スクラップを作成する。

	8	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書くことができる。(高2段階ウ(ウ)㉔) (思判表力) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(高1段階Bウ) (学・人) 毛筆体験を通して、日本文化に親しむことができる。(高2段階)	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思・判・表) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学) 毛筆体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・今年の一文字 ・来年の干支 ・四字熟語	・書道道具や筆の扱い、書く時の正しい姿勢などを確認し、自分の書きたい字や言葉を考える。 ・字の形、全体のバランスを意識しながら書写を行う。 ・互いの作品を鑑賞する。 ・書道に関する作品を鑑賞し、様々な表現方法があることを知る。
	3	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書くことができる。(高2段階ウ(ウ)㉔) (思判表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(高2段階Bア) (学・人) 年賀状の意義を理解し、すすんで書くことができる。(高2段階)	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (主学) 年賀状の意義を理解し、すすんで書こうとしている。	単元「年賀状を書こう」 ・年賀状の作成	・年賀状の目的や賀詞の選び方、忌み言葉を使わないなどのルールについて確認する。 ・相手の名前や住所、郵便番号など必要な情報を集め、バランスを意識しながら宛名を書く。 ・相手の立場に合った賀詞を選ぶ。 ・新年の挨拶という年賀状の意義を踏まえて、相手に伝えたい内容を考え通信面を書く。 ・文章の構成や言葉遣い、表記に間違いがないかなどチェック項目が書かれたシートを用いて自分でチェックし、間違いを訂正して清書する。
3 学 期	5	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書くことができる。(高2段階ウ(ウ)㉔) (思判表力) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(高1段階Bウ) (学・人) 毛筆体験を通して、日本文化に親しむことができる。(高2段階)	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思・判・表) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学) 毛筆体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・書き初め	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。 ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。 ・書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。
	10	(知及技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに気づくことができる。(高2段階ウ(ア)) (思判表力) 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(高2段階Cウ) (学・人) 今と昔の人々の言葉や文化、考え方において、違う部分や共通点について考えることができる。	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに気づいている。 (思・判・表) 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 (主学) 今と昔の人々の言葉や文化、考え方において、違う部分や共通点について考えることができる。	単元「古文に親しもう」 ・歴史的仮名遣い ・「枕草子」 ・漢詩	・古文の歴史や有名な作品などについて知り、簡単な歴史的仮名遣いについて確認する。 ・本文を音読し、古文特有のリズムを感じる。 ・訳文を用いて現代とは違う意味を持つ言葉などがあることを確認しながら、登場人物の心情を読み取る。 ・言葉や文化、人々の気持ちや考えなど、今と昔で違うこと、共通することは何か考える。
	5	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めてかくことができる。(高2段階ウ(ウ)㉔) (思判表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(高2段階Bア) (学・人) 言葉がもつよさに気づき、すすんで手紙を書くことができる。(高2段階)	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めてかくことができる。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (主学) 言葉がもつよさに気づき、すすんで手紙を書こうとしている。	単元「手紙を書こう」 ・手紙の書き方 ・感謝の手紙を書く	・高校生活を振り返り、親や教師、友人などこれまでにお世話になった方への感謝の手紙を書く。 ・相手との楽しかった思い出や感謝の気持ちなど、伝えたいことをまとめる。
年 間 を	10	(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2段階ア(ウ)) (思判表力) 漢字や語句の意味を踏まえ、目的や場面に応じて考えを整理し、分かりやすく表現することができる。(高1段階B工) (学・人) 漢字を含む言葉の学習を生活に生かそうとし、読み書きや表現に進んで取り組むことができる。(高2段階)	(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2段階ア(ウ)) (思判表力) 漢字や語句の意味を踏まえ、目的や場面に応じて考えを整理し、分かりやすく表現することができる。(高1段階B工) (学・人) 漢字を含む言葉の学習を生活に生かそうとし、読み書きや表現に進んで取り組むことができる。(高2段階)	単元「漢字を生活に生かそう」 ・日常生活で使う漢字 ・職業生活で使う漢字	・身の回りや職業生活で実際に使う頻度の高い漢字(名前、住所、学校・職場、曜日、金銭、公共施設等)を中心に学習する。 ・読む、書く、使うを一体化し、自己紹介文、メモ、履歴書、手紙など既存単元と関連付けて学習する。

通 した 指 導	10	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(高2段階A(I)) (思・判・表力) 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高2段階B力) (学・人) これまでの自分を振り返り、自分の成長を確かめながら今の自分をしっかり見つめ、将来の自分について考えることができる。(高2段階)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思・判・表) 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 (主学) これまでの自分を振り返り、自分の成長を確かめながら今の自分をしっかり見つめ、将来の自分について考えようとしている。	単元名「『自分史』を作ろう」 ・『自分史』とは ・『自分史』の構成を考えよう ・『自分史』を書こう ・『自分史』を製本しよう	・『自分史』について学ぶ。 ・『自分史』に載せる内容を決め、家族などに聞いて情報を集める。 ・集めた内容を文章にまとめる ・自分が集めた内容を項目ごとに文章にまとめ、詩や作文などの作品と一緒に1冊の本を作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程A類型）社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部 3学年 9名	社会科	「くらしに役立つ 社会」東洋館出版社 等

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高2段階） （思・判・表）社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高2段階） （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知・技）身近な生活の中で起こっている出来事が理解できる。社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解する。障害者を支える福祉制度を理解できる。（高2段階ア、ア（ア）④） （思・判・表）法や決まり、様々な福祉制度によって自分たちの生活が支えられていることに気づき、考え、自分の言葉で表現することができる。（高2段階）ア（イ）④） （学・人）様々な制度や仕組みによって自分の生活や社会全体が成り立っていることを理解し当事者意識を高める。（高2段階）	（知・技）身近な生活の中で起こっている出来事が理解できる。社会生活には法やきまりがあることを理解している。障害者を支える福祉制度について理解している。 （思・判・表）法や決まり、様々な福祉制度によって自分たちの生活が支えられていることに気づき、考え、自分の言葉で表現している。 （主・学）様々な制度や仕組みによって自分の生活や社会全体が成り立っていることを理解し当事者意識を高めようとしている。	・身の周りの生活と社会 ・国や社会の仕組みと決まり	・少子高齢社会、高度情報化社会の課題など社会参加と自立について現代社会の特徴を実生活に絡めイメージさせながら考え自分の意見を発表する。 ・日本国憲法の特徴を学習プリントなどを用い、幕府政治から民主主義への移り変わりについて学習する。 ・国民の義務について自分たちの生活にどのような関わってくるのかを話し合い活動を通じて三大義務を分ける。 ・国会の役割を視聴覚教材を用いて理解する。 ・様々な社会福祉制度が何の為にあるのか、生活にどう関わるのかを知る。
		（知・技）社会を支える仕組みとしての税金の制度や、選挙の仕組みが理解できる。（高2段階ア（ア）⑦） （思・判・表）税金の仕組みについて考え、その使い道を話し合うことができる。選挙の仕組みがわかり、自分で投票ができる。（高2段階イ（イ）⑦） （学・人）税金の仕組みやその使い道から地域社会の一員としての役割を理解し、その態度を養う。（高2段階）	（知・技）税金の仕組み、種類や用途について理解できる。選挙が自らの生活に関係していることがわかる。 （思・判・表）税金について考え、その使い道を話し合える。選挙の仕組みがわかり、自分で判断して投票ができている。 （主・学）税金の仕組みやその使い道から地域社会の一員としての役割を理解し、その態度をもちようとしている。	・私たちを支える社会の仕組み ・選挙制度について	・税金とは何の為にあるのかを視聴覚教材を用いて知る。 ・様々な税の種類を知り、どんなものに税金がかかるかどんな人の為に税が使われているのかを考える。 ・身近にある税金でつくられているものを調べたり考えたりする。 ・18歳選挙権と日本の選挙制度について知り、政治への参加を主体的に捉えられるようにする。
		（知・技）慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解することができる。（高2段階オ（イ）⑦） （思・判・表）戦後の沖縄の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階オ（イ）④） （学・人）50年前の沖縄と現在を比べ、今後はどのように生活が変わるかイメージすることができる。（高2段階）	（知・技）視聴覚教材に注目している。または復習テストで正解できている。 （思・判・表）視聴覚教材をみて発問について考えている。または、プリントに表現している。 （主・学）50年前の沖縄と現在を比べ、今後はどのように生活が変わるかイメージしようとしている。	・復帰記念日・慰霊の日	・復帰記念日の歴史的背景について、太平洋戦争から戦後の日本と沖縄の様子を視聴覚教材などを利用しながら考える。 ・慰霊の日の歴史的背景や、沖縄戦の状況を知るために校外学習を行う。
		（知・技）銀行や郵便局の役割や使い方がわかる。それぞれの公共機関の役割がわかる。（高2段階イ（ア）⑦） （思・判・表）銀行や郵便局の役割や適切な活用方法を理解し、自分の生活に活かすこととともに、地域社会における役割を考え、表現することができる。（高2段階）イ（ア）④） （学・人）公共施設、公共機関の適切な利方法を理解し、自らの生活に役立てる意識を高める。（高2段階）	（知・技）銀行や郵便局、公共機関の役割やその意義がわかり、生活との関係を理解している。 （思・判・表）銀行や郵便局、公共機関の役割を理解したことを自分の生活に結びつけて考えようとしている。 （主・学）公共施設、公共機関の適切な利用方法を理解し、自らの生活に役立てる意識を高めようとしている。	・金融機関（銀行）や郵便局の使い方 ・公共機関（役所、警察、消防、病院等）の仕組み	・お金の預金や引出しの方法など卒業後自立した生活ができるように実物などを用いてイメージしていく。 ・警察や消防の役割と私たちの生活についてどんなときに適切な緊急通報などを行えるようにロールプレイなどで取り組む ・体調が悪いときに何の病院に行けば良いのか正確に判断できるようロールプレイなどで取り組む。

2 学 期	28	（知及技）生徒会選挙を通して政治参加への意義や権利の行使と責任について理解することができる。（高2段階）ア（ア）㉔ （思判表力）生徒会選挙を通して国民としての権利を理解し、それに伴う責任について考え、自らの意思で投票することができる。（高2段階）ア（イ）㉔ （学・人）国民の権利とその行使によって生じる責任の重さを理解し、その態度を養う。（高2段階）	（知・技）生徒会選挙を通して政治参加の意義や権利の行使と責任について理解している。 （思・判・表）生徒会選挙を通して国民としての権利を理解し、それに伴う責任について考え、自らの意思で投票している。 （主学）選挙の仕組みがわかり、自分の判断で投票しようとしている。	・選挙・投票の方法	・生徒会役員選挙について選挙の仕組みを学ぶ。
		日本と関係の深い国の人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割が理解できる。（高2段階）オ、カ（ア）㉔ （思判表力）世界の中の日本、沖縄の視点から日本、沖縄の歴史を客観的に捉え、調べて表現することができる。（高2段階）オ（イ）㉔ （学・人）日本、沖縄の歴史を客観的に捉え、世界の中の日本、沖縄といったグローバルな視点を持つ意識を高める。（高2段階）	（知・技）日本と関係の深い人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割を理解している。 （思・判・表）世界の中の日本、沖縄の視点から日本、沖縄の歴史を客観的に捉え、調べて表現している。 （主学）日本、沖縄の歴史を客観的に捉え、世界の中の日本、沖縄といったグローバルな視点を持つ意識を高めようとしている。	・世界の中の日本	・異文化理解について、校外学習などで実際に世界の国々の実情などを学ぶ。 ・国際協力について自分が貢献できることは何かを考える。 ・沖縄の移民について、歴史的背景を含めなぜ海外へ移住することになったのか当時の人たちの気持ちを考える。
3 学 期	18	（知及技）現在と卒業後の生活がどのように変わり、困ったときに相談する機関や制度について理解することができる。（高2段階）ア（ア）㉔ （思判表力）卒業後、困ったときに相談する機関や制度について理解し、自分の将来をイメージして困ったときの状況と、そのときに相談する機関を考えることができる。（高2段階）ア（イ）㉔ （学・人）自分の卒業後の生活をイメージし、それらに関わる機関や制度を自分の生活に活用する意識を高める。（高2段階）	（知・技）現在と卒業後の生活がどのように変わり、困ったときに相談する機関や制度について理解している。 （思・判・表）卒業後の社会生活において自分の将来をイメージして、困ったときの状況に応じた相談する機関を考えている。 （主学）自分に関わりのある期間や制度の活用に向けて卒業後の生活をイメージしている。	・職業や生活の相談と支援の方法 ・卒業後の生活	・仕事の相談、生活の相談について公的機関や相談の方法など困ったときにどうしたらよいのかを判断できるようにしていく ・1日のスケジュール表を作成し、卒業後の自立に向けて個人で考える。 ・一人暮らしや実家暮らしなどで必要な生活費を算出し、卒業後どのくらいの給料が必要になってくるのかを考える。
		（知及技）生産物が作られてから我々の下に入るまでの流通、消費の仕組みが理解できる。（高2段階）エ（ア）㉔ （思判表力）生産、流通、消費までの流れを理解し、自分の生活を支えていることを考え、表現することができる。（高2段階）エ（ア）㉔ （学・人）生産、流通、消費といった産業の流れが自分の生活と大きく関係していることを理解し、消費者意識を高める（高2段階）	（知・技）生産物が作られてから自分の下に入るまでの生産、流通、消費の仕組みを理解している。 （思・判・表）生産、流通、消費までの流れを理解し、自分の生活を支えていることを考え、表現している。 （主学）生産、流通、消費といった産業の流れが自分の生活と大きく関係していることを理解し、消費者意識を高めようとしている。	・私たちの経済と消費活動	・モノの生産、流通、消費の流れを知り、どのようにして私たちのところまで流れてくるのかを視聴覚教材などを用いて学ぶ。 ・世の中にはどんな産業分類と職業分類が有るのかを調べる。 ・私たちの消費者生活について、様々な法律や制度を学び、どういうときに必要になるのかを一緒に考える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程A類型）数学科 年間指導計画

単位数／配 当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部3年（9）名	数学科	くらしに役立つ数学

目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思・判・表）日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明確・的確に表現する力を身に付けるようにする。（高2段階） （学・人）数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	（知・技） 整数は偶数と奇数に類別されることを理解することができる。（高2段階Aア㉔） 倍数と約数について理解することができる。（高2段階Aア㉕） （思・判・表） 整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察することができる。（高2段階Aア㉔） （学・人） 偶数と奇数、倍数と約数、乗法及び除法等に着目しながら、整数の性質及び構成を理解することができる。（高2段階）	（知・技） 整数が偶数と奇数に類別されることを理解している。 倍数と約数について理解している。 （思・判・表） 整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察している。 （主・学） 生徒同士でコミュニケーションを図りながら、整数の性質及び構成を自分なりに理解しようと取り組んでいる。	【A数と計算】 ア 整数の性質及び構成	・偶数と奇数の性質を学習する ・数を偶数と奇数に分ける ・約数を見つける ・倍数を見つける ・最大公約数を見つける ・最小公倍数を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	（知・技） 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表すことができる。（高2段階Aイ㉔） 分数の相等及び大小について知り、大小を比べることができる。（高2段階Aイ㉕） （思・判・表） 数の相等及び大小関係について考察することができる。（高2段階Aイ㉔） （学・人） 分数の大小について、約分や通分を利用しながら大小関係について理解することができる。（高2段階）	（知・技） 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表している。 分数の相等及び大小について知ることができたり、大小を比べることができる。 （思・判・表） 数の相等及び大小関係について考察している。 （主・学） 分数の大小について、約分や通分を利用しながら大小関係について理解している。	【A数と計算】 イ 分数	・整数及び小数を分数で表す ・分数の大小比較を行う ・約分を行う ・通分を行う ・学習プリントに沿った学習 ・模型の利用 ・数直線
	6	（知・技） 異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。（高2段階Aウ㉔） （思・判・表） 異分母の分数の計算の仕方を考えることができる。（高2段階Aウ㉔） （学・人） 異分母の分数の加法及び減法を計算するために、約分や通分等、学習したことを利用することができる。（高2段階）	（知・技） 異分母の分数の加法及び減法の計算ができている。 （思・判・表） 異分母の分数の計算の仕方を考えている。 （主・学） 異分母の分数の加法及び減法を計算するために、約分や通分等、学習したことを利用しようとしている。	【A数と計算】 ウ 分数の加法及び減法	・同分母分数の加法、減法を行う ・異分母分数の加法、減法を行う ・通分を活用して計算する ・学習プリントに沿った学習 ・模型の利用 ・単元テスト
	6	（知・技） 分数の乗法及び除法の計算ができる。（高2段階Aエ㉔） （思・判・表） 計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。（高2段階Aエ㉔） （学・人） 数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、分数の乗法及び除法の計算に取り組むことができる。（高2段階）	（知・技） 分数の乗法及び除法の計算ができている。 （思・判・表） 計算の仕方を多面的に捉え考えている。 （主・学） 数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、分数の乗法及び除法の計算に取り組んでいる。	【A数と計算】 エ 分数の乗法及び除法	・分数の乗法、除法の計算方法を学習する ・逆数について学習し、除法の際に活用する ・学習プリントに沿った学習 ・模型の利用 ・単元テスト

6	(知・技) 数量を表す言葉や $\square$, $\triangle$ などの代わりに, a, x などの文字を用いて式に表したり, 文字に数を当てはめて調べることができる。(高2段階Aオ㉔) (思・判・表) 数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり, 式の意味を読み取ることができる。(高2段階Aオ㉔) (学・人) 数量の関係を表す式を, 簡潔に表現するために文字を利用することができる。(高2段階)	(知・技) α, x などの文字を用いて式に表したり, 文字に数を当てはめて調べている。 (思・判・表) 問題場面の数量の関係に着目し, 数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり, 式の意味を読み取ることができる。 (主・学) 数量の関係を表す式を, 簡潔に表現するために文字を利用している。	【A数と計算】 オ 数量の関係を表す式	- 一次式の加法と減法について学習する aやxなどの文字を用いて式に表す - 文字式の文字の部分に数字を代入して計算する - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト
	(知・技) 正の数と負の数について理解することができる。(高2段階Aア㉔) (思・判・表) 正の数と負の数の四則計算ができる。(高2段階Aア㉔) (学・人) 身の周りにある数に親しみ, 数学の良さを感じながら学ぶことができる。(高2段階)	(知・技) 正の数と負の数について理解している。 (思・判・表) 正の数と負の数の四則計算ができています。 (主・学) 身の回りにある数に親しみ, 数学の良さを感じることができている。	【正の数と負の数】	- 正の数、負の数の表し方を学習する - 正の数、負の数が混ざった四則演算を行う - 身の回りから負の数を見つける - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト
12	(知・技) 縮図や拡大図について理解することができる。(高2段階Bア㉔) (思・判・表) 図形の構成の仕方を考察したり, 図形の性質を見いだすことができる (高2段階Bア㉔) (学・人) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら, 図形の構成の仕方に取り組んだり, 図形の性質を日常生活の場面に活かすことができる。(高2段階)	(知・技) 縮図や拡大図について理解している。 (思・判・表) 図形の構成の仕方を考察したり, 図形の性質を見いだしている。 (主・学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら, 図形の構成の仕方に取り組んだり, 図形の性質を日常生活の場面に活かしている。	【B図形】 ア 平面図形	- 縮図や拡大図について学習する - 対象な図形について学習する - もとの図形の縮図や拡大図を作成する - 身の回りから対象な図形を見つける - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト
	(知・技) 身の回りにある形について, その概形を捉え, およその面積などを求めることができる。(高2段階Bイ㉔) (思・判・表) 図形を構成する要素や性質に着目し, 道筋を立てて面積などの求め方を考えることができる。(高2段階Bイ㉔) (学・人) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら, 概形や面積などの求め方を道筋を立てて考えたり, 日常生活の場面に活かすことができる。(高2段階)	(知・技) 身の回りにある形について, その概形を捉え, およその面積を求めている。 (思・判・表) 図形を構成する要素や性質に着目し, 道筋を立てて面積などの求め方を考えることができています。 (主・学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら, 概形や面積などの求め方を道筋を立てて考えたり, 日常生活の場面に活かしている。	【B図形】 イ 身の回りにある形の概形やおよその面積など	- 面積を求める公式を使用して, 手のひらや教室のおよその面積を求める - 身の回りにある図形のおよその面積を求める - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト
	(知・技) 円の面積の計算による求め方について理解することができる。(高2段階Bウ㉔) (思・判・表) 図形を構成する要素などに着目し, 基本図形の面積を求めることができる。(高2段階Bウ㉔) (学・人) 学習したことを振り返り, 円の面積を求めたり, 公式を導きだすことができる。(高2段階)	(知・技) 円の面積の計算による求め方について理解している。 (思・判・表) 図形を構成する要素などに着目し, 基本図形の面積の求め方を見いだすことができています。 (主・学) 学習したことを振り返り, 円の面積を求めたり, 公式を導くことができています。	【B図形】 ウ 平面図形の面積	- 円の面積の求め方について学習する - 模型を活用して円のおよその面積を求める - 学習プリントに沿った学習 - 単元テスト

2 学 期	6	(知・技) 体積の単位（立方センチメートル等）について理解することができる。（高2段階BⅡ㉔） 直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。（高2段階BⅡ㉕） 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解することができる。（高2段階BⅡ㉖） (思・判・表) 図形の体積の求め方を考えることができる。（高2段階BⅡ㉗） 基本図形の体積の求め方を見いだすことができる。（高2段階BⅡ㉘） (学・人) 平面図形を振り返り、体積の求め方を考えたり、公式として導くことができる。（高2段階）	(知・技) 体積の単位（立方センチメートル等）について理解している。 直方体の体積の計算による求め方について理解している。 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解している。 (思・判・表) 図形の体積の求め方を考えることができる。 基本図形の体積の求め方を見いだすことができる。 (主・学) 平面図形を振り返り、体積の求め方を考えたり、公式として導くことができる。	【B図形】 エ 立体図形の体積	・形の特徴を調べる ・体積の表し方を学習し、面積との違いについて確認する ・直方体や立方体の体積を求める ・立体図形の模型を作成する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知・技) 比例の関数の意味や性質を理解することができる。（高2段階CⅢ㉔） 比例の関数を用いた問題解決の方法について理解することができる。（高2段階CⅢ㉕） 反比例の関数について理解することができる。（高2段階CⅢ㉖） (思・判・表) 伴って変わる二つの量を見いだして、目的に応じて表、式、グラフを用いてそれらの関係を表現し、変化や対応の特徴を見いだすことができる。（高2段階CⅢ㉗） (学・人) 比例や反比例を振り返り、生徒同士でコミュニケーションを図りながら、表、式、グラフを表現したり、日常生活の場面に利用することができる。（高2段階）	(知・技) 比例の関数の意味や性質を理解している。 比例の関数を用いた問題解決の方法について理解している。 反比例の関数について理解している。 (思・判・表) 伴って変わる二つの量を見いだして、目的に応じて表、式、グラフを用いてそれらの関係を表現し、変化や対応の特徴を見いだすことができる。 (主・学) 比例や反比例を振り返り、生徒同士でコミュニケーションを図りながら、表、式、グラフを表現したり、日常生活の場面に利用している。	【C変化と関係】 ア 伴って変わる二つの数量	・簡単な比の問題について学習する ・2つの数量の関係を表やグラフにまとめる ・比例と反比例の違いについて学習する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知・技) 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表すことができる。（高2段階CⅢ㉔） (思・判・表) 図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。（高2段階CⅢ㉕） (学・人) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら、二つの数量の関係を日常生活で探すことができる。（高2段階）	(知・技) 数量の関係を比で表したり、等しい比を作ることができる。 (思・判・表) 図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察している。 (主・学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら、二つの数量の関係を日常生活で探すことができる。	【C変化と関係】 イ 二つの数量の関係	・簡単な比の問題を繰り返し行う ・図や式などを用いて数量の関係の比べ方を学習する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	12	(知・技) 代表値の意味や求め方を理解することができる。（高2段階DⅣ㉔） 度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解することができる。（高2段階DⅣ㉕） 目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解することができる。（高2段階DⅣ㉖） (思・判・表) 目的に応じてデータを分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について考察することができる。（高2段階DⅣ㉗） (学・人) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら、データの収集とその分析ができる。（高2段階）	(知・技) 代表値の意味や求め方を理解している。 度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。 目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解している。 (思・判・表) 目的に応じてデータを分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について考察している。 (主・学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら、データの収集とその分析をしている。	【Dデータの活用】 ア データの収集とその分析	・グラフから特徴を読み取る ・データから特徴を読み取る ・グラフの読み書きを行う ・円グラフや帯グラフを作成する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト

3 学 期	9	(知及技) 起こりうる場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。(高2段階Dイ㊟) (思判表力) 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。(高2段階Dイ㊟) (学・人) データの収集とその分析方法を振り返り、生徒同士でコミュニケーションを図りながら、起こりうる場合の数について考えることができる。(高2段階)	(知・技) 起こりうる場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解している。 (思・判・表) 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。 (主学) データの収集とその分析方法を振り返り、生徒同士でコミュニケーションを図りながら、起こりうる場合の数について解決しようとしている。	【Dデータの活用】 イ 起こりうる場合の数	・起こりうる場合の順序を樹形図作成して確認する ・事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を学習する ・データの収集を行う ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深めるとともに、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。(高2段階Dイ㊟) (思判表力) 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。(高2段階Dイ㊟) (学・人) 確率の楽しさや確率の良さが分かり、場合の数と確率を振り返り、課題を解決しようとする態度を養うことができる。(高2段階)	(知・技) 確立の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めている。 (思・判・表) 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断している。 (主学) 確率の楽しさや確率の良さが分かり、場合の数と確率を振り返り、課題を解決しようとしている。	【Dデータの活用】 イ 起こりうる場合の数	・確率の意味と表し方を学習する ・簡単な確率をもとめる ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、プリント記入、活動の様子、テストなど、各学期毎に評価を行う。				

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程 A類型）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	9名	理科	くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高2段階】			
		(思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高2段階】			
		(学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 物の溶け方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技術を身に付けることができる。【高1段階】 (思判表力)物の溶け方について調べる中で、主に予測や仮設を基に、解決の方法を考えようとするができる。【高1段階】 (学・人)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高1段階】	(知・技)物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 (思・判・表)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○物の溶け方	○物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる。 ○単元「物の溶け方」 ・水に溶ける物の量。 ・水溶液の重さの変化 ・水の温度と物の溶ける量
	6	(知及技) 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることがわかる。【高2段階】 (思判表力)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技)植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができるを理解している。 (思・判・表)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○燃焼の仕組み	○燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる。 ○単元「燃焼の仕組み」 ・燃やす働きのある気体 ・物が燃えた後の空気 ・消火に必要なもの
	4	(知及技) 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることがわかる。【中1段階】 (思判表力)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付く、電気の回路についての疑問をもち、表現することができる。【中1段階】 (学・人)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中1段階】	(知・技)電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることを理解している。 (思・判・表)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付く、電気の回路についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の通り道	○電気の回路について、乾電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら調べる。 ○単元「電気の通り道」 ・豆電球の明かりのつけ方 ・電気を通す物と通さない物 ・手作り乾電池

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学 期	5	(知及技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人) 電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることが理解している。 (思・判・表) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学) 電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の働き	○電流の働きについて、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて調べる。 ○単元「電気の働き」 ・乾電池の数と明るさ ・直列つなぎと並列つなぎ ・電池とモーターで動く自動車
	5	(知及技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるがわかる。【高2段階】 (思判表力) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるを理解している。 (思・判・表) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学) 電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の利用	○発電や蓄電、電気の変換について、電気の量や働きに着目して、それらを多面的に調べる。 ○単元「電気の利用」 ・火力発電所とモーター ・自然エネルギーを使う風力発電、太陽電池 ・電気製品を安全に使う
3 学 期	5	(知及技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることを理解している。 (思・判・表) 水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学) 水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○水溶液の性質	○水溶液について、溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる。 ○単元「水溶液の性質」 ・酸性とアルカリ性 ・リトマス紙の使い方 ・身の回りの水溶液調べ
	4	(知及技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることがわかる。【高2段階】 (思判表力) てこの規則性について調べる中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人) てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 (思・判・表) てこの規則性について調べる中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学) てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○てこの規則性	○てこの規則性について、力を加える位置や力の大きさに着目して、てこの働きを多面的に調べる。 ○単元「てこの規則性」 ・力点、支店、作用点 ・てこのつりあい ・色々なてこその利用
通 年 を 通 し て 指 導		単元名 植物の栽培 単元の目標 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容 植物の栽培、観察 単元名 天気と気温 単元の目標 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容 天気の観察			
留 意 点 引 継 ぎ 等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 3 年（Ⅱ課程A類型） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	3 学年 生徒 9 名	音楽科	MOUSA I（教育芸術社）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部 2 段階） （思判表力）音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（高等部 2 段階） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部 2 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	A 表現 〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけるようにする。（高 2 段階：歌唱（イ）㉔、（ウ）㉔） （思判表力） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高 2 段階：歌唱（ア）） 〔器楽〕 （知及技） 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部 2 段階：器楽（イ）㉔、（ウ）㉔） （思判表力） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高 2 段階：器楽（ア））	A 表現 〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけている。 （思判表力） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができるようにする。 〔器楽〕 （知及技） 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につけている。 （思判表力） 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。 （思判表力） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができるようにする。	〔歌唱〕 「曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう」 「曲想や歌詞の内容を感じて歌おう」 〔器楽〕 「楽器の奏法を理解し、演奏を楽しもう」 「身体表現」 「曲想に合わせて身体表現を工夫しよう」 〔創作〕 「音楽の構造や特徴を理解して、曲を作ってみよう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴を感じ、情景をイメージして聴こう」 「楽曲の背景や歴史を知り、鑑賞しよう」	A 表現 〔歌唱〕 （知識） （イ）の曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 （技能） （ウ）の創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につける。 （思判表力） （ア）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 （知識） （イ）の多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 （技能） （ウ）の創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体を使い方などの技能を身につける。 （思判表力） （ア）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
2 学期	22.5	〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につける。（高 2 段階：創作（イ）㉔、（ウ）） （思判表力） 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができるようにする。（高 2 段階：創作（ア）） 〔身体表現〕 （知及技） 曲想や音楽の構造と身体動きとの関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。（高 2 段階：身体表現（イ）㉔、㉔） （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができるようにする。（高 2 段階：身体表現（ア））	〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。 （思判表力） 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができるようにする。 〔身体表現〕 （知及技） 曲想や音楽の構造と身体動きとの関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につけている。 （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができるようにする。	〔歌唱〕 「日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して歌おう」 〔器楽〕 「ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう」 〔鑑賞〕 「和楽器について知り、日本の音楽を鑑賞しよう」	〔創作〕 （知識） （イ）の曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性について理解する。 （技能） （ウ）の創意工夫を生かした表現で演奏に必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 （思判表力） （ア）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 （知識） （イ）の曲想と体の動きとの関わりを理解する。 （技能） （イ）の曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 （思判表力） （ア）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。
3 学期	8	B 鑑賞 （知識） 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解する。（高 2 段階：鑑賞（イ）㉔） （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができるようにする。（高 2 段階：鑑賞（ア）） A・表現、B 鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、さまざまな音楽文化に親しむとともに、音楽経験を生活に生かすことができるようにする。（高等部 2 段階）	B 鑑賞 （知識） 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解できている。 （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 A・表現、B 鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することができる。 さまざまな音楽文化に親しむとともに、これまでの音楽経験を生活に生かそうとしている。	〔歌唱〕 「曲想や歌詞の内容を感じて歌おう」 「多様な楽器の音色を感じて、合奏をしよう」	B 鑑賞 （知識） （イ）の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりを理解する。 （思判表力） （ア）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、ワークシートの記述、演奏練習への取り組み、活動の様子、演奏発表など、各学期毎に評価を行う。			

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程・A類型）美術科 年間指導計画

単位数／ 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	3学年 9名	美術科	高校美術（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫し、自分らしく表現できるようにする。(高等部2段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(高等部2段階) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造する態度を養う。(高等部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。(高2段階：A表現ア(ア)) (思判表力)対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(高2段階：A表現ア(イ)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。(高2段階)	(知・技)用具を作る過程や材料を扱う方法を理解し、表現方法を工夫し、表している。 (思・判・表)主題(自分の好きなもの)を考え、画面に構成するために、パブルアートの表現と主題の色彩や大きさ、重ね方など創意工夫している。 (主学)偶然の形を楽しみ、自分の好きなものを表す表現活動に主体的に取り組んでいる。	表現 「自分の好きなもの」 ・描画技法 ・想像画	・描画技法「パブルアート」を学ぶ。 ・描画のための道具作り ・表現により現れる偶然の形を楽しむ。 ・主題(自分の好きなもの)を画面構成するための構想を練る。 ・主題の描き込みに工夫を重ねる。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	6	(知及技)道具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。(高2段階：A表現ア(ア)) (思判表力)対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、目的や条件などを基に主題(クイズ)を考え、創造的な構成を練ることができる。(高2段階：A表現ア(イ)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。(高2段階)	(知・技)道具(iPad)のアプリの特徴を理解し、効果的に表している。 (思・判・表)まちがい探しの効果的な表し方でクイズ画の構想を練っている。 (主学)主体的に描画に取り組み、完成作品を活用し活発な意見交換を行っている。	表現と鑑賞 「まちがい探し」 ・ICT機器を使った作画	・iPadのアプリを使い、作画する。 ・画像加工の方法を学び、まちがい探しのクイズを作成する。 ・鑑賞はクイズ作品を紹介したり、お互いにクイズを解いたりする。
	2	(知及技)形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高2段階：共通事項(ア)) (思判表力)生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階：B鑑賞(イ)) (学・人)美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造することができる。(高1段階)	(知・技)作品の特徴を形や色彩から捉え、作家の意図を理解しようとしている。 (思・判・表)過去に起きた出来事が美術界に影響したことを作品の説明を通して知り、美術の働きや美術文化について考えている。 (主学)美術作品を通して新たな気付きや自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいる。	鑑賞 「ジャポニズムと万博」	・時代背景と作家を知る。 ・作者の関心や発想、作品に込められた心情、その作品によって何を表現したかったのかという意図と、それがどのように表現されているかという工夫について考える。 ・思ったことをお互いに話し合う。
	6	(知及技)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表す。(高2段階：A表現(ア)) (思判表力)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。(高1段階：B鑑賞ア(ア)) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。(高1段階)	(知・技)画材の効果を理解し、用具を安全に扱い、表現を追求して描画している。 (思・判・表)世界や日本の名画を鑑賞し、作者の意図や構成を考えている。 (主学)対象の形や色の美しさや特徴など、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。	鑑賞と表現 「名画を写してミニミニ美術館」	・様々な人物画について学ぶ。 ・気に入った人物画を選び、プラ板に写し取る。 ・額縁に貼り付け完成させる。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
2	10	(知及技)陶芸の歴史や工程を知り、目的や条件などを基に、陶芸で表現することができる。(高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)) (思判表力)陶芸の良さや特徴を基に、形様や絵付け柄の構成を練ったり考えたりすることができる。(高2段階：A表現ア) (学・人)陶芸による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組むことができる。(高1段階：A表現ア(イ)、B鑑賞ア(イ))	(知・技)陶芸の制作工程を理解し、見通しを持ち取り組んでいる。 (思・判・表)皿の形や絵付け柄の構成を工夫している。 (主学)陶芸の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	表現(工芸) 「陶芸(絵付け皿)」	・陶芸の工程について学ぶ。 ・形や絵付けについて、成形しやすい形などの構成を考える。 ・互いの作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について話し合う。

学期	12	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表す。(高2段階:A表現(ア)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。(高2段階:B鑑賞ア(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。(高3段階)	(知・技) 画材の効果を理解し、用具を安全に扱い、表現を追求して描画している。 (思・判・表) 自分が納得する1枚の絵をイメージし、その意図や構成を考えている。 (主学) 対象の形や色の美しさや特徴など、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。	絵画表現 「キャンバスに絵を描こう」	・素材、画材の違いを知る。 ・自分の家に飾りたいと思うような題材を決め、下絵を描く。 ・アクリル絵の具を使ってキャンバス地に描く。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
3 学期	2	(知及技) 人に伝えるために表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。(高2段階:A表現ア(イ)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。(高2段階:B鑑賞ア(ア)) (学・人) 美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高2段階)	(知・技) 作品の特徴をとらえ、人に伝わりやすい言葉など表現の工夫を行っている。 (思・判・表) お互いの作品集や制作を振り返り、深く考え意見を出したり聞いたりしている。 (主学) 美術の動きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	鑑賞 「自分の作品と友達 の作品」	・自分の作品についての発表をワークシートに記入したのち、みんなの前で発表する。 ・友達の作品の鑑賞を行い、感じたこと、自分の作品との違いなどを意見交換する。
	4	(知及技) 形や色彩、材料や光などの動きを理解することができる。(高2段階:共通事項(ア)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階:B鑑賞ア(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。(高1段階)	(知・技) 錯視現象に気づき、画面の構成や全体のイメージなどを捉えて、メディア機器を生かし表している。 (思・判・表) 身近な錯視の現象と有名なイラストを見てその効果などについて考えている。 (主学) 視点を変えた気づきの活動に、楽しく取り組んでいる。	表現 「顔に見える〇〇 (シミュクラ現象) ・写真作品	・センター敷地内で顔に見える建物などを見つけ撮影する。 ・互いの作品を鑑賞し、撮影の意図や工夫について話し合う。 ・錯視について「シミュクラ現象」を学び、だまし絵の名画を知る。
	4.5	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求することができる。(高2段階:A表現ア(イ)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。(高2段階:B鑑賞ア(ア)) (学・人) 美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高2段階)	(知・技) 作品集にまとめるためにレイアウトやコメントを書くなど表現の工夫を行っている。 (思・判・表) お互いの作品集や制作を振り返り、深く考え意見を出したり聞いたりしている。 (主学) 美術の動きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	表現と鑑賞 「作品集づくりをとおして1年間を振り返る」	・制作した作品を1冊の作品集にまとめる。 ・作品集を発表し、制作を振り返り、互いに鑑賞し感想を述べ合う。 ・多様な美術の世界を通して、新しい見方、感じ方をこれからどのように生かすことができるのかを考える。
52.5					
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程 A類型）保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	3学年 生徒9名	保健体育科	くらしに役立つ保健体育

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）各種の運動の特性や目的に応じた技能を身に付け、個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深める。（高2段階） （思・判・表）各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高2段階） （学・人）生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知・技） 学習時の態度や集団行動の仕方など「きまり、約束」を理解し集団での協調性や場や用具の安全を確保し見通しを持って行動ができるようにする。（高2段階） （思・判・表） 目的に適した運動を身に付け組み合わせることができる。（高2段階） （学・人）自分の基礎的運動能力や体力を知り、課題を見つけ、実生活に役立てることができる。（高2段階）	（知・技） 自己の体力課題について知ることができている。 各種運動動作における技術ポイントを理解し習得することができる。 （思・判・表） 自己の体力課題の解決に向けての運動・方法を考えることができる。 （主・学） 自ら進んで各種運動に積極的に取り組もうとしている。きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりすることができる。	「集団行動」 「体づくり運動～新体力テスト～」	手軽な運動やリズムカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、心と体の関係や心身の状態に気づくことができる。 第1時～第2時 集団行動 集合、整列（号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右等）の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して場や用具の準備片付け・清掃等施設の利用方法を学ぶ 第3時～第4時 準備運動・整理運動 ラジオ体操や特体連ダンスの曲に合わせて体操を行う。体の各部位をゆっくと進展させ、そのままの状態約10秒間維持する。 第5時～第8時 体づくり運動 いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 大きくリズムカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりする。 第9時～第10時 新・体力テスト（室内） 握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈 第11時～第12時 新・体力テスト（室外） 50m走、100m走、ボール投げ、立ち幅跳び
	8	（知・技） 球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高2段階 球技（ア）） （思・判・表） 球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のための方法を仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。（高2段階 球技（イ）） （学・人） 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力して場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。（高2段階：球技（ウ））	（知・技） 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができる。 （思・判・表） ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見つけている。 （主・学） 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技（ベースボール型）」 ・ティベースボール	第1時～第2時 基本動作の取得 「投げ方（キャッチボール）、打ち方などの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、キャッチボールやスイングの練習に積極的に取り組む。 第3時～第4時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いベースボールのルールを覚える。 第5時～第8時 試合と大会運営 攻め方、守り方（作戦の立て方）等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	12	（知・技） 泳力の上達や記録向上やその特性に応じた技能の理解を深め目的に応じた泳法を身に付けることができる。（高2段階 水泳（ア）） （思・判・表） 水泳（泳法）について自己の課題を発見し、仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。（高2段階 水泳（イ）） （学・人） 水泳のマナーを守り、場や用具の安全を確保したりして泳ぐことができる。（高2段階：水泳（ウ））	（知・技） 泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり競い合ったりすることができる。 （思・判・表） 水泳（泳法）の名称や動きを高めるためのポイントを挙げることができる。 （主・学） 水の安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「水泳」	水泳の特性に応じた技能を理解し泳法を身に付ける。 第1時～第2時 施設利用とプール利用の心得 プールや用具に関する取り扱い方、練習場所に関する安全や体調に留意して運動する方法を学ぶ 第3時～第4時 水慣れ、水中ウォーミングアップ 「浮く動作」…伏し浮き、背浮き、け伸び 「泳ぐ動作」…バタ足、連続したボビング 第5時～第10時 泳法 「補助具を活用した泳法」…ビート板キック 「呼吸を伴わない泳法」…面がぶりクロール・面がぶり平泳ぎ 「呼吸法（息継ぎ）」…クロール・平泳ぎ 第11時～第12時 水球 「足つき水球」…ルールを理解し試合を行う

	4	(知及技) 心身の発育・発達と傷害の防止について理解をできるようにする。(高2段階) (思判表力) 心身の発育・発達とに関わる情報から自他の課題を発見し、けがや疾病の予防方法を選択できる。(高2段階) (学・人) 生活の質を高め、心身の発育・発達について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 心身の発育・発達に伴う傷害の防止方法をいくつか挙げている。(思・判・表) 心身の発育・発達、けがや疾病に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用してけがや疾病を予防するための適切な行動をとることができている。(主学) けがや疾病の予防について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができている。	「保健」 ・心身の発育・発達 ・傷害の防止と疾病の予防	第1時 心身の発育・発達について 生殖にかかわる機能の成熟、受精や妊娠、異性の尊重について知る。 第2時 熱中症とその予防 自己の体調や周囲の環境の変化について知り熱中症を予防することができる。運動中の服装や適切な水分補給について知る。熱中症になったときの対応方法。 第3時 傷害の防止 安全に注意して運動を行うことについて 第4時 応急手当の対処法 すり傷、鼻出血、やけどや打撲など簡単にできる応急手当の方法を行うことができる。
	8	(知及技) 球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階 球技(ア)) (思判表力) 球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のための方法を仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。(高2段階 球技(イ)) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力して場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。(高2段階：球技(ウ))	(知・技) 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができる。(思・判・表) ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見つけている。(主学) 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技(ゴール型)」 ・バスケットボール ・サッカー ・アルティメット	第1時～第4時 基本動作の取得 「投げ方、蹴り方、パス、シュートなどの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ボールやディスクコントロールの練習に積極的に取り組む。 第5時～第6時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行い競技のルールを覚える。 第7時～第8時 試合と大会運営 攻め方、守り方(作戦の立て方)等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	17	(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。(高2段階 ダンス(ア)) (思判表力) ダンスについての課題を発見し仲間と思考し判断したことを他者に伝えたり発表をすることができる。(高2段階 ダンス(イ)) (学・人) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め合ったり、場の用具の安全を確保し見通しをもって運動に取り組むことができる。(高2段階：ダンス(ウ))	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。(思・判・表) 強弱をつけたメリハリのある動きで発表することができる。(主学) エイサーの特性に関心を持ち楽しさや喜びを味わい互いのよさを認め合い協力して進んで練習や発表会に取り組むことができる。 ダンスの学習に積極的に取り組み、安全に用具を使用することができる。	「表現運動」 ・郷土の踊りエイサー	郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心を育てる。 第1時～第2時 踊りの構成や役割決め 自己にあった演技担当を選ぶことができる。踊りの振り付けや構成を全員で作りに上げる。 第3時～第6時 個別・グループでの取り組み グループで振りや動きの練習を行い。仲間の動きに合わせて踊ることができる。 第7時～第10時 体系移動の練習 リズムに乗った動きで体系移動を行う。相手のタイミングや位置等に合わせて移動を行う。 第11時～第17時 全体練習 曲や全体の動きに合わせて最後まで踊ることができる。
	15	(知及技) 球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階 球技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。(高2段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上競技のマナーを守り、場や用具の安全を確保したりして走ることができる。(高2段階：陸上競技(ウ))	(知・技) 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。(思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動をとることができている。(主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「陸上競技」 ・短距離・跳躍・リレー	競走したり記録に挑戦したりすることを通して、走る楽しさを味わい一定の距離を全力で走る事ができる。 第1時～第4時 ストレッチ体操、特体連ダンス 動きを良くするための準備体操、疲労を残さない怪我を防止するための整理体操を身に付ける。 第5時～第8時 腕振り(走フォームの意識) リズムの良いフォームで走れることを意識する。「スラローム走」…視線、体の傾きを意識して走る。 「ストライド走」歩幅を広くして走る。 第9時～第12時 スタートダッシュ 高いスピードを維持して速く中間走では、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走る。「スタートダッシュ走」…前傾姿勢を意識して走る。 第13時～第15時 リレー・バトンパスの練習 減速の少ないバトンの受け渡しができる。「60mリレー」「トラック1周リレー」 テークオーバーゾーンを有効に使ったバトンの受け渡し。 同じグループ内でのいろいろな相手とバトンの受け渡しを行う。

		(知及技) 健康な生活と感染症予防について理解できるようにする。(高2段階) (思判表力) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、感染症などのリスクかを軽減する方法を選択することができる。(高2段階) (学・人) 生活の質を高め、感染症予防について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 感染症を予防するための方法をいくつか挙げるができるている。 (思・判・表) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用して感染症を予防するための適切な行動をとることができる。 (主学) 感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。	「保健」 ・感染症・エイズ	第1時 感染症について 感染症とは、「人から人うつる病気のこと」だと理解することができる。 第2時 菌・ウイルスについて 感染源となる菌やウイルスについて学び、発生源について理解する。 第3時 感染症の種類 感染症の病気の種類や症状などについて知る。 第4時 感染症予防 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 「風邪予防(手洗い、うがいの徹底)」…感染症対策について学ぶ。
3 学 期	14	(知及技) 陸上競技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。(高2段階 陸上競技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。(高2段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上競技のマナーを守り、場や用具の安全を確保したりして走ることができる。(高2段階：陸上競技(ウ))	(知・技) 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動をとることができる。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「陸上競技」 ・長距離走	第1時～第4時 時間走、ペース走 基本的なフォームと自己に適したペース設定を身に付ける。 第5時～第7時 インターバルトレーニング ペースの変化に対応するなどして走り、長距離走特有の呼吸法や腕振り、足の動きを身に付ける。 第8時 体調の整え方 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 第9時～第14時 競技会への参加 記録会に参加し自己のペースを守りながら自己記録を目指す。駅伝大会を実施しチームで記録を更新するなどの楽しさを味わう。
	7	(知及技) 球技の特性に応じた技能の理解を深め、ゲームを行うことができる。(高2段階 球技(ア)) (思判表力) 球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のための方法を仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。(高2段階 球技(イ)) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力して場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。(高2段階：球技(ウ))	(知・技) 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができる。 (思・判・表) ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見つけている。 (主学) 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技(ネット型)」 ・バドミントン ・卓球	第1時～第2時 基本動作の取得 「サーブ、トス、スマッシュ、ドロップなどの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ラケット操作、シャトルやボールのコントロール練習に積極的に取り組む。 第3時～第4時 特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いながらバドミントン・卓球のルールを覚える。 第5時～第7時 試合と大会運営 攻め方、守り方(作戦の立て方)等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、大会を全員で運営する。
	4	(知及技) 応急手当の意義や手順方法を理解することができる。(高2段階) (思判表力) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順を身に付け、仲間と協力して課題を解決することができる。(高2段階) (学・人) 仲間と協力し合って主体的に救命活動に参加できる態度を養う。(高2段階：体育理論(ウ))	(知・技) 応急手当の意義や手順方法を守りながら行動することができる。 (思・判・表) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順で、仲間と一緒に人命救助することができる。 (主学) 仲間と協力し合って主体的に救命活動に参加することができる。	「保健」 応急手当(心肺蘇生法)	第1時 オリエンテーション 心肺蘇生法やAEDを活用する場面について 第2時～第4時 人命救助の手順 「人命救助の手順」 「心肺蘇生法の手順」 「AEDの活用方法について」
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
4単位/140時間	3学年 3名	職業科	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (高2段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだし課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(高2段階) (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技)職業学習の心得を身につける。(高2段階ア(イ)) (思判表力)勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行うことができる。(高2段階ア(ウ)) (学・人)他者と協働して主体的に取り組む事ができる。(高2段階ア(ウ))	(知・技)心得を理解し、行動に移すことが出来ている。 (思・判・表)就労を意識し、言葉使いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (主学)他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。	・勤労の意義 職業生活	・日々の業務の中で必要な身なり、時間を守ることの大切さ言葉使い等、9つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働く目的の理解を深める。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高2段階：情報機器イ) (思判表力)情報機器を使用し発表等を行っている。(高2段階：情報機器イ) (学・人)情報機器を正しい使用方法で活用する。(高2段階：情報機器ア)	(知・技)iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 (思・判・表)情報機器を活用して、発表することができている。 (主学)情報モラルを守り機器を活用する。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータやスマホの便利さと危うさを実例で学び表現・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)基本的、実践的な介護技術を身につけることができる。(高2段階イ(イ)) (思判表力)介護の心得、ホスピタリティを知ることができる。(高2段階イ(イ)) (学・人)介護職の社会的ニーズを知ることができる。(高2段階ア(イ))	(知・技)介護の役割、専門性、仕事内容を理解できる。基本の介護技術を身につけている。 (思・判・表)相手の求める介護をすることの重要性を理解している。 (主学)これからの社会に介護職が必要であることに気付いている。	・介護の基礎と実践	・介護に従事する際の心得、高齢者の特徴や活動、認知症などの疾患を理解し、より良い介護の在り方、生活支援の方法や技術を学ぶ。 ・特別講師による講義、実演。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)コミュニケーションやレクリエーションによる援助の知識、技術を習得することができる。(産業現場ア) (思判表力)相手の実態を調べ、レクリエーションを計画することができる。(産業現場ア) (学・人)コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶことができる。(産業現場ア)	(知・技)適切な援助の知識・技術を通してレクリエーションを行っている。 (思・判・表)相手の実態に応じたレクリエーションを考えている。 (主学)積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持とうとしている。	・福祉施設、高齢者施設の見学及び交流学習	・グループ活動においてレクリエーションを計画し高齢者や障害者と交流を行う。 ・高齢者、障害者施設の利用者との交流を通し、相手と場に応じた実践的な対応方法など体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
1学期	4	(知及技)就労の対価や意義を知ることができる。(高2段階ア(ア)) (思判表力)授業内容を理解し見通しを持つことができる。(高2段階ア(イ)) (学・人)職業学習の心得を理解する。(高2段階ア(ア))	(知・技)意義や対価等を学び、就労への意識を持って学習活動に取り組んでいる。 (思・判・表)学習内容を把握し、意欲的に作業に参加している。 (主学)心得を自身で考え、実行している。	・職業学習について	・作業内容の把握や心得について学び、一年の見通しと目標や意義を確認する。 ・介護に関連する職業や職種、仕事内容について調べる。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業に取り組む姿勢を身につける。
	36	(知及技)介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的な介護技能身に付けることができる。(高2段階イ(ア)㊦) (思判表力)介護や保育、サービス業に必要なコミュニケーション、支え合いについて考えることができる。(高2段階イ(イ)㊦) (学・人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ)㊦)	(知・技)車いすや機器の名称・使い方を把握し、使用している。安全な介助方法が身に付いている。 (思・判・表)相手を知ること、コミュニケーションの大切さについて理解し、考えようとしている。 (主学)自らコミュニケーションを図り、相手を知ろうとしている。	・コミュニケーションの意義 ・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・介護技術の基本 ・高齢者体験	・相手を知ることの大切さコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・車いすの各名称、使い方知る。メンテナンス方法を学ぶ。 ・人間の動き(立位、座位、歩行、昇降など)や仕組みを学ぶ。 ・ボディーワークスを学ぶ。 ・移乗支援方法、移動支援方法を学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。

		(知及技)1学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高2段階ア(イ)) (思判表力)1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表することができる。(高2段階ア(イ)) (学・人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高2段階ア(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。	・1学期のまとめと2学期の目標	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2 学 期	64	(知及技)介護者として必要な基本的な介護技能と知識を身につけることができる。(高2段階イ(ア)㊟) (思判表力)高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用法を知り、快適に生活するための方法を考えることができる。(高2段階イ(ア)㊟) (学・人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ)㊟)	(知・技)高齢者、障害者の食事(誤嚥、脱水)、身体の拘縮、褥瘡など予防法が分かり、安全で適切な衣類の脱着、体位変換、ベッドメイクの手順を身に付けている。 (思・判・表)高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えている。 (主学)適切な介護、支援方法を考え、仲間と協力しようとしている。	・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・感染症の理解と予防策 ・介護技術の基本 ・高齢者、障害者とのコミュニケーション ・福祉用品(補助具)	・高齢者、障害者の嚥下の仕組み、誤嚥や脱水、身体の拘縮、褥瘡について学ぶ。 ・感染症の仕組みを理解し、正しい感染症対策や感染症の基本的な予防対策を理解し、介護施設における感染症対策の必要性を学ぶ。 ・食形態、食事介助方法、水分補給方法、体位変換方法、衣類の脱着、ベッドメイク方法を学ぶ。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・コミュニケーションの種類や方法、目的を理解し、信頼関係構築に必要な態度について学ぶ。 (しまくとぅば、手話) ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。
	4	(知及技)2学期の成果を確認し、3学期以降に活かすことができる。(高2段階イ(イ)) (思判表力)2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表することができる。(高2段階ア(イ)) (学・人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高2段階ア(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。	・2学期のまとめと3学期の目標	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3 学 期	24	(知及技)介護者として必要な基本的な知識と技能と知識を確認し、実践することができる。(高2段階イ(ア)㊟) (思判表力)認知症や様々な障害がある方々の気持ちを理解し、適切なコミュニケーション方法について考えることができる。(高2段階イ(ア)㊟) (学人)他者と協力しながら高齢者や障害者のいきがいは何かを考えることができる(高2段階イ(イ)㊟)	(知・技)それぞれの障害の特徴、支援方法を理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)様々な障害がある方々の気持ちを理解し適切なかわり方を考えようとしている。 (主学)自分から声をかけたり、相手と積極的に関わろうとしている。	・高齢者、障害主別の特徴と気持ち ・認知症について	・各障害の特徴について知り、認知症や障害者への寄り添い方と良好なコミュニケーション方法を学ぶ。 ・高齢者の生きがい、パラリンピックでの活躍を知る。 ・お互いに介護される、介護することを体験し、介護技術の習得を確認する。
	4	(知及技)年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高2段階ア(イ)) (思判表力)まとめた内容を皆の前で発表することができる。(高2段階ア(イ)) (学・人)卒業後に向けた目標を持ち他者との共通理解を行う。(高2段階ア(イ))	(知・技)1年を振り返り、まとめることができる。 (思・判・表)他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (主学)意見を共有し、皆でまとめることができる。	・ちゅうさき技能検定 ・年間のまとめ	・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り卒業後に向けた目標を考える。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程 A類型）職業科 エコロジー班 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 ／70時間	3学年 9名	職業科	

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）・職業に関する事柄について理解を深める。 ・将来の職業生活に係る基本的な技能を身に付け活用する。 （思・判・表）・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して自ら課題を設定し、解決策を考える。 ・実践を評価・改善し、表現する力を養う。 （学・人）・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 （高等部 2 段階） （高等部 2 段階） （高等部 2 段階） （高等部 2 段階） （高等部 2 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（学・人）他者と協働して主体的に取り組む事ができる。（高2段階ア（ウ）） （思・判・表）勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行う。（高2段階ア（ウ）） （知・技）職業学習の心得を理解し行動に移す。（高2段階ア（イ））	（主・学）他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。 （思・判・表）就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 （知・技）心得を理解し、行動に移すことが出来ている。	・勤労の意義 職業生活	・日々の授業の中で身なりや時間を守るなどの大切な言葉遣い等、9つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主・学」の評価は年間を通して行う
1 学期	2	（知・技）勤労の意義を理解し意欲的に取り組むことができる。（高2段階A職業生活ア（ア）） （思・判・表）目標をもって取り組むことができる。（高2段階A職業生活ア（イ）） （学・人）職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。（高2段階A職業生活ア（ウ））	（知・技）勤労の意義を理解し意欲的に行動している。 （思・判・表）目標をもって取り組むことができる。 （主・学）職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。	単元名「授業開き」	○1年間の授業計画を確認し、1 学期の個人目標を立てることで見通しをもつ。（思・判・表）（主・学） ○グループワークを通して、就労に必要な力について協議し、全体で意見を共有する（思・判・表）
	12	（知・技）清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を知り作業に活かすことができる。（高2段階イ（ア）㉔） （思・判・表）日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができる。（A職業生活ア（イ）） （学・人）清掃マップを作成し、効率を考え校内外の清掃活動を行うことができる。（高2段階ア（ウ））	（知・技）清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を理解し作業している。 （思・判・表）日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができる。 （主・学）清掃マップを作成し、効率的に校内外の清掃活動を行うことができる。	単元名「清掃の仕方を身に付けよう」	○グループワークを通して、日頃の清掃活動を振り返り、改善点を見出す。（思・判・表） ○話し合った改善点を踏まえ、他者と協力しながらHR教室の清掃を行う。（主・学） ○泡瀬特別支援学校施設内清掃 ○泡瀬特別支援学校プール施設内清掃
	4	（知・技）環境整備【ビルメンテナンス】の専門的な技能を理解することができる。（高2段階イ（ア）㉕） （思・判・表）状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。（高2段階イ（ア）㉕） （学・人）習得した技術を検定を通して披露することができる。（高2段階イ（ア）㉕）	（知・技）環境整備【ビルメンテナンス】の専門的な技能を理解することができる。 （思・判・表）状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。 （主・学）習得した技術を検定を通して披露することができる。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。（知・技） ○校内ビルメンテナンス検定に参加する（主・学）
	4	（知・技）1 学期の成果を確認し、2 学期以降に活かすことができる。（高2段階ア（イ）） （思・判・表）1 学期を振り返り自己の成長や課題点を考えることができる。（高2段階ア（イ）） （学・人）他者の反省を聞き、認めることができる。（高2段階ア（イ））	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、発表し伝える事ができている。 （主・学）他者の発表を聞き、成長点や反省点について共有している。	単元名「一学期のまとめ」	○一学期の振り返りを行うことで、次への目標と見通しをもつ。（思・判・表） ○クラスメイトの一学期の振り返りの発表を聞いて、成果を称賛する（思・判・表）
	4	（知・技）勤労の意義を知り意欲的に作業に取り組むことができる。（高2段階A職業生活ア（ア）） （思・判・表）目標をもって取り組むことができる。（高2段階A職業生活ア（イ）） （学・人）職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。（高2段階A職業生活ア（ウ））	（知・技）勤労の意義を理解し意欲的に作業を行っている。 （思・判・表）今学期の個人目標を意識し取り組んでいる。 （主・学）職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。	単元名「1 学期の振り返りと 2 学期の目標設定」	○2 学期の授業計画を確認し、個人目標を立て、発表を行う。（思・判・表）
	10	（知・技）美化活動が社会生活の基礎であることを知り、意欲的に取り組む。（高2段階ア（ア）） （思・判・表）すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができる。（高2段階イ（ア）㉖） （学・人）清掃業について、調べることができる。（高2段階イ（ア）㉖）	（知・技）美化活動が社会生活の基礎であることを理解し意欲的に取り組んでいる。 （思・判・表）すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができる。 （主・学）清掃業について、調べることができる。	単元名「美化活動と職業のつながり」	○地域施設の管理・清掃を行う仕事があることを知る。（知・技） ○清掃業を行う会社を調べ、業務内容や業務場所を調べ、ワークシートに記入する。（思・判・表）

2 学 期	10	(知及技)環境整備【ビルメンテナ ス】について知り実践することがで きる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴) (思判表)ビルメンテナンスに求めら れる力【清掃技術・身だしなみ・コミュ ニケーション】について自身に当ては め行動することができる。(高2段階 Ⅰ(ア)㊴) (学人)使用する道具の特性や扱い方 を知り、清掃活動にいかすことがで きる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴)	(知・技)環境整備【ビルメンテナ ス】とはどういうことか理解し作業 している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求 められる力【清掃技術・身だしな み・コミュニケーション】について 実践することができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方 を知り、清掃活動にいかそうとして いる。	単元名「ビルメンテナ ス」	○ビルメンテナンス協会の講師による実演 会に参加し、ビルメンテナンスに求められ る力を知る。(知及技) ○ビルメンテナンスの実演会で学んだこと を各班で振り返り、ワークシートにまと め、発表する。(思判表) ○実演会で学んだ清掃道具の使い方を、教 室や廊下の清掃で実践する。(主学)
	4	(知及技)環境整備【ビルメンテナ ス】の専門的な技能を理解すること ができる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴) (思判表)状況に応じた清掃用具を選 択・清掃作業ができる。(高2段階Ⅰ (ア)㊴) (学人)習得した技術を検定を通して披 露することができる。(高2段階Ⅰ (ア)㊴)	(知・技)環境整備【ビルメンテナ ス】の専門的な技能を理解すること ができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具 を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して 披露することができている。	単元名「校内ビルメンテ ナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正 しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習す る。(知及技) ○前回の結果を振り返りより高い目標を設 定し検定にのぞむ(主学)
	2	(知及技)2学期の成果を確認し、3学 期に活かすことができる。(高2段階 Ⅰ(イ)) (思判表)2学期を振り返り自己の成長 や課題点を発表する。(高2段階Ⅰ (イ)) (学人)他者の反省を聞き、認めること ができる。(高2段階Ⅰ(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成 果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題 点を考え、発表し伝えている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や 反省点について共有している。	単元名「2学期のまとめ」	○2学期の振り返りを行うことで、次への 目標と見通しをもつ。(思判表) ○クラスメイトの2学期の振り返りの発表 を聞いて、成果を称賛する(思判表)
3 学 期	2	(知及技)勤労の意義について確認す ることができる。(高2段階A職業生活 Ⅰ(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことが できる。(高2段階A職業生活Ⅰ(イ)) (学人)職業学習の今学期の取り組みを 確認し、見直しをもつことができる。 (高2段階A職業生活Ⅰ(ウ))	(知・技)勤労の意義について理解し 目標を設定している。 (思・判・表)目標を意識し取り組む ことができている。 (主学)職業学習の年間の取り組みを 確認し、見直しを持ち取り組むこと ができている。	単元名「2学期の振り返り と3学期の目標設定」	○3学期の授業計画を確認し、個人目標を 設定する。(思判表)
	8	(知及技)環境整備【ビルメンテナ ス】について知り実践することがで きる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴) (思判表)ビルメンテナンスに求めら れる力【清掃技術・身だしなみ・コミュ ニケーション】について自身に当ては め行動することができる。(高2段階 Ⅰ(ア)㊴) (学人)使用する道具の特性や扱い方 を知り、清掃活動にいかすことがで きる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴)	(知・技)環境整備【ビルメンテナ ス】とはどういうことか理解し作業 している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求 められる力【清掃技術・身だしな み・コミュニケーション】について 実践することができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方 を知り、清掃活動にいかそうとして いる。	単元名「ビルメンテナ ス」	○場所や状況に応じた、作業の順序や道具 の選定方法を知る。(知及技) ○作業を各班で振り返り、ワークシートに まとめ、発表する。(思判表) ○自身の役割を意欲的に実践する。(主 学)
	4	(知及技)環境整備【ビルメンテナ ス】の専門的な技能を理解すること ができる。(高2段階Ⅰ(ア)㊴) (思判表)状況に応じた清掃用具を選 択・清掃作業ができる。(高2段階Ⅰ (ア)㊴) (学人)習得した技術を検定を通して披 露することができる。(高2段階Ⅰ (ア)㊴)	(知・技)環境整備【ビルメンテナ ス】の専門的な技能を理解すること ができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具 を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して 披露することができている。	単元名「校内ビルメンテ ナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正 しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習す る。(知及技) ○校内ビルメンテナンス検定に参加する (主学)
	2	(知及技)清掃道具の手入れ方法を 知り、実践することができる。(高2 段階Ⅰ(イ)㊴) (思判表)清掃道具・倉庫の手入れを 丁寧に行うことができる(高2段階Ⅰ (イ)㊴) (学人)清掃道具・倉庫の手入れを他 者と協力しながら行うことができる(高 2段階Ⅰ(イ)㊴)	(知・技)清掃道具の手入れ方法に 応じた手入れを理解し実践している。 (思・判・表)清掃道具・倉庫の手入 れを丁寧に行うことができている。 (主学)清掃道具・倉庫の手入れを他 者と協力しながら行っている。	単元名「作業道具の手入 れ」	○今年度使用した清掃道具及び倉庫の整備 を行う(知及技)
	2	(知及技)今年度の成果を確認し、次 年度に活かすことができる。(高2段階 Ⅰ(イ)) (思判表)今学期を振り返り自己の成長 や課題点を発表する。(高2段階Ⅰ (イ)) (学人)他者の反省を聞き、認めること ができる。(高2段階Ⅰ(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成 果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題 点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や 反省点を考え、共有することができ ている。	単元名「年間のまとめ」	○今年度を振り返り、自己目標を達成でき たかを確認し、班全体で共有する。(思判 表)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程 Aグループ）職業科 オフィスワーク班 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
4単位/140時間	3学年 9名	職業科	ワークサンプル幕張版

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知及技）勤労の意義について理解を深める。（高2段階ア（ア）） （思判表力）目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高2段階ア（イ）） （学・人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高2段階ア（ウ））	（知・技）職業の心得や社会での役割について考え、実際の作業班の仕事に取り組んでいる。 （思・判・表）就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 （主学）心得を理解し、主体的に行動している。	・勤労の意義 職業生活	・日々の事業の中で身なりや時間を守ることの大切さ言葉使い等、9つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		（知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高2段階ア） （思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現する。（高2段階イ） （学・人）情報機器を正しい使用方法で活用する。（高2段階：情報機器ア）	（知・技）iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 （思・判・表）発表に情報機器を適切に活用している。 （主学）情報モラルを守り機器を活用している。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを事例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
1学期	10	（知及技）勤労の意義について理解を深める。（高2段階ア（ア）） （思判表力）目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高2段階ア（イ）） （学・人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高2段階ア（ウ））	（知・技）意義や対価等を学び、就労への意識を持って作業にあたる。 （思・判・表）学習内容を把握し、仲間と協力して作業に取り組んでいる。 （主学）心得を自身で考え、作業に主体的に取り組んでいる。	・職業学習について	・作業開きにおいて、作業内容の把握や心得の作成をおこない、一年の見通しと目標また意義を確認する。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身に付ける。
	12	（知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高2段階（ア）） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高2段階イ（イ）㊟） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高2段階ア（ア））	（知・技）機器の名称・使い方を把握し、使用している。 （思・判・表）安全に機器を使用している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・オフィス業務等の作業内容の把握	・パソコンやiPadの職業での使い方を学び、情報モラルを意識して扱いに慣れる。 ・線引きの練習やはさみの練習、ワークサンプル幕張版を使用した訓練にて器具の名称や使い方の習得を行う。 ・依頼業務や訓練業務が卒業後の就労先にどう繋がるかをワークシート等を使い学ぶ。
	12	（知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱う。（高2段階イ（ア）㊟） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高2段階イ（イ）㊟） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高2段階ア（イ）㊟）	（知・技）手順を理解し、道具や機械の操作作業に取り組んでいる。 （思・判・表）作業後の商品の確認を求め、チェックのポイントを学び、報告・連絡・相談の重要性を考え、仲間と協力して実行している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・依頼業務（印刷業務等）	・校内外からの依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	12	（知及技）オフィス内環境の整備について知識を深め技能を身に付けることができる。（高2段階イ（ア）㊟） （思判表）依頼業務時に求められる力「身だしなみ・コミュニケーション」について理解を深めることができる。（高2段階イ（ア）㊟） （学人）使用する道具や機械の特性や扱い方の理解を深め、清掃活動や修繕等にかすることができる。（高2段階イ（ア）㊟）	（知・技）オフィス内の環境整備〔清掃、用務、修繕等〕とはどういうことか理解している。 （思・判・表）依頼業務時に求められる力〔技術・身だしなみ・コミュニケーション〕について考えることができる。 （主学）使用する道具や機械の特性や扱い方を理解し、清掃活動や修繕等にかかっている。	・依頼業務（オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等を随時更新し、業務を引継ぐ方法を学ぶ。 ・「一条園」からの依頼業務等、地域での作業実践を通して、働く意欲や技能を高める。

		(知及技) 勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階ア(ア)) (思判表力) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高2段階ア(イ)) (学・人) 貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。(高2段階ア(ウ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表し、他者との関わりや他者の発表を聞いて考えている。 (主学) 作業の振り返りを主体的に取り組んでいる。	・学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2 学期	16	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高2段階イ(ア)㉑) (思判表力) 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現する。(高2段階イ(イ)㉑) (学・人) 作業の確実性や持続性、緻密性を高め、状況に応じて作業し、習熟できる。(高2段階イ(ア)㉑)	(知・技) 作業のポイントを学び、効率や確実性を意識して作業を行っている。 (思・判・表) 振り返りを行い、ミスしたところやうまくいったところを自身で考えて次回に活かしている。 (主学) 正確な作業について日常から考え、実行している。	・作業の正確性	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・ホテル客室清掃をイメージしてベッドメイキングの基礎的な作業を繰り返し、正確さやスピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
	20	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深める。(高2段階イ(ア)㉑) (思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。(高2段階イ(イ)㉑) (学・人) 作業を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。(高2段階(ウ))	(知・技) 業務依頼から納品までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 (思・判・表) 商品を扱う意識を持ち、汚れ、破れ等がないよう考え、他者と協力して作業を行っている。 (主学) 計画的に作業に取り組み、貢献したことへの喜びを表現している。	・依頼業務 (印刷業務等)	・校内外からの依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	20	(知及技) オフィス内の環境整備の必要性や仕組み等について理解を深める。(高2段階イ(ア)㉑) (思判表力) 用具や機械の特性や扱いに関わる技術について理解を深め、効果的に作業で扱うことができる。(高2段階イ(ア)㉑) (学・人) 貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。(高2段階ア(ウ))	(知・技) 業務依頼への対応、業務遂行までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 (思・判・表) 状況に応じた用具を選択・清掃や用務活動ができている。 (主学) 他者との協力を意識し作業を進めている。	・依頼業務 (オフィス内環境整備、用務、修繕等)	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等の引継ぎ書を確認し、業務を正確に遂行する意識を持つ。 ・「一条園」からの依頼業務等、地域での作業実践を通して、働く意欲や技能を高める。
	4	(知及技) 勤労の意義について理解を深める。(高2段階ア(ア)) (思判表力) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高2段階ア(イ)) (学・人) 貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。(高2段階ア(ウ))	(知・技) 学期の目標を振り返り、良い点、課題点をあげている。 (思・判・表) 成長点や課題点を捉え、次学期につなげる内容を表現している。 (主学) 目標を立て計画的に作業し、貢献した喜びを他者と意見交換している。	・2学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3 学期	14	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高2段階イ(ア)㉑) (思判表力) 安全や効率について自身で判断し、修正や相談を行うことができる。(高2段階イ(イ)㉑) (学・人) 依頼された作業に意欲的に挑戦し、状況に応じて正確に作業することができる。(高2段階イ(ア)㉑)	(知・技) 社会人のマナーを考え行動することができる。 (思・判・表) 出来を確認しながら修正等を行っている。 (主学) 様々な作業に挑戦し、効率や正確を大切にしようとする意識が見られる。	・依頼業務 (印刷業務等)	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・ホテル客室清掃をイメージしてベッドメイキングの基礎的な作業を繰り返し、正確さやスピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
	14	(知及技) 効率の良い手順を探り、作業を行うことができる。(高2段階ア(ウ)) (思判表力) 依頼業務時に求められる力「身だしなみ・コミュニケーション」について理解を深めることができる。(高2段階イ(ア)㉑) (学・人) よりよい職業生活の実現にむけて他者からの意見を素直に受け入れ改善することができる。(高2段階ウ)	(知・技) 自身で工夫しながら作業を進めている。 (思・判・表) 状況、相手に応じて言葉遣いや振る舞いを考え行動している。 (主学) 素直な態度で指摘・指示を受け入れ行動している。	・依頼業務 (オフィス内環境整備、用務、修繕等)	・依頼の受け方や電話対応、業務のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	2	(知及技) 勤労の意義について理解を深める。(高2段階ア(ア)) (思判表力) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。(高2段階ア(イ)) (学・人) 貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。(高2段階ア(ウ))	(知・技) 1年を振り返り、まとめることができる。 (思・判・表) 他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (主学) 達成感等の感想を共有し、皆で意見をまとめている。	・年間のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省会を行い自他の成果や課題を振り返り卒業後の目標を考える。
計	140				
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程A課程）職業（座学） 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年 生徒9名	職業科	ひとりだちするための進路学習 ひとりだちするためのライフキャリア教育 くらしに役立つソーシャルスキル

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思・判・表）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知・技・思・判・表）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し、目的に応じて適切に操作し、収集した情報をまとめ、考えについて適切に表現することができる。（高2段階：情報機器ア、イ） （知・技・思・判・表）本校卒業生がどのような就労、社会生活を送っているのかを知り、自分の卒業後の生活について考えることができる。（高2段階：産業現場ア） （学・人）様々な職種に興味・関心を持ち、自己の適性と比較しながら進路選択を行うことができる。自立して生活している先輩方の暮らしの様子を知る。（高2段階：産業現場ア）	（知・技・思・判・表）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解している。目的に応じて、iPadやコンピュータ等の情報機器を使い、考えをまとめて発表できている。 （知・技・思・判・表）社会人の講話を聞き、就労や社会生活について知り、自分の卒業後の生活について考えている。 （主学）様々な職種に興味・関心を持ち、知ろうとしている。自己の適性と比較し、進路選択を行おうとしている。	・情報機器の活用方法を知り、記録や発表に使う ・実習反省会、発表 ・先輩と語ろう会 ・校外学習（職業訓練校見学、企業訪問、グループホーム見学、市役所、公共施設見学等）	・情報機器の便利さと危うさ、情報モラルについて知る。 ・代表的なソフトの使い方を知り、発表に活用する ・実習事前学習、事後学習 ・先輩の職業生活や余暇の過ごし方について知り、自身の卒業後の生活についてイメージしたり、考える。 ・企業訪問（職種やその特性について理解する） ・グループホーム見学 ・市役所見学（生活にかかわる窓口について） ・公共施設の利用の仕方
1学期	24	（思）年間の授業内容を聞き、理解し、学習の見通しを持つことができる。（高2段階：ア（イ）） （思・判・表・学・人）自己理解を深め、自己実現に向けての課題や解決の手立てを見つけることができる。（高2段階：ア（イ）） （知・技・思・判・表・学・人）勤労に対する理解を深め、ビジネスマナー等を学び、理解・実践することができる。（高2段階：ア（ウ）） （思・判・表・学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高2段階：ア（ウ）） （思・判・表・学・人）学期を振り返り自己の成長点と反省点を発表することができる。（高2段階：ア（イ））	（思）年間の授業内容を理解し、学習の見通しを持っている。 （思・判・表・主学）自分の得意・不得意や自分の適性を知り、自分の望む職業生活への課題や解決の手立てを考えることができる。 （知・技・思・判・表・主学）勤労に対する理解を深め、ビジネスマナー等を学び、理解・実践することができる。 （思・判・表・主学）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを実感している。 （思・判・表・主学）学期を振り返り自己の達成できたことや反省点に気づき、発表している。	・授業開き ・自分のこと、自分の適性を知ろう ・勤労の意義 ・勤労と協働 ・1学期のまとめ	・「座学職業」の授業内容について知る ・教科「職業」の目標理解と実践 ・適性や自己実現に向けての課題発見 ・課題解決の手立ての立案 ・勤労について ・体調管理やマナーについて ・ビジネスマナーの学びと実践 ・履歴書の書き方を知る ・協働作業の大切さと貢献する喜び ・1学期の振り返り、成長点や反省点の記録と発表
2学期	28	（知・技・思・判・表・学・人）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。（高2段階：イ（イ）） （知・技・思・判・表・学・人）余暇の有効的・計画的な過ごし方について理解を深め、休日の過ごし方を考えることができる。（高2段階：イ（イ）） （思・判・表・学・人）学期を振り返り自己の反省点を発表する。（高2段階：ア（イ）） （学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高2段階：ア（ウ））	（知・技・思・判・表・主学）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。 （知・技・思・判・表・主学）余暇の大切さを知り、有効的・計画的な過ごし方について理解を深め、自らの休日の過ごし方を振り返り、考えることができる。 （思・判・表・主学）学期を振り返り自己の達成できたことや反省点に気づき、発表している。 （主学）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを実感している。	・勤労と協働 ・職業生活に必要なこと ・余暇の過ごし方について ・社会人としての付き合い ・自立した社会生活を目標として ・2学期のまとめ	・ビジネスマナーの学びと実践 ・社会人としての身だしなみの整え方の実践（出前講座） ・人との付き合い方 ・電話、携帯、スマホの使い方 ・金銭の管理について ・後期現場実習に向けて ・実習を振り返り、自身の成長点と課題点を知る ・課題解決の手立てと実践 ・余暇の役割、学校以外の居場所について知る ・テーブルマナーの学びと実践 ・福祉のサービスや制度について知る（出前講座） ・自立を目指した生活の場について知る ・卒業後のライフプラン、マネープランを考える ・2学期の振り返り、成長点と反省点の記録と発表
3学期	18	（知・技・思・判・表・学・人）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。（高2段階：イ（イ）） （思・判・表・学・人）年間を振り返り自己の成長や反省点を発表することができる。（高2段階：ア（イ））	（知・技・思・判・表・主学）卒業後の進路にや職業生活について理解を深め課題や解決策を考えて発表している。 （思・判・表・主学）年間を振り返り自己の成長や課題に気づき、発表している。	・職業生活 ・年間のまとめ	・ビジネスマナーの学びと実践 ・実習体験をもとにした進路選択 ・成長点と課題点の記録と発表 ・課題解決の手立てと実践 ・卒業後のライフプラン、マネープランを考える ・年間の振り返り、ファイルのまとめ ・成長点や反省点の記録と発表
留意点 引継ぎ等		【評価資料】授業中の発言、態度、ワークシートの記述、課題への取り組み、発表の様子など各学期ごとに評価を行う。			

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 3年(Ⅱ課程 A類型)家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
1.5単位 ／52.5時間		3学年 9名	家庭科	「くらしに役立つ 家庭」	
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） （思判表力） 家庭や地域における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高等部2段階） （学・人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高等部2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	（知及技）乳幼児の生活の特徴が分かり、乳幼児との関り方について理解することができる。（高2A工（ア）） （思判表力）乳幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。（高2Aウ（イ）） （学・人）家族とのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高2Aア（イ））	（知・技）乳幼児の遊びや食事などの活動の様子や着衣などから乳幼児の特徴について知ることができる。 （思・判・表）乳幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。 （主学）学習したことを、実生活で活用できるよう工夫して考え表現することができる。	【家族・家庭生活】 ・子どもの発達 ・子どもの遊び ・子どもの生活、大人の役割 ・子育て支援	・乳幼児の発達（身体・運動・情緒・社会性・認知・言葉）の特徴や発達の順番、時期などを表などに整理しまとめる。 ・遊びの体験やおもちゃの製作を通して、各発達段階に応じた遊びの種類や変化について知る。 ・子どもの生活習慣の形成と大人の役割について知り、地域で活用できる子育て支援サービスについて調べてまとめる。
	12	（知及技）自分に必要な栄養素の種類と働きがわかる。（高2Bア（ア）） （思判表力）一日の献立について考え、工夫することができる。（高2Bア（イ）） （学・人）食生活と健康について考え、生活の充実向上を図るために実践することができる。（高2Bイ（ア））	（知・技）栄養素及びその働きが分かり、いろいろな食品を組み合わせる必要があると知ることができる。 （思・判・表）必要な栄養を満たす食事についての課題を解決するために一日の献立について健康などの視点から考え、工夫することができる。 （主学）健康に良い食習慣について学んだことを活かし、実践につなげることができる。	【衣食住の生活】 ・栄養素の種類と働き ・献立を考えよう ・便利な食品と食品の選び方 ・調理実習	・栄養素の種類と働きについて学び、それぞれの栄養素が多く含まれる食品をワークシートにまとめる。 ・アプリ等を使って栄養バランスをチェックしながら献立を選択する。 ・加工食品の正しい保存方法や調理方法について学習する。 ・お弁当や朝食など、一人暮らしや自炊を想定した調理実習を行う。
2学期	10.5	（知及技）衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解することができる。（高2Bウ（ア）） （思判表力）衣服の選択について考え、工夫することができる。（高1Bウ（イ）） （学・人）布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫することができる。（高2Bエ（イ））	（知・技）衣服の材料の基本的な性質とその違いに応じた手入れの仕方を理解し、適切な日常着の洗濯などができる。 （思・判・表）既製服の組成表示や取り扱い表示、サイズ表示の意味を理解し、目的に応じた選択をすることができる。 （主学）簡単な小物の製作計画を考え、ミシンを作った製作を工夫することができる。	【衣食住の生活】 ・衣服の素材 ・衣服の手入れ ・衣服の表示とサイズ ・布を用いた製作	・衣服を構成する繊維の種類と特徴を知り、場面に応じた素材の衣服について考える。 ・衣服の種類や汚れの種類ごとの効果的な洗濯方法について理解し、適切な手入れについて考える。 ・既製服の組成表示、取り扱い表示、サイズ表示を知り、自分の体型に適したサイズ表記を選択する。 ・裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方法について理解し、布を使った小物を製作する。
	10	（知及技）計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。（高2Cア（ア）㊟） （思判表力）身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考えて表現することができる。（高2Cア（ア）㊼） （学・人）環境に与える影響を考えた消費行動をすることができる。（高2Cイ（ア））	（知・技）計画的な金銭管理の必要性を理解することができる。 （思・判・表）物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考えることができる。 （主学）消費生活が環境に与える影響を考え、消費者としての行動を選択することができる。	・生活費と家計 ・一人暮らしのシミュレーション ・悪質商法対策 ・これからの消費生活	・給与明細の見方や家計の収支について学習し、家計管理の必要性について学ぶ。 ・一人暮らしを想定した家計管理ゲームを通して、様々な出費について体験する。 ・悪質商法の例を知り、対策法と被害にあった際の対応法について理解する。 ・消費行動と気候・社会問題との関係について知り、商品を購入する際に気を付ける点について学習する。
3学期	10	（知及技）住居の基本的な機能について理解することができる。（高2Bオ（ア）） （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間を考え、選択することができる。（高2Bオ（イ）） （学・人）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、工夫することができる。（高2Bオ（イ））	（知・技）住居は家族の安定した居場所であることが分かり、住居には共同生活の空間、個人生活の空間などが必要であると知ることができる。 （思・判・表）家族の安全や快適さを考えた住空間を選択をすることができる。 （主学）家族の安全や快適さを考えた住空間について、工夫して考えることができる。	【衣食住の生活】 ・快適な住環境と多様な住まい方 ・一人暮らしの住まい探し	・太陽の光や外気を適切に取り入れることで快適な室内環境を作ることができることを理解する。 ・間取り図の見方を学習し、賃貸物件のサイトから一人暮らしに合う物件を探す。 ・一人暮らしに必要な手続きや金額、ルールについて理解する。
留意点 引継ぎ等		学習活動の様子や授業態度、ワークシートの記述、テストや各課題の状況等により評価する。			

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年 9名	外国語科	『ドラえもん はじめての英語ドリル』基本の英語表現/ プリント教材など

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高2段階)			
		(思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高2段階)			
		(学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高2段階：ア(ア)㉔)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴ったり、音声を模倣して発音している。	単元1 「自己紹介」 Self introduction	「自己紹介」 情報を整理しながら簡単な英語を使った自己紹介をする。教師やALTの自己紹介を聞く。 I'm ... I like... I'm good at... 「あいさつ」 適切な表現で友達や教師にあいさつをする。 Good morning. How are you? I'm good.
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階：イ(イ))	(思・判・表) 場面に応じた挨拶をしている。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、相手に尋ねている。	単元2 「私の一日」 My Daily Routine	例題に沿って、自分の一日の流れを英語を使って書き、それをクラスで共有する。 I get up at.. What time do you go home?
		(学・人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(主学) 聞き手を意識して話したり、または、読み手を意識して書くようとしている。英語を用いて積極的なコミュニケーションをとろうとしている。	単元3 「道案内」 Directions	教師が設定した地図を元に目的地までの経路を英語で伝える。ALTと一緒に道案内に関する表現を復習し、その表現を使ったゲームをする。 Turn right / left. You will see ..
			評価資料：ワークシート、提出物、活動の観察	単元4 「体調を伝えよう」 I feel...	病気や体調を表す語を学び、その場面にふさわしい表現を選択し、発音する。 I have a headache. I have a fever.
2 学期	14	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高2段階：ア(ア)㉕)	(知・技) 身近な出来事について、語句の意味を理解しながら、文字を綴っている。音声を模倣して発音している。	単元5 「夏休みのできごと」 My Summer	夏休みの思い出を、動詞の過去形と簡単な単語を用いて書き、それをクラスで共有する。 I went to .. I ate..
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階：イ(イ))	(思・判・表) 場面に応じた挨拶をしている。学習した語句や表現を用いて自分の気持ちや考えを伝え、尋ねている。	単元6 「オータムフェスティバル」 Autumn Festival	ハロウィンや感謝祭に関する話や活動を通して、英語圏の文化にふれる。 Happy Halloween. Thanks giving day.
		(学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高2段階)	(主学) 外国の文化について聞き、多文化への興味を示したり、理解・質問している。	単元7 「行きたい国」 Countries	画像や地図を通して様々な国名を知り、どこに行きたいか、テンプレートを活用しながら伝える。 Japan, Korea, England I want to go to ..
			評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元8 「ホリデーシーズン」 Holiday Season	海外の休暇期間の過ごし方や季節ごとの行事と日本の文化を比較する。 Holiday, Christmas, New Years day
3 学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階：ア(ア)㉖)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴っている。音声を模倣して発音している。	単元9 「ハッピーニューイヤー」 Happy New Year	新年に関する異文化について聞き、日本の文化と比較する。新年のあいさつを交わしたり、新年の抱負を英語の未来形を用いてクラスで共有する事ができる。福笑いをする。 Happy new year. I will .. in this year.
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高2段階：イ(イ))	(思・判・表) 慣れ親しんだ語彙を使って自分の気持ちを伝える。簡易な表現やテンプレートをを用いて感謝の気持ちを綴っている。	単元10 「私の夢」 My Future	簡単な語句を用いて自分の目標や夢を書き、クラスで共有する。 I want to drive a car.
		(学・人) 外国の文化・風習に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。(高2段階)	(主学) 外国の文化について聞き、日本の文化との違いを理解し、質問したりしている。	単元11 「Thank you, teacher!」	テンプレートや簡単な語句を用いてお世話になった友達や教師に感謝の気持ちを伝える。 Dear, from, sincerely
留意点 引継ぎ等		活動内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和 8 年度 高等部 総合教育センター分教室 3年(Ⅱ課程 A類型)情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
52.5時間	3学年 9 名	情報科	・学習プリント作成 ・タイピングソフト ・動画教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)効果的なコミュニケーション方法および身近にあるコンピュータやデータの活用等についての理解を深め、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。(高2段階)			
		(思判表力)身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を見つけるとともに、その問題を解決するために必要な情報および情報技術を適切に活用する力を養う。(高2段階)			
		(学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技)コンピュータの操作方法を知り、身に付けることができる。(高2段階Aア(ア))	(知・技)基本的な操作を理解し、目的に応じてコンピュータを操作している。	○コンピュータの基本的な操作 ・ホームポジションを理解しよう ・ローマ字入力を練習しよう。 ・アカウントのログインの仕方	・タイピング練習サイト等を活用して、両手のホームポジションおよび指づかいが定着するよう練習する。 ・ローマ字で入力できるよう、タイピング練習する。 ・配布されたteamsのIDとPWを正確に入力し、ログインする練習をする。
		(思判表力)インターネット上のコミュニケーションにおいて、トラブルを回避するための適切な行動がとれる。(高2段階Aイ(イ))	(思・判・表)インターネット上のコミュニケーションにおける望ましい姿勢について考え、適切に判断し行動している。	○情報モラルと情報リテラシー ・情報リテラシー ・出会い系トラブルの危険性 ・情報セキュリティ ・ネット依存 ・炎上とネットいじめ	・対面やインターネット上でのコミュニケーションの特徴について考える。 ・動画教材を活用し、SNS利用の注意点やトラブルへの対処法等を学ぶ。
		(学・人)インターネット上のコミュニケーションを適切に取ろうとする姿勢が身についている。(高2段階)	(主学)インターネット上のコミュニケーションを適切に取ろうとしている。		
2 学期	22・5	(知及技)表計算ソフトを活用して、データを表やグラフ等の形式で表現することができる。(高2段階Cア(ウ))	(知・技)表計算ソフトやの基本的操作方法を身に付けている。	○データの収集・整理・分析 ・表計算ソフトを活用しよう ・Wordの使い方 ・Excelの使い方	・表計算ソフトや文書作成ソフトの基本操作を身に付けることを通して、ICTツールの効果的な活用方法を学ぶ。 ・表計算ソフトや文書作成・デザインツールの特性と利便性を理解し、目的に応じたICT活用能力を高める。 ・ツールの操作技術を活かして、自分の名刺を作成する。 ・情報の取捨選択やデザインの工夫を通して、表現力と主体性を育む。
		(思判表力)発表内容をPRする方法を理解できる。(高2段階Bイ(イ))	(思・判・表)表計算ソフトを活用してデータを分析・整理し、見やすく工夫した資料を作成し、効果的にプレゼンテーションしている。	○情報の活用と表現 ・パワーポイントの使い方 ・パワーポイントを使ってプレゼンテーションの作成 ・プレゼンテーションを用いて発表をしよう。	・「パワーポイントの使い方」から始まり、「プレゼンテーションの作成」や「発表」までの一連の学習を通して、情報を的確に伝える方法を学ぶ。 ・就業体験をテーマにして、設定し、資料を集め、構成を練り、視覚的に分かりやすいスライドの作成する。 ・画像やグラフ、アニメーションを活用し、発表内容をより魅力的に伝える方法について考える。 ・情報の伝え方や表現方法を主体的に学ぶ。
		(学・人)発表内容を効果的にプレゼンテーションのデザインの手法を考え、工夫することができる。(高2段階)	(主学)効果を意識して、独自のスライドを作成しようとしている。		
3 学期	22	(知及技)身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。(高1段階Cア(イ))	(知・技)身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。	○日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング ・QRコードとは	・電子商取引 ネット通販の画面を例に、商品の検索から注文・支払い・配送までの流れを確認する ・POSシステム レジでバーコードを読み取る仕組みを学び、販売データが記録・集計される様子を模擬体験する ・マーケティング 身近な広告や商品を取り上げ、「誰に向けたものか」「どんな工夫があるか」を考える。簡単なアンケート結果をもとに販売戦略を考察する。 ・QRコードとは QRコードを読み取り、どのような情報が含まれているかを確認する。活用場面と安全な利用方法について理解する。
		(思判表力)情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。(高1段階Cイ(イ))	(思・判・表)身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。	○年間のまとめ ・オリジナル名刺作成 ・在校生・職員へ送るメッセージカード作成	・1、2学期で学んだWord・Excel・PowerPointの学習を元にオリジナルの名刺やメッセージカードをデザイン、作成する。
		(学・人)身近な情報や情報技術を目的に応じて活用するとともに、情報社会の一員として適切に関わろうとする態度を養うことができる。【高2段階】	(主学)情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。		
留意点 引継ぎ等		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	3年 9名	3学年担当	新訂 新しい道徳 3

年間目標		(A:自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に（慰霊の日にもけて） ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の本が大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程 A類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
1 単位 (35時間)	3 年 Ⅱ 課程 A 類型 9 名	3 学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 就業体験などの体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 就業体験を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 体験活動に主体的・協働的に取り組むとともに、集団の中で話し合い課題を解決する力や能力を身につけることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 働く意義や、働くために必要な力は何かを考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 就業体験の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表) 働く意義や、働くために必要な力は何かを考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○前期就業体験(校外) 事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2 学期	14	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 働く意義や、働くために必要な力は何かを考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 就業体験の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表) 働く意義や、働くために必要な力は何かを考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○後期就業体験(校外) 事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3 学期	9	(知及技) 販売学習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○視覚教材を活用して、学習発表会や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○視覚教材を活用して、販売学習での活動内容を振り返る。 ○各自の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○職業について学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 総合教育センター分教室 3年（Ⅱ課程 A類型） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	3学年 9名	3学年	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。（学・人） ・自分自身への健康状態への理解を深めることができる。（知及技） ・生徒同士協力して学校生活の充実と卒業後の生活に向けて意識を持つことができる。（思判表力） ・自他を理解し、尊重し命を大切にできる態度を育てることができる。（思判表力） ・防災についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。（知及技） ・地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深めることができる。（思判表力、学・人） ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表力、学・人）	・入学式・終業式 ・身体測定 ・生徒総会 ・安全講話 ・火災避難訓練 ・交流会 ・個人目標、学期のまとめ	・入学式、終業式の実施。 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査の実施。 ・生徒総会の運営と実施。 ・交通安全指導の実施 ・火災避難訓練の実施。 ・交流会の計画・運営（本校との交流・他校との交流） ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2 学期	14	・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。（学・人） ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。（知及技） ・健全な発達や健康維持を目指すことができる。（学・人） ・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることができる。（思判表力、学・人） ・選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。（思判表力） ・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。（学・人） ・交流会の企画・運営の情報交換による、本校の生徒会活動の活性化をはかることができる。（学・人） ・卒業生のもつ価値観や考え方について理解することができる。また自分の将来に生かせる視点をもつことができる（思判表力） ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表力、学・人）	・始業式・終業式 ・地震津波避難訓練 ・体育祭 ・生徒会役員選挙 ・校外学習 ・交流会 ・卒業生講話 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式の実施。 ・地震津波避難訓練の実施。 ・高等部体育祭の実施。 ・生徒会役員選挙の実施。 ・校外学習の計画と実施。 ・交流会の実施 ・卒業生講話の実施 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
3 学期	9	・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。（学・人） ・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることができる。（思判表力、学・人） ・支えてくれた後輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。（思判表力） ・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。（学びに向かう力 人間性等） ・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表力、学・人）	・始業式、卒業式 ・みさき市（販売学習） ・3年生を送る会 ・校外学習 ・個人目標、3年間のまとめ	・始業式、卒業式、修了式の実施。 ・みさき市の実施。 ・3年生を送る会の実施。 ・校外学習の計画と実施。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て。 ・3年間の思い起こし、学習や活動を振り返る。
留意点 引継ぎ等		・学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現力） ・役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見A14:F18や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考・判断・表現力、学びに向かう人間性等） ・ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う ・社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。		